

工事番号		000-1		(様式－１)									
					課 長		係 長		検 算		担 当		
令和 8 年度 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事（第 1 工区） 実施設計書													
安曇野市 明科中川手												金抜き	
設 計 大 要							施 工 方 法			請 負			
林道改良工事 部分拡幅 3 箇所 L=154.8m 垂直擁壁工 L=8.0m							施 工 期 間			日 間			
							起工予定年月日			契約の日から			
							竣工予定年月日			令和 9 年 3 月 19 日			
							契 約 保 証 方 法			金銭的保証			
							・ 別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・ この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、 ㎡、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除き						

位置図



安曇野市
土木工事（林道）
共通仕様書



安曇野市 農林部 耕地林務課
令和7年7月1日 適用

安曇野市土木工事（林道）共通仕様書

- 1 安曇野市の林道土木工事を施工するにあたって、受注者、現場代理人、主任技術者等は工事に関する以下の図書について熟知し、その記載の規定によるものとする。
 - (1) 長野県林業土木工事共通仕様書（長野県林務部）
 - (2) 治山林道必携（日本治山治水協会・日本林道協会）
 - (3) 土木工事現場必携（長野県）
 - (4) 長野県林道土木工事施工管理基準（長野県林務部）
 - (5) その他長野県林務部が工事を実施するにあたり通知通達した規定等
 - (6) 工事書類簡素化ガイドライン及び林務部簡素化書類一覧（長野県林務部）
 - (7) 設計変更ガイドライン（長野県）
- 2 上記図書は、長野県公式ホームページ（<https://www.pref.nagano.lg.jp/>）において公開されているものを最新版とする。
- 3 設計図書の記載と上記図書の規定が異なる場合は、監督員と協議のこと。
- 4 安曇野市の土木（林道）工事積算は、長野県標準歩掛により積算されているので、施工方法、施工機械等はその趣旨を理解して施工するものとする。
- 5 図面に記載のない事柄のうち、工事目的物の性能、品質に係るものは監督員と協議のうえ、了解を得て施工するものとする。
- 6 次のいずれかに該当する工事においては、工事現場周辺への現場事務所の設置を省略できるものとする。ただし、移動式（車載）等により仮設トイレを調達することを原則とする。
 - (1) 請負金額が 500 万円未満の工事
 - (2) 準備工等を除く現場作業が 3 日未満の工事
 - (3) 営業所の所在地から現場までの距離が 2km 程度以内で近接しており、施工機械、使用材料等の仮置き・現場保管を要さない工事
- 7 個別工種の施工条件については、工事ごとの「特記仕様書」による。
- 8 建設業法（昭和 24 年 法律第 100 号）及び 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（平成 12 年 法律第 127 号）の規定に基づく施工体制台帳の作成・提出等、適正な施工体制の確保を図ること。

安曇野市土木工事（林道）共通施工条件明示事項

1 施工計画

(1) 施工計画書

- 長野県林業土木工事共通仕様書 1-1-1-6（施工計画書）に基づき、設計図書、及び現場条件等を考慮し、現場での工事等の着手前又は施工方法が確定した時期に「施工計画書」を作成し提出すること。
- 施工計画書の作成にあたっては、「土木工事現場必携」を参考とすること。
- 工事内容に重要な変更が生じた場合（変更内容指示時点または変更契約時点）は、「変更施工計画書」（当初施工計画書を修正）を当該工事着手前に作成し、提出すること。
- 出水期に河道内で工事を行う場合は、治水上の安全を確保するための対策を施工計画書に明記し提出すること。（長野県土木事業設計基準 第8編河川事業 8-参-2を参照）

(2) 施工体制に関する事項

受注者は、適切な施工体制を確保し、下請負人を含む工事全体を把握して運営を行うこと。

特に社会保険への加入については、建設業の人材確保において重要な事項であることを踏まえ、自社はもとより、すべての下請について加入状況の確認を行うこと。

施工体制の適正な確保に関して作成する書類は、施工計画書に添付することとするが、別途提出としても差し支えない。

【施工体制に係る工事書類等】

- ①「施工体制台帳」、「施工体系図」
- ② すべての下請契約書の「写」（下請契約の請負代金の総額にかかわらず作成）
※工事書類簡素化ガイドライン（R7.4適用）に基づき、施工体制台帳の添付書類として下請契約書写しを提出
- ③ 主任技術者（監理技術者）の資格証等の写し及び保険証
※工事書類簡素化ガイドライン（R7.4適用）に基づき、現場代理人等通知書に添付した場合は提出不要

注）施工体制台帳作成対象としての下請負人の判断

事 例	施工体制台帳記載の有無 下請負人に関する事項、再下請通知書、 下請契約書写、施工体系図を含む	主任（監理）技術者の配置の有無
交通誘導警備員	台帳作成不要 契約書写しを添付し、提出	指定路線は資格者必要
産業廃棄物処理業者 (収集運搬業・処分業)	台帳作成不要 契約書写しを添付し、提出	
ダンプ 運搬（運搬のみ）	台帳作成不要 契約書写しを添付し、提出	
立木の伐採（伐採のみ。抜根、集積、積込を含まない）	台帳作成不要 契約書写しを添付し、提出	
1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約	業者間の契約が建設工事である場合は請負契約のため台帳作成	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
クレーン作業、コンクリートポンプ打設等、日々の単価契約で行っている場合	日々の単価契約であっても請負契約に該当するため、台帳作成を必要とする。	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要
クレーン等の重機・レータを機械と一緒にリース会社から借り上げる場合	台帳を作成する	建設業の許可を必要とする場合もしくは有する場合は技術者の配置が必要

(3) 関係機関への届出等

- 公安委員会への「道路使用許可申請」
- 市維持管理課への「道路通行制限願」
- 河川内作業における漁協との工事打合せ簿等の「写」

2 用地関係

- (1) 借地等の復旧については、原形復旧を原則とし、所有者、管理者等と立会いのうえ、借地期間内に返還まで完了すること。

- (2) 借地等の復旧箇所については、着手前の状況を写真や測量成果等で記録するとともに、境界杭や構造物の移動については引照点等を設けるなど適切な管理を行い、必要に応じて所有者等の立ち会いを実施し了解を得たうえで着工しなければならない。
- (3) 受注者で必要な用地の借用及びこれに伴う諸手続については、受注者にて対応すること。特に「農地の一時転用」については、事前に市農業委員会等と調整すること。
- (4) 工事箇所に隣接する土地の境界杭や構造物が支障となる場合、直ちに監督員と協議し、物件所有者と調整を図ること。

3 工事支障物関係

- (1) 現場に公共基準点が確認された場合、監督員と協議すること。
- (2) 上記のほか着手前に調査し、工事にて支障となる物件がある場合は、事前に監督員と協議すること。
- (3) 工事にて支障を与える可能性があるものについては、その権利者にその旨を申し出ること。

4 周辺環境保全関係

- (1) 大気への配慮
建設機械・設備等は排出ガス対策型機械使用を原則とする。別紙－1『排出ガス対策型機械』のとおり。
- (2) 公道への配慮
現場発生土の搬出、各種資材等の搬入出時は、運搬車両等から土砂を確実に除去してから一般道へ出ること。なお、一般道が当該工事による原因で破損及び汚損させた場合、受注者の責任において処置すること。(工事着手前に写真撮影しておくこと)
- (3) 過積載の防止
 - ・ 取引業者から購入する各種材料(生コン・As・骨材等)や下請業者についても、過積載防止対策の範囲とする。
 - ・ 対策について、「施工計画書」の施工方法に具体的に記載すること。
 - ・ 工事現場において過積載車両が確認された時は、速やかに改善を行うと共に発注者にその内容を報告すること。
 - ・ 実施した過積載防止対策については、点検記録等を整理・保管し、監督員等に求められた際は、提示すること。
- (4) 第三者災害への対応
住宅近接地域での騒音・振動等、水田や畑への排水の流出等の公害防止対策を事前に十分検討するとともに、問題が生じた場合は受注者が速やかに対処すること。
- (5) 沿線の土地利用者への配慮
工事区間、交通規制区間においては、沿線土地の利用について配慮すること。(店舗、住宅、田、畑、事業所等の利用)

5 安全対策関係

- (1) 安全教育・研修・訓練
 - ・ 受注者は、共通仕様書 1-1-1-38 に基づき労働災害及び公衆災害防止に努めると共に、作業員を対象に定期的に安全教育・研修及び訓練を行うこと。
 - ・ 安全教育等は工事期間中月 1 回(半日)以上を実施し、この結果を記録するほか、工事写真等に整理・保管し、監督員等に求められた際は、提示すること。
- (2) 安全施設
現場出入口の管理は、伸縮ゲート等で適正な構造とすること。
- (3) 交通管理
 - ① 交通誘導警備員
 - ・ 近接工事等で交通量が著しく増減した場合や、道路管理者・警察署等からの要請又は現場条件に変更が生じた場合や当初設計で予定している施工方法に対して違う施行方法となった場合を除き、原則として設計変更の対象としない。
 - ・ 受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第 4 条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。なお、警備業者が交通誘導員不足により交通誘導警備業務を受注することができない場合であって、工事の安全上支障がない場合等、やむを得ず受注者がいわゆる自家警備を行う場合は、事前に監督員と協議すること。
 - ・ 国道においては、長野県公安委員会告示第 70 号(令和 2 年 10 月 1 日)により交通誘導警備業務を行う場所ごとに一人以上の 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員を配置して実施すること。
 - ② 交通安全施設
 - ・ 仮設ヤード回りは、パネルフェンス等を単管等で固定し、公衆の安全対策を講じること

- ・ 車道部分に接し車両等が飛び込みの恐れのある場合は、ガードレール・視線誘導板・回転燈等を設置すると共に、特に夜間の安全対策に配慮すること。

③ 交通規制

- ・ 通行規制を行う場合、その予告を 14 日前に前項に基づき標示すること。また、道路通行制限及び道路使用等通行規制に関する届出は受注者にて行うものとする。併せて、迂回路の案内を適切に現地に標示すること。
- ・ 袋小路にならないように計画し、規制期間を極力短くすること。また、行事等の時期を把握して地元の希望に沿う規制方法とすること。

※通行止規制はおこなわない。通行止が必要となる場合、監督職員と協議をおこなうこと。

(4) 架空線等上空施設一般

- ・ 工事現場における架空線等上空施設について、施工に先立ち、現地調査を実施し、種類、位置（場所、高さ等）及び管理者を確認すること。
- ・ 建設機械等のブーム等により接触・切断の可能性があると考えられる場合は、必要に応じて以下の保安措置を行うこと。実施内容については施工計画書に記載すること。
 - ① 架空線上空施設への防護カバーの設置。
 - ② 工事現場の出入口等における高さ制限措置の設置
 - ③ 架空線等上空施設の位置を明示する看板等の設置
 - ④ 建設機械のブーム等の旋回・立入禁止区域等の設定
- ・ 前項①の設置を架空線等管理者に依頼し、費用が生じる場合は、あらかじめ監督員等に現場状況等の確認を請求すること。現場確認の結果、施工上必要と認められる場合は、受注者から架空線等管理者へ必要な費用等について見積を依頼することとし、架空線等管理者から提出された見積書（写し）について、工事打合せ簿に添付して監督員へ提出すること。確認の結果、必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。

(5) 通学路

工事区間が通学路の場合、教育委員会、関係学校と協議のうえ、通学する児童・生徒の安全対策を十分配慮した施工方法、工程計画、交通管理等を行うこと。

(6) 工事に関する看板

本工事にて現場に設置する看板等（工事看板、交通規制標示看板、工事予告看板、バリケード等）については、以下のとおりとする。

- ① 運転者の視界の妨げにならぬよう設置すること。（特に宅地等から出る車両について注意。）
- ② 看板等の内容が運転者にわかるよう製作、設置すること。
- ③ 不要になった看板等は速やかに撤去すること。
- ④ 常に現場の状況と看板等の内容が合っていること。
- ⑤ 受注者の名前が入っているものを使用すること。
- ⑥ 反射式のものを使用するなど、夜間もその存在がわかるようにすること。
- ⑦ 工事内容、迂回路の標示は、『道路工事現場における標示施設等の設置基準について（道路局長通達 平成 18 年 3 月 31 日付け 国道利 37 号・国道国防第 205 号改正）』に基づいて設置すること。
- ⑧ 看板等の固定には十分留意し、特に強風時等は、転倒するなどして周辺に支障をきたすことが無いように措置を講ずること。

(7) 除雪（この内容は 12 月 1 日から翌 3 月 31 日までを基本としており、繰越工事等で年度を跨ぐ場合はこの限りではないため、監督員等と協議すること。）

工事にて道路通行制限願を提出した場合、その期間及び区間は安曇野市の除雪区間から除外される。その期間及び区間についての除雪は、工事受注者にて行うこと。除雪詳細は、安曇野市都市建設部維持管理課維持担当にて確認すること。

(8) 熱中症

夏季における猛暑日などの過酷な環境下（炎天下や高温多湿場所）での作業による熱中症の発生が懸念される場合は、熱中症予防対策を講じること。

熱中症対策に資する現場管理費の補正は、協議により設計変更の対象とする。

（参考）熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

https://www.pref.nagano.lg.jp/gi_jukan/documents.html

6 仮設工関係

(1) 工事用道路関係

公道及び私道を工事用道路として使用する場合は、交通整理、安全管理、日常点検を十分に行い、周辺環境に十分配慮して、事故・環境悪化・苦情がないようにすること。また、道路及び付属施設を破損した場合は、受注者の責任において速やかに原形復旧すること。

(2) 仮設工設置期間

受注者に起因する工期延長等に伴う、仮設材の損料又は賃料期間の設計変更は原則として行わない。

(3) 任意仮設

発注者が想定している任意仮設については、閲覧設計書、参考図に示したとおり。

受注者は、明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには、変更の対象とする。

(4) 指定仮設

指定仮設については、図面、数量総括表及び閲覧設計書に示したとおり。

(5) 附帯工

附帯工の範囲は管理者との立会・協議により決定する。

7 発生土・廃棄物・再生資源関係

長野県林業土木工事共通仕様書 1-1-1-24 第3項に規定される、再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理に基づき、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること。

(1) 建設副産物の処理に関する事項

- ・ 本工事は建設リサイクル法対象工事であり、契約締結前に法第12条第1項の規定に基づいて、発注者に対し説明書の提出をもって事前説明を行うこと（様式は土木工事現場必携参照）。
- ・ 受注者は、建設リサイクル法第5条の主旨に準じ建設副産物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めること。
- ・ 建設資材廃棄物は、建設リサイクル法9条に則りその種類ごとに分別すること。
- ・ 工事に伴い生ずる廃棄物の処理については、受注者が廃棄物処理法上の排出事業者としての責任を有し、産業廃棄物の運搬・処分を他人に委託する場合には、「(5) 建設副産物の運搬・処理」によるが、当該産業廃棄物の処理の状況に関する確認及び、最終処分終了までの一連の処理行程における処理が適正に行われることを確認する措置等について、施工計画に定めること。
- ・ 「長野県産業廃棄物3R実践協定（平成25年4月1日名称変更）」締結事業者（排出事業者）にあつては、本工事における「産業廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用及び適正処理に関する自主的な取組状況等」について施工計画に定めること。

(2) 特定建設資材に関する事項（建設リサイクル法）

- ・ 受注者は発注者から「通知書」の「写」を受け取ること。
- ・ 受注者は下請負がある場合、下請負業者に対し、「通知書」の「写」を添付して「告知書」にて告知すること。
- ・ 再資源化等が完了した時は、発注者に「再資源化等報告書」にて竣工時に報告すること。

(3) 建設副産物の処理

- ・ 建設副産物を産業廃棄物として運搬・処分業者に委託する場合は、廃棄物処理法に基づく委託基準に従い、書面による委託契約を締結すること。
- ・ 廃棄物の運搬・処分を業とする「許可証」を確認し、その「写」を委託契約書に添付すること。
- ・ 下請負業者が産業廃棄物の運搬・処分を行う場合でも、下請負契約とは別に委託契約を締結すること。
- ・ 「マニフェスト（産業廃棄物管理票）」により適切に運搬・処分されているか確認を行うこと。土木工事現場必携を参照し、廃棄物種類ごとの集計表をしゅん工書類に添付すること。
- ・ 受注者は施工計画書に以下の事項を記載する。

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処分先 (処理業者)	業者名				
	住所				
運搬委託先 (委託の場合)	業者名				
	住所				
その他	資源化の方法など				

(施工計画提出時に必要な書類等)

- ・ 処理先の許可書の写し及び収集運搬業者の許可書の写し（収集運搬を委託する場合）
- ・ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

(4) 再生資源の利用促進

- ・ 工事目的物に要求される機能を確保し、再生資源の利用に努めること。また再資源化施設の活用を図ることにより、再生資源の利用を促進すること。
- ・ 再生資源の利用促進への取り組み方針、再生資材により設計されている工事材料の選定、施工等、及び、工事に使用する再生資材の選定、施工等について施工計画に定めること。
- ・ 受注者は、500m³以上の建設発生土を搬出しようとする場合には、土壌汚染対策法等の手続確認等や搬出先の確認等を行い、確認結果票に確認結果を記録すること。

(詳細は、土木工事現場必携(R6.10.1) 共12を参照のこと)

- ・ 受注者は、建設発生土を搬出先へ搬出したときは、搬出先に対し土砂受領書の交付を求めること。なお、搬出先が土砂受領書の交付に応じない場合は、作業状況の写真に加え、処分量がわかる資料として、受入伝票を取りまとめた記録を作成すること。また、搬出先から更に他の搬出先へ搬出された場合には、次の①～④の場合を除き、最終搬出先まで確認を行うこと。(詳細は、土木工事現場必携(R6.10.1) 共12を参照のこと)

① 国又は地方公共団体が管理する場所(当該管理者が受領書を交付するもの)

② 他の建設現場で利用する場合

③ スtockヤード運営事業者登録規程により国に登録されたStockヤード

④ 土砂処分場(盛土利用等し、再搬出しないもの)

- ・ 信州リサイクル製品の率先利用に努めること。

(5) 再生資源利用等実施書の提出

- ・ 受注者は、施工計画書提出時に、「再生資源利用計画書」・「再生資源利用促進計画書」・「確認結果票」を作成し、発注者へ提出、説明のうえ公衆の見えやすい場所へ掲示すること。
- ・ 再資源化等報告書に、「再生資源利用実施書」・「再生資源利用促進実施書」を添付し提出すること。(COBRISで作成した場合は、実施書の提出は不要)
- ・ 提出様式は、原則としてCOBRIS(建設副産物情報交換システム、通称コブリス)を利用し作成すること。これにより難しい場合は監督員との協議により、「建設リサイクル報告様式(EXCEL)」によることも可能とする。
- ・ 対象は下表のとおりとする。

再生資源利用計画書 (実施書)	次のいずれか1つでも満たす建設資材を搬入する工事	
	1 土砂	500m ³ 以上
	2 砕石	500t 以上
	3 加熱アスファルト混合物	200t 以上
再生資源利用促進計画書 (実施書)	次のいずれか1つでも満たす指定副産物を搬出する工事	
	1 建設発生土	500m ³ 以上
	2 コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊及び建設発生木材	
	合計 200t 以上	

特定建設資材：①コンクリート②コンクリート及び鉄から成る建設資材

③木材④アスファルト・コンクリート

(6) 処分量の確認

建設副産物の処分量を確認するため、監督員から請求書、伝票等の提示を求められた場合は応じなければならない。

8 品質及び技術管理関係

(1) 建設資材の品質記録保存

土木構造物について建設資材の品質記録を作成し、工事完了時に提出する。

(2) コリンズへの登録

受注者は契約額 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システム((財)日本建設情報総合センター)にもとづき、当初契約時・変更契約時・しゅん工時・訂正時に工事实績情報として、「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、登録申請しなければならない。

当初の契約額が 500 万円未満の工事について、増額により変更契約額が 500 万円以上となった場合には、変更契約後の工事情報で「工事カルテ」を作成することとし、変更契約後 10 日以内に登録申請しなければならない。

ただし、変更時登録としゅん工時登録の間が 10 日以内であれば、変更時登録を省略し、しゅん工時に登録することが出来る。

なお、しゅん工(完了)時登録済データに対して、訂正(削除)をする場合は、発注機関確認書が必要となる。

(3) 建設資材の試験

建設資材のうち、コンクリート圧縮強度試験及び鉄筋試験等については、原則として建設技術センター試験所にて行うこと。また、圧縮試験供試体には受注者の主任技術者又はコンクリート担当技術者がサインしたQC版または品質証明シールを入れる。

(4) コンクリート品質管理

ア コンクリート担当技術者の配置

- ・ 受注者は、50m³以上のコンクリート工事においては、コンクリート担当技術者を配置し、施工計画書に氏名を明示する。
- ・ 同技術者は主任技術者または監理技術者との兼務は可、現場代理人との兼務は不可である。また、現場代理人が主任技術者の資格を有する場合は、兼務が可能である。

イ 責任分界点からの受注者が行う品質管理

受注者は「責任分界点」から先の全ての品質管理に責任を負うものであり、品質管理のための試験等を生コン会社に委託した場合には、その全てに立ち会うとともに、その記録及び写真をしゅん工成果品として提出するものとする。なお、上記において立会いの証としてコンクリート担当技術者が必ず写真に写っているものとする。ただし、安曇野建設事務所にて一括承認された工場において試験等を行う場合は、立ち会い及び写真を省略できる。

ウ レディーミクストコンクリート納入書（伝票）の扱い

- ・ 納入書は整理保管し、監督員等の求めに応じて提示する。
- ・ 納入書には、工場発時間、現場着時間及び打設完了時間を記入し、荷受職員認欄に担当者が記名するものとする。
- ・ スランプ、空気量測定値の記入は省略可能とし、品質管理資料で確認するものとする。

(5) 工事に使用する材料の承認

ア 工事で使用する材料は、「材料承認願い」を提出して承認を得ること。

イ 安曇野建設事務所にて一括承認された材料等を使用する場合に限り、承認願いを省略することができる。

ウ JIS で認証されている規格品のうち、JIS マーク表示がされている材料・製品等（以下、「JIS マーク表示品」という）については、JIS マーク表示状態を示す写真等確認資料の提示に替えることができる。

エ 一括承認対象製品及び JIS マーク表示品について、どの材料が該当しているかを確認できる主要材料表を施工計画書等に添付すること。

オ 一括承認資材について不明な点等は、監督員に確認すること。

カ 工事用資材は「信州リサイクル製品認定制度」の認定を受けているリサイクル資材を原則使用すること。「信州リサイクル製品」については、長野県ホームページを参照のこと。

9 ワンデーレスポンス・ウィークリースタンス

(1) この工事は、ワンデーレスポンス・ウィークリースタンス実施対象工事である。

(2) 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するなど、工事現場において発生する諸問題に対し迅速な対応を実現することである。ただし、即日回答が困難な場合は、回答が必要な期限を受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなどの回答を「その日のうち」にすること。また、受注者は計画工程表の提出にあたり、工事の進捗状況等を把握できる工程管理の方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

(3) 「ウィークリースタンス」とは、受発注者間で効率的かつ計画的に工事・業務を進めるためのルールを定める受発注者共同の取組であり、成果物の品質確保と、ワークライフバランスの推進による担い手の確保・育成を目的とする。「ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者間で十分な意思疎通を図り、取組を行うとともに、取組内容については施工計画書に記載すること。

10 受注者の希望により実施する内容の確認

(1) 受注者は契約額 200 万円以上の工事の施工条件のうち、受注者の希望により実施する内容については、工事請負契約締結後に別紙ー2『実施希望調査』を監督員へ提出し、確認を受けること。

(2) 工事への ICT 技術の活用にあたっては、長野県が適用する「ICT 活用工事の実施方針」、各工種の「ICT 活用工事仕様書」及び「積算要領」に準拠することとし、試行的な運用として特記仕様書に別途定める工事について実施を希望できるものとする。受注者の希望により実施する場合には、事前に監督員と協議すること。

(3) 電子納品の実施にあたっては、長野県が適用する「電子納品に係る実施要領」に準拠することとし、試行的な運用として特記仕様書に別途定める（発注者指定による電子納品対象工事を除く）工事について実施を希望できるものとする。受注者が電子納品を希望する場合は、対象書類やファイル形式、データバックアップ体制、コンピュータウィルス対策方法等について、工事着手時に監督員と協議することとし、対象書類はCD-R もしくはDVD-R に記録して提出すること。

(4) 情報共有システム利用の実施にあたっては、長野県が適用する「情報共有システム実施要領」に準拠することとし、着手時に、実施の有無、システムの種類、参加者について監督員と協議・確認を行うこと。

- (5) 建設キャリアアップシステムの活用にあたっては、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に準拠することとし、活用を希望する場合は、工事打合せ簿により監督員と協議すること。

1.1 その他

(1) 各種調査・試験に対する協力

「長野県林業土木工事共通仕様書」1-1-1-18 にもとづき、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等及び試験に対して、協力しなければならない。

ア 公共事業労務費調査

- ・ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。また、工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者も同様の義務を負う旨を定めなければならない。

イ 諸経費動向調査

ウ 施工合理化調査（歩掛実態調査）

エ 施工形態動向調査

調査対象になった工種には、発注者から通知すると共に、技術管理費に当該調査に関わる調査費用を計上する。

オ 長野県建設工事における元請・下請関係適正化調査

(2) 構造改善

建設現場における福祉の改善や労働時間の短縮、又は建設産業への理解を深める事業の実施などの構造改善対策にも配慮すること。

(3) 暴力団等（暴力団、暴力団関係企業など、不当介入を行うすべての者をいう。）からの不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除

①暴力団等からの不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告し、被害届を速やかに所轄警察署に提出すること。

②不当介入を排除するため、発注者及び所轄警察署と協力すること。

③不当介入により工期の延長が生じる場合は、約款の規定により発注者に工期延長等の要請を行うこと。

(4) 遵守事項

『指導事項』（別紙一 7）を遵守すること。

(5) 不正軽油撲滅対策

軽油を燃料とする車両及び建設機械等には、ガソリンスタンド等で販売されている適正な軽油を使用すること。県庁税務課及び各県税事務所がおこなう燃料の抜き取り調査等に協力すること。

(6) 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

法定外の労災保険への付保状況について、受注者は保険契約の証券又はこれに代わるものにより、監督員の確認を受けなければならない。

(7) 生コンクリートをはじめとして、主要な材料は管内工場の価格により積算しているため、これらを管外から搬入する場合は、監督員と協議すること。

(8) 工期及び請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知

落札者（随意契約の場合は、契約の相手方）は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 20 条の 2 第 2 項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合は、決定通知書の発行日）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せ、通知書（書式は当市ホームページ上に掲載）により通知すること。

1.2 創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力（ICT 等の新技術・新工法含む）に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

※ ICT 活用工事については、発注者が事前協議資料や施工計画書等で実施状況を確認できれば、説明資料の作成・提出は不要とする。

創意工夫・社会性等の具体的な内容がある場合は、別紙一 3（1）『創意工夫等』及び別紙一 3（2）『説明資料』を提出すること。なお、用紙サイズは A4 版とする。

1.3 工事現場の環境改善について

(1) 目的

工事現場の現場環境改善は、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ、そこで働く関係者の意識を高めるとともに関係者の作業環境を整えることにより、公共事業の円滑な執行に資することを目的とするものである。よって、受注者は施工に際し、この趣旨を理解し、発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事を実施するものとする。

(2) 現場環境改善の実施内容について

①現場環境改善費が率計上されている場合は、別紙—5『現場環境改善費実施計画表』に基づき、現場着手前までに受発注者協議により決定するものとする。

決定する際は、「現場環境改善費実施計画表」の「実施する内容」の中から、原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を選択することとする。

②主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。対策を実施する場合は①同様に、別紙—5『現場環境改善費実施計画表』に基づき、現場着手前までに受発注者協議により決定するものとする。

③現場環境改善費が①の他に積上計上されている場合は、発注者の指示に従い実施のこと。

(3) 工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。

1.4 参考資料

別紙—1『排出ガス対策型機械』

別紙—2『実施希望調書』

別紙—3 (1)『創意工夫等』

(2)『説明資料』

別紙—4『施工計画書のチェックリスト』

別紙—5『現場環境改善費実施計画表』

別紙—6『撮影箇所一覧表』

別紙—7『指導事項』

※工事提出書類は長野県林務部「工事書類簡素化ガイドライン 及び 林務部簡素化書類一覧」準拠のこと

排出ガス対策型建設機械について

本工事においては、（表－１）に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械の使用を原則とする。

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第２４９号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用出来ない場合は、平成７年度建設技術評価制度募集課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

（表-1）排出ガス対策型建設機械を原則使用する機種

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの； 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 <u>（閲覧設計書等で2次基準値と表示している機種については、2次基準値を標準とする工種である。）</u>

令和 年 月 日

(宛先) 安曇野市長

(受注者)

住 所

氏 名

(社印省略)

施工条件に関わる実施希望について

さきに受注した工事について、下記のとおり実施を希望します。

記

工 事 名	
建設副産物の とりまとめ方法	☐ 建設副産物情報交換システム ^{コブリス} (COBRIS) ☐ 建設リサイクル報告様式 (計画書・実施書) ※国土交通省ホームページ上で公開されている様式データ
ICT 活用工事	☐ 実施を希望する ☐ 発注者の指定により実施する ☐ 実施を希望しない ☐ 対象外工事
電子納品 (CD または DVD による提出)	☐ 成果物の一部を電子媒体に記録して提出を希望する ☐ 実施を希望しない (従来どおりに成果物を取りまとめて提出する) ☐ 発注者の指定により実施する ☐ 対象外工事
情報共有システム	☐ 利用を希望する ☐ 利用を希望しない ☐ 対象外工事
建設キャリアアップ システム	☐ 活用を希望する ☐ 活用を希望しない ☐ 対象外工事

※□にチェックマーク (レ点) を入れてください。

なお、上記の希望に基づき実施する場合の具体的な内容については、監督員等と別途協議をすることとします。

創意工夫・社会性に関する実施状況

工事名	令和〇〇年度 〇〇	工事	請負者名	〇〇建設
項 目	評価内容	番号	実施内容（説明資料の実施内容を複写）	
☐ 創意工夫 項目数 _____ 項目	☐ 施工		(例) ・災害等での臨機の処置 ・施工状況(条件)の変化に対応した自発的提案 ・ＩＣＴ活用工事の取組み ・測量・位置出し ・施工に伴う機械、器具、工具、装置類の工夫 ・二次製品、代替製品の利用の工夫 ・施工方法の工夫 ・施工環境の改善 ・仮設計画の工夫 ・施工管理の工夫 ・写真管理の工夫 ・その他	
	☐ 品質		(例) ・使用材料、施工方法、品質確保の工夫 ・集計ソフトの活用 ・その他	
	☐ 安全衛生 (※)		(例) ・安全施設・仮設備の配慮・工夫 ・安全教育・講習会・パトロールの工夫 ・作業環境の改善 ・交通事故防止・被害軽減対策・交通確保の工夫 ・その他	
	☐ その他		(例) ・リサイクル推進 ・生産性向上の取組み ・その他	
☐ 社会性等 (地域社会や住民 に対する貢献) 項目数 _____ 項目	☐ 地域への貢献 (週休2日に対する取 組みを含む) (※)		(例) ・週休2日実現の取組みの工夫 ・地域の自然環境保全 ・作業現場の周辺地域との調和 ・地域住民とのコミュニケーション ・ボランティア活動への積極的な参加 ・その他	

実施状況の提出は、創意工夫、社会性等それぞれ7項目を上限とする。

※ 現場環境改善費で実施した5項目については評価しない

創意工夫・社会性等に関する実施状況 説明資料

工事名			番号	
項 目		評価内容		
実施内容				
(説 明)				
(添付図)				

○作成にあたっての注意事項

本実施状況の提出は、創意工夫、社会性等それぞれ7項目を上限とする。

【別添様式】について

1. 該当する項目に□に、レ点マーク記入。
 2. 該当項目以外にも評価できる内容がある場合には、その他として項目を設けるものとする。
 3. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。
 4. 提案内容1件毎に番号を付し、説明資料の右上に対応する番号を記入する。
- 「説明資料」については、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別添とする。

施工計画書のチェックリスト 1 工事名：

受注者：

箇所名：

項 目	内 容	指 示 事 項	確認
◎施工計画書の内容（１～１５）	起工測量後速やかに提出されているか。（協議書添付）		
1 工事概要	工事名、工事箇所、工期、設計大要を記入。		
2 計画工程表	経済的な工程計画立案の趣旨に沿って計画し、しゅん工時には、実施工程表を赤黒対象で提出する。 複数の工種ではネットワーク等の工程表も考慮する。		
3 現場組織（１）現場組織表	・工種毎の作業主任者を決め記入。（資格証明書の写しの添付は不要） ・下請業者も含む組織の明示。		
（２）コンクリート担当技術者	打設量が50m ³ 以上の場合に配置する。		
	地形等の調査、作業中止基準、降雨量等の把握、降雨の場合に講ずる措置、作業中止の解除、警報装置・避難所、避難訓練について記載。 作業の中止決定及び解除の判断者を記載。		
4 主要材料	工種別に材料、規格、数量、品質確認の種別、購入先を記入する。		
5 施工方法（１）施工方法	簡略図により、工事の施工方法を具体的に記入。使用する機械は規格を記入する。		
（２）施工順序と施工量	構造図の縮小版等を利用し、各工種毎の構造物の施工順序を具体的に記入。施工順序により施工量（日数）を計算して記入。		
（３）コンクリート打設計画	各構造物の打設計画を記入。コンクリートの養生方法についても具体的に記入。打継目処理計画、鉄筋の保管方法等。		
6 仮設計画（１）瀬迫工及び排水工	現場に適合した計画を記入。（任意協議）		
（２）仮設道路迂回路	最も合理的な計画で作成。（任意協議）		
（３）仮設トイレ・現場事務所配置	仮設トイレ・現場事務所の配置図作成。		
（４）架空線上空施設への防護カバー設置	防護カバー設置箇所の資料添付。（任意協議）		
（５）その他	仮橋及び支保工等の強度計算書の添付。		
7 施工管理計画（１）出来形管理	工種、出来形管理項目、対象数量、測定頻度、測定数、管理測点を記入。		
（２）品質管理	種別、品質管理試験名、対象数量、測定頻度、測定数、試験場所を記入。		
（３）写真管理	工種、撮影項目、対象数量、撮影頻度、撮影数、撮影測点を記入。		
（４）その他	その他特殊構造物における出来形管理、品質管理、写真管理等は協議して記入。		

施工計画書のチェックリスト 2

工事名：

受注者：

箇所名：

項 目	内 容	指 示 事 項	確認
8 安全管理（１）安全管理組織表	会社内のそれぞれの安全管理者の分担を記入。		
（２）安全管理について	遵守する基準や関係法令を記載。		
（３）安全管理の内容	毎日の安全施工サイクルの実施事項を記載。		
（４）安全管理のための実施事項	毎日（朝礼、KY活動、始業前点検、工程会議、片付）、週例（安全衛生協議会）、月例（安全大会、安全教育、災防協、安パト）、その他（新規入場等）の実施事項を記載、		
（５）公衆災害防止	第三者災害の防止について記載。		
（６）労働災害防止	墜落・転落災害、車両系建設機械による災害、クレーン等による災害、土砂崩落災害、飛来・落下災害、火災・爆発災害、その他（熱中症や蜂等）について、被害の防止対策を記載。 現場の具体的な箇所を図示し、安全対策（手すり等）を明記する。		
（７）自然現象及び土石流に対する労働災害防止対策	地形等の調査、作業中止基準、降雨量等の把握、降雨の場合に講ずる措置、作業中止の解除、警報装置・避難所、避難訓練について記載。 作業の中止決定及び解除の判断者を記載。		
9 緊急時連絡系統図	関係機関の緊急連絡先を記入。（携帯電話等も記入）		
10 交通管理対策	現場内外の標識設置計画を平面図の縮小版又は略図に記入。交通規制について記載。		
11 環境対策	現場周辺の自然環境の保全、公害防止、周辺住民の生活環境の保全について記載する。		
12 建設副産物	別紙ー２『実施希望調書』により、集計方法を報告の上、再生資源利用（促進）計画書を提出する。搬出先までのルート図添付（距離、時間を記入）		
13 過積載防止対策	対象を明示し、対策を具体的に記入。		
14 関係機関との協議	工事着手前に各関係機関と協議する事項又は処理方針、回答を記入。（電気、電話、上下水道、ガス、用水路、家庭配水管等）写し添付。		
15 その他	現場環境改善費実施計画、監督員と協議し、必要なもの等。		

※現場の出来形確認に使用した図面（平面図、縦断面図、擁壁展開図、舗装展開図など）も添付すること。

現場環境改善費実施計画表

計上費目	チェック欄	実施する内容	現場で実施する内容
		率計上分	
現場環境改善 (仮設備関係)		1 用水・電力等の供給設備	
		2 緑化・花壇	
		3 ライトアップ施設	
		4 見学路及び椅子の設置	
		5 昇降設備の充実	
		6 環境負荷の低減	
		その他	
現場環境改善 (営繕関係)		1 現場事務所の快適化 (女性用更衣室の設置を含む)	
		2 労働宿舍の快適化	
		3 デザインボックス (交通誘導警備員待機室)	
		4 現場休憩所の快適化	
		5 健康関連設備及び厚生施設の充実等	
		その他	
現場環境改善 (安全関係)		1 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電 光式標識等)	
		2 盗難防止対策(警報機等)	
		その他	
地域連携		1 完成予想図	
		2 工法説明図	
		3 工事工程表	
		4 デザイン看板(各工事PR看板含む)	
		5 見学会等の開催(イベント等の実施含む)	
		6 見学所(インフォメーションセンター)の設置及 び管理運営	
		7 パンフレット・工法説明ビデオ	
		8 地域対策費(地域行事等の経費を含む)	
		9 社会貢献	
		その他	
		積上計上分	
		1 避暑(熱中症対策)・防寒対策	

撮影箇所一覧表

区分	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回〔着手前〕	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回〔完成後〕	
施工状況写真	工事施工中	全景又は代表部分の 工事進捗状況	月1回〔月末〕	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書 に従い施工していること が確認できるように適宜 〔施工中〕	
			創意工夫・社会性等に関 する実施状況が確認でき るように適宜〔施工中〕	創意工夫・社会性等に関する 実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所に1回 〔施工前後〕	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて〔発生時〕	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	現場必携共1-13の掲示物を 含む
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	
		監視員交通整理状況	各1回〔作業中〕	
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	品質証明に添付する。
		品質証明（JISマーク表示）	各品目毎に1回	
		検査実施状況	各品目毎に1回〔検査時〕	
品質管理写真		長野県林道土木工事施工管理基準 写真管理基準 品質管理写真撮影箇所一覧表のとおり		
		不可視部分の施工	適宜	
出来形管理写真長野県林道土木工 事施工管理基準		長野県林道土木工事施工管理基準 写真管理基準 出来形管理写真撮影箇所一覧表のとおり		
		不可視部分の施工	適宜	
		出来形管理基準が定められて いない	監督職員と協議事項	
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	発生前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
	環境対策	各施設設置状況	各種毎1回〔設置後〕	

※1 上表については写真撮影例であり、工事ごと施工計画段階で当該監督員と協議して決定すること。

※2 写真撮影時、黒板及びホワイトボードへ設計値及び実測値を記入すること。また、書類整備においても写真の横にある余白へ設計値及び実測値を記入すること。電子黒板による管理も可とする。

※3 しゅん工書類には、区分ごと及び測点ごとにインデックスをつけること。

指導事項

（１）建設産業における生産システムの合理化指針の遵守等について

工事の適正かつ円滑な施工を確保するため、「建設産業における生産システムの合理化指針」において明確にされている総合・専門工事業者の役割に応じた責任を的確に果たすとともに、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善等に努めること。

（２）建設工事の適正な施工の確保について

一 建設業法（昭和２４年５月２４日法律第１００号）及び公共工事の入札契約の促進に関する法律（平成１２年１１月２７日法律第１２７号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。

二 建設業法第２６条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して、専らその職務に従事する者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。

なお、主任技術者または監理技術者の専任を要しない期間の留意事項は、以下のとおりとする。

【現場施工に着手する日が確定している場合】

・請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

【現場施工に着手する日が確定していない場合】

・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて決める。

・工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付けのみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

三 受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者のうち、当該建設工事に係る建設業が指定建設業である場合の監理技術者は、建設業法第１５条第２号イに該当する者又は同号ハの規定により建設大臣が同号イに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者で、監理技術者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、監理技術者の写しを契約時に提出する。また発注者から請求があったときは、資格者証を提示すること。

四 一、二及び三のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

（３）労働福祉の改善等について

建設労働者の確保を図ること並びに労働災害の防止、適正な賃金の確保、退職金制度及び各種保険制度への加入等労働福祉の改善に努めること。

（４）建設業退職金共済制度について

一 受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。

二 受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。

三 契約額が８００万円以上の建設工事を締結した時は、受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という）を工事請負契約締結後１か月以内に発注者に提出すること。電子申請方式の場合は、退職金ポイントの購入時に発行される掛金収納書を、工事契約締結後４０日以内に発注者へ提出すること。なお、工事請負契約締結当初は工場製作の段階であるため、建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合においては、あらかじめその理由および共済証紙の購入予定時期を書面により申し出ること。

四 受注者は三の申し出を行った場合、契約額の増額変更があった場合等において共済証紙を追加購入した時は、当該共済証紙に係る収納書を工事完成時まで提出すること。なお、三の申し出を行った場合または契約代金額の増額変更があった場合において、共済証紙を追加購入しなかったときは、その理由を書面により申し出ること。

五 共済証紙の購入状況を把握するため必要があると認めるときは、共済証紙の受払簿その他関係資料の提示を求めることがある。

- 六 建退共制度に加入せず、または共済証紙の購入若しくは貼付が不十分な受注者については、入札等において考慮することがある。
- 七 下請業者の規模が小さく、建退共制度に関する事務処理能力が十分でない場合には、元請業者に建退共制度への加入手続き、共済証紙の共済手帳への貼付等の事務の処理を委託する方法もあるので、元請業者においてできる限り下請業者の事務の受託に努めること。
- 八 中小企業退職金共済制度等その他の制度に加入の労働者がいることを理由に建退共制度を用いない場合、監督員等が現場において「保険契約証書」「中退共加入証明」等を確認する。

(５) ダンプトラック等による過積載、不正改造等の防止について

- 一 積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。
- 二 過積載、不正改造等を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- 三 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等に当たっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- 四 さし柵装着車、物品積載装置、リヤバンパー等を不正改造したダンプカー及び不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- 五 過積載車両、さし柵装着車、リヤバンパーの切断・取り外し改造車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載、不正改造等を助長することのないようにすること。
- 六 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、リヤバンパーの切断・取り外し改造車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- 七 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- 八 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
- 九 以上のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
- 十 上記の対策について、施工計画書に具体的に記載すること。

(６) 不法無線局及び違法無線局対策について

受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（不法アマチュア局、外国製無線機など）及び無線局の違法な運用（アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。

安曇野市土木工事（林道）共通仕様書

令和元年	5月15日	改訂
令和元年	7月19日	改訂
令和元年	8月1日	改訂
令和元年	10月20日	改訂
令和2年	6月29日	改訂
令和2年	10月20日	改訂
令和3年	8月1日	改訂
令和5年	10月1日	改訂
令和6年	4月1日	改訂
令和6年	10月1日	改訂
令和7年	7月1日	改訂

特記仕様書

工事名：令和８年度 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事（第１工区）

箇所名：安曇野市 明科中川手

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

１ 工事内容

- (1) 工事概要は金抜き設計書のとおりとする。
- (2) 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施にあたっては、「電子納品に係る実施要領」によるものとする。
- (3) 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。利用にあたっては、「情報共有システム実施要領」によるものとする。
- (4) 本工事は週休２日工事の対象工事である。「安曇野市週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
(参考)「安曇野市週休２日工事実施要領」
- (5) 本工事は「ＩＣＴ活用工事の実施方針」に基づき、ＩＣＴ技術の活用が可能な建設工事である。実施にあたっては、各工種の「ＩＣＴ活用工事実施要領（国土交通省）」によるものとする。
(参考)「ＩＣＴ活用工事の実施方針・実施要領」
- (6) 本工事は、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。
(参考)「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」
- (7) 上記(2)(5)(6)の実施または活用の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙－２『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。
- (7) 林道長峰線及び林道城山線の冬期通行止めは令和８年１２月１日（予定）からのため、それまでは片側通行を確保すること。工事内容により通行止めが必要な場合は、受発注者間で協議すること。

２ 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から令和９年３月１９日までとする。なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数	0.77
④ その他の作業不能日	0 日間

著しい悪天候や気象状況より工程が過去５年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 発生土・廃棄物関係

- (1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

- (2) 建設発生土

【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等	備考
明科建材	1,900 円/m ³	5.9 km	安曇野市明科中川手 2058	1・2工区
明科建材	1,900 円/m ³	6.0 km		3工区
明科建材	1,900 円/m ³	6.8 km		4工区

上記の搬出先について、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。

- (3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
アスファルト塊	1工区	再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.5 km
			数 量	1.5 t		
	2工区	再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.5 km
			数 量	1.8 t		
	3工区	再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.6 km
			数 量	3.6 t		
	4工区	再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	13.4 km
			数 量	0.35 t		
コンクリート塊	1工区	二次製品 再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.5 km
			数 量	0.1 t		
	2工区	二次製品 再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.5 km
			数 量	0.1 t		
	3工区	二次製品 再利用	処理工場名	共和リテック（株）	距離	12.6 km
			数 量	0.2 t		
	4工区	二次製品 再利用	処理工場名		距離	km
			数 量	t ・ m ³		
建設発生木材			処理工場名		距離	km
			数 量	t ・ m ³		

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等		
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名		距離 km
		数 量	t ・ m ³	
汚 泥		処理工場名		距離 km
		数 量	t ・ m ³	
その他（廃プラスチック）		処理工場名	Gフレンドリー	距離 14.8 km
		数 量	30 kg	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 — 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

※伐採材については、有価売却を検討すること。

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記(3)、(4)に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。

工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- ①品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- ②平坦性試験は、本工事の舗装打換え面積が1,000㎡以下のため省略する。
- ③国道との交差点作業時は、交通誘導員を配置するとともに、交通誘導員の安全管理についても留意すること。
- ④創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を完了時まで報告すること。
- ⑤本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。

ア 実施する内容については、安曇野市土木（林道）工事共通仕様書 別紙－５の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。

選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

イ この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。

積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。

ウ この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に

- 伴う現場環境改善費率の変更は行う。
- エ 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。
- オ 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。
- ⑥本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
- ア 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
- イ 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- ⑦施工にあたり、冬期通行止めまでの期間は片側通行を確保すること。
- ⑧その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和7年7月1日適用版

民 有 林 林 道 事 業 設 計 書

令和8年度

金抜き1工区

路 線 名	長 峰 線	事 業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事 測量設計業務委託
		林 道 区 分	幹 線
林 道 種 類	自動車道第2種2級	幅 員	4 . 0 m

施 行 主 体	安曇野市
工事施工箇所	長野県 安曇野市 明科 中川手

総括情報表

頁0-0001

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	01 0 1 実施単価 50 1 1 中信（2） 08.09.01			
	当 世 代	前 世 代		
前払率 消費税率（%） 工種 週休2日補正 施工地域区分 現場環境改善費 契約保証方法 設計書区分	40 35%を超える又は前払対象外 10 % 03 道路工事 09 週単位（土日） 09 補正無し 02 上記以外 01 金銭的保証 00 実施設計			
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。			

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
1工区改良工事						
林道土工						
掘削工						
土工 粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] 地山の掘削	96	m3				単価 第0 -0001号表
法面整形工						
切土法面整形 礫質土 BH山積0.45m3 [平積0.35m3]	114	m ²				単価 第0 -0003号表
作業残土処理工						
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 5. 9km	98	m3				単価 第0 -0005号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面保護工						
吹付工						
植生基材吹付工3cm						
	113.8	m ²				単価 第0 -0008号表
排水施設工						
作業土工						
作業土工（床掘工）						
	20	m ³				単価 第0 -0017号表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満						
	6	m ³				単価 第0 -0019号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離0. 5km 仮置き場へ運搬	7	m ³				単価 第0 -0020号表
土工 粘性土・礫質土∴山積0.45m ³ [超小旋回型] ルーズな状態の土砂積込	6	m ³				単価 第0 -0021号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
側溝工	運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 0. 5 km 仮置き場から現場へ									単価	第0 -0020号表
		7		m	3						
	プレキャスト L 形側溝（製品長 0. 6 m） 撤去									単価	第0 -0022号表
		32.3		m							
	プレキャスト L 形側溝（製品長 0. 6 m） 据付 基礎碎石なし									単価	第0 -0023号表
		30.7		m							
	コンクリート 小型構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設									単価	第0 -0024号表
		1.7		m	3						
	型枠 一般型枠 均しコンクリート									単価	第0 -0025号表
		6.1		m	2						
	基礎碎石工 再生材（クラッシャーラン 4 0 mm 以下）									単価	第0 -0026号表
		16.9		m	2						
	基面整正									単価	第0 -0028号表
		17		m	2						
	運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t 車 アスファルト・コンクリート塊 運搬距離 1 2. 5 km									単価	第0 -0029号表
		0.1		m	3						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装工											
アスファルト舗装工											
	表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm										
		60.9		m	2					単価	第0 -0031号表
	上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚70mm										
		60.9		m	2					単価	第0 -0032号表
	下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚220mm 2層施工										
		60.9		m	2					単価	第0 -0033号表
	不陸整正 補足材料なし										
		60.9		m	2					単価	第0 -0034号表
道路付属施設工											
区画線工											
	区画線設置（機・労のみ） 溶融式（手動） 破線 15cm										
		450		m						単価	第0 -0035号表

*** 本工事費 ***

内訳表

頁 -0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	区画線設置 (材料費のみ) 溶融式 (手動) 破線 15cm						単価 第0 -0036号表
		34		m			
構造物撤去工							
構造物取壊し工							
	舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし						単価 第0 -0037号表
		16.3		m ²			
	舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下						単価 第0 -0038号表
		33.8		m			
運搬処理工							
	殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)						単価 第0 -0039号表
		0.7		m ³			
その他							
その他							

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費等						
産廃処理 残土						
	98	m3				
産廃処理 二次製品						
	0.1	t				
産廃処理 アスファルト						
	1.5	t				
2工区改良工事						
林道土工						
掘削工						
土工 粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] 地山の掘削	170	m3				単価 第0 -0001号表
法面整形工						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
切土法面整形 礫質土 BH山積0.45m3 [平積0.35m3]	146	m ²				単価 第0 -0003号表
作業残土処理工						
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 5. 9km	166	m ³				単価 第0 -0005号表
法面保護工						
吹付工						
植生基材吹付工3cm	145.5	m ²				単価 第0 -0008号表
排水施設工						
作業土工						
作業土工（床掘工）	24	m ³				単価 第0 -0017号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 最大埋戻幅1m未満						
	7	m 3				単価 第0 -0019号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離0. 4km 仮置き場へ運搬						
	8	m 3				単価 第0 -0040号表
土工 粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] ルーズな状態の土砂積込						
	7	m 3				単価 第0 -0021号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離0. 4km 仮置き場から現場へ						
	8	m 3				単価 第0 -0040号表
側溝工						
プレキャストL形側溝（製品長0. 6m） 撤去						
	38.5	m				単価 第0 -0022号表
プレキャストL形側溝（製品長0. 6m） 据付 基礎碎石なし						
	37.3	m				単価 第0 -0023号表
コンクリート 小型構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設						
	2.1	m 3				単価 第0 -0024号表
型枠 一般型枠 均しコンクリート						
	7.5	m 2				単価 第0 -0025号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0010

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎砕石工 再生材（クラッシャーラン 40mm以下）						
		20.5	m ²			単価 第0 -0026号表
基面整正						
		21	m ²			単価 第0 -0028号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4t車 アスファルト・コンクリート塊 運搬距離12.5km						
		0.1	m ³			単価 第0 -0029号表
舗装工						
アスファルト舗装工						
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm						
		74.6	m ²			単価 第0 -0031号表
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整砕石 全仕上り厚70mm						
		74.6	m ²			単価 第0 -0032号表
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚220mm 2層施工						
		74.6	m ²			単価 第0 -0033号表
不陸整正 補足材料なし						
		74.6	m ²			単価 第0 -0034号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路付属施設工						
区画線工						
区画線設置 (材料費のみ) 溶融式 (手動) 破線 15cm	41	m				単価 第0 -0036号表
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	19.3	m ²				単価 第0 -0037号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	39.8	m				単価 第0 -0038号表
運搬処理工						
搬運搬 舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	0.8	m ³				単価 第0 -0039号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
その他						
その他						
＊処分費等＊						
産廃処理 残土						
	166	m3				
産廃処理 二次製品						
	0.1	t				
産廃処理 アスファルト						
	1.8	t				
3工区改良工事						
林道土工						
掘削工						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工 粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] 地山の掘削						
	156	m 3				単価 第0 -0001号表
法面整形工						
切土法面整形 礫質土 BH山積0.45m3 [平積0.35m3]						
	236	m ²				単価 第0 -0003号表
作業残土処理工						
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 6 km						
	172	m 3				単価 第0 -0041号表
法面保護工						
吹付工						
植生基材吹付工3cm						
	235.5	m 2				単価 第0 -0008号表
排水施設工						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0014

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
作業土工											
作業土工（床掘工）											
		47		m	3					単価	第0 -0017号表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満											
		10		m	3					単価	第0 -0019号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離0. 3km 仮置き場へ運搬											
		11		m	3					単価	第0 -0042号表
土工 粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] ルーズな状態の土砂積込											
		10		m	3					単価	第0 -0021号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離0. 3km 仮置き場から現場へ											
		11		m	3					単価	第0 -0042号表
側溝工											
プレキャストL形側溝（製品長0. 6m） 撤去											
		53.1		m						単価	第0 -0022号表
プレキャストL形側溝（製品長0. 6m） 据付 基礎碎石なし											
		50.8		m						単価	第0 -0023号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0015

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物						
一般養生						
夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ						
人力打設	2.8	m 3				単価 第0 -0024号表
型枠						
一般型枠						
均しコンクリート	10.2	m 2				単価 第0 -0025号表
基礎砕石工						
再生材（クラッシャーラン 4 0mm以下）						
	27.9	m²				単価 第0 -0026号表
基面整正						
	28	m 2				単価 第0 -0028号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好						
4 t車 アスファルト・コンクリート塊						
運搬距離 1 2. 6 km	0.1	m 3				単価 第0 -0043号表
舗装工						
アスファルト舗装工						
表層（車道・路肩部）						
1.4m以上3.0m以下						
平均仕上り厚 4 0 mm	146.5	m 2				単価 第0 -0031号表
上層路盤（車道・路肩部）						
粒度調整砕石						
全仕上り厚 7 0 mm	146.5	m 2				単価 第0 -0032号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0016

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚 2 3 0 mm 2層施工						
	146.5	m 2				単価 第0 -0044号表
不陸整正 補足材料なし						
	146.5	m 2				単価 第0 -0034号表
道路付属施設工						
区画線工						
区画線設置（材料費のみ） 溶融式（手動） 破線 1 5 c m						
	80	m				単価 第0 -0036号表
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし						
	38.4	m 2				単価 第0 -0037号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下						
	77.9	m				単価 第0 -0038号表

内訳表

頁 -0017

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬処理工						
殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	1.5	m 3				単価 第0 -0039号表
その他						
その他						
処分費等						
産廃処理 残土	172	m 3				
産廃処理 二次製品	0.2	t				
産廃処理 アスファルト	3.6	t				
4工区改良工事						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0018

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
林道土工						
作業残土処理工						
土砂等運搬 小規模 DID区間なし 7.5km以下 バックホ						
		26	m 3			単価 第0 -0045号表
擁壁工						
作業土工						
床掘り 土砂 小規模						
		30	m 3			単価 第0 -0046号表
埋戻し 小規模 土砂						
		13	m 3			単価 第0 -0047号表
埋戻し 小規模 土砂 埋戻し砕石手間						
		3	m 3			単価 第0 -0047号表
再生クラッシャーラン40mm以下 埋戻し砕石						
		4.1	m 3			

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0019

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 小規模 DID区間なし 1.0km以下 バックホ 仮置き場へ運搬	14	m3				単価 第0 -0048号表
積込（ルーズ） 土砂 小規模(標準)	13	m3				単価 第0 -0049号表
土砂等運搬 小規模 DID区間なし 1.0km以下 バックホ 仮置き場から現場へ運搬	14	m3				単価 第0 -0048号表
プレキャスト擁壁工						
標準ブロック H500×L1000×B370 0.5m ² /個	13	個				
L型金網100型 H500×L1000×B650 0.5m ² /個	6	個				
L型金網150型 H500×L1000×B1150 0.5m ² /個	7	個				
根石ブロック110型 H500×L1000×B1100	6	個				
端部金網50型 H500×B500 0.25m ² /枚	1	枚				

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0020

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
端部金網100型 H500×B900 0.45m ² /枚	2	枚			
端部金網150型 H500×B1400 0.70m ² /枚	3	枚			
中詰材保護シート W600×t0.5mm	25.0	m			
吸出し防止材設置	6.0	m ²			単価 第0 -0050号表
垂直擁壁・設置工 標準ブロック・L型金網	6.5	m ²			単価 第0 -0051号表
垂直擁壁・設置工 根石ブロック	3.0	m ²			単価 第0 -0052号表
垂直擁壁・設置工 端部網	3.3	m ²			単価 第0 -0053号表
胴込・裏込材（砕石） 大型ブロック 再生クラッシュラン RC-40	8.7	m ³			単価 第0 -0054号表
コンクリート 小型構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ バックホ（クレーン機能付）打設 基礎コンクリート	0.8	m ³			単価 第0 -0055号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0021

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1.2	m ²			単価 第0 -0025号表
基礎砕石工 再生材（クラッシャーラン 40mm以下）	7.8	m ²			単価 第0 -0026号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ バックホ（クレーン機能付）打設 間詰コンクリート	0.2	m ³			単価 第0 -0056号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1.0	m ²			単価 第0 -0057号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設 天端コンクリート	3.4	m ³			単価 第0 -0058号表
天端ブロック設置工	6.4	m ²			単価 第0 -0059号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	7.1	m ²			単価 第0 -0057号表
ガードレール支柱鉄筋補強工 GR - C	3	箇所			単価 第0 -0062号表
目地板 30m ² 未満 瀝青質目地板	0.5	m ²			単価 第0 -0064号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0022

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工	大型土のう撤去・移設 作業半径 6m以下					
		12	袋			単価 第0 -0065号表
舗装工	アスファルト舗装工					
舗装工	表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm					
		17.9	m ²			単価 第0 -0031号表
舗装工	上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚70mm					
		17.7	m ²			単価 第0 -0032号表
舗装工	下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚300mm 2層施工					
		17.0	m ²			単価 第0 -0067号表
道路付属施設工	防護柵工					
ガードレール設置工	Gr-C-2B Co建込 塗装品					
		7.0	m			単価 第0 -0068号表

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0023

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし						
	3.8	m	2			単価 第0 -0037号表
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下						
	6.4	m				単価 第0 -0038号表
運搬処理工						
殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)						
	0.2	m	3			単価 第0 -0039号表
運搬 ダンプトラック 搬路状況良好 4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 1 4. 8 km						
	2.5	m	3			単価 第0 -0069号表
その他						
その他						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0024

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費等						
産廃処理 残土						
	26	m3				
産廃処理 アスファルト						
	0.4	t				
産廃処理 廃プラスチック						
	30.0	kg				
直接工事費						
現場環境改善費						
率 0.0126						
共通仮設 費率計算額						
率 0.1468						
共通仮設費計						

* 本工事費 *

内訳表

頁 -0025

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費							
現場管理費	率 0.3322						
工事原価							
一般管理費等	率 0.2255						
工事価格計							
消費税等相当額計	率 0.1000						
工事費計							
(参考) 直接工事費のうち労務費							
(参考) 直接工事費のうち材料費							

*** 本工事費 ***

内訳表

頁 -0026

[illegible]

頁0-0027

单価 第0 -0001号表

100 m3 当り

[illegible]

单 価 表

頁0-0028

バックホウ運転 (機-18)

クローラ型後方超小旋回:山積0.45m³ 超低騒音(排出ガス対策型2014年規制)

单価 第0 -0002号表

1 目 当り

[illegible]

切土法面整形 礫質土

頁0-0029

单価 第0 -0003号表

100 m² 当り

BH山積0.45m3 [平積0.35m3]

[illegible]

単 価 表

頁0-0030

バックホウ運転

BH山積0.45m3 [平積0.35m3]

割増なし

单価 第0 -0004号表

時間 当り

[illegible]

運搬 ダンプトラック 搬路状況良好

单価 第0 -0005号表

4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土 運搬距離 5.9 km

1 m 3 当り

[illegible]

ダンプトラック運転
4t車

頁0-0032

单価 第0 -0006号表

1 時間 当り

土砂類～軟岩Ⅱ

[illegible]

ダンプトラック損耗費
4t積

单価 第0 -0007号表

1 時間 当り

[illegible]

植生基材吹付工3cm

単 価 表

単価 第0 -0008号表

100

m 2

当 b

頁0-0034

頁0-0034

单価 第0 -0008号表

100 m2 当り

[illegible]

厚層基材吹付工（土砂タイプ）
吹付厚 3 cm

頁0-0035

100 m² 当り

[illegible]

法面清掃工（土砂部）	単 価 表	頁0-0036
	単価 第0 -0010号表	
	100	m ² 当り

頁0-0036

单価 第0 -0010号表

100

考	m ²	当り
---	----------------	----

[illegible]

単価表

单価 第0 -0011号表

100

$$\mathbf{m}^2$$

当り

[illegible]

単 価 表

頁0-0038

厚層基材吹付工（土砂部）

吹付厚 3 cm

空気圧縮機・発動発電機運転時間→7.2h/日

単価 第0 -0012号表

100

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
厚層基材 生育基盤材、接合材	3.9	m ³			
肥料 ハイコントロール085等 N：P：K=10：18：15	13.00	kg			
土木一般世話役	0.30	人			
法面工	0.60	人			
特殊作業員	0.30	人			
普通作業員	0.60	人			
モルタルコンクリート吹付機運転（機-13） 湿式（0.8～1.2m ³ /h）	2.40	h			単価 第0-0013号表
空気圧縮機運転（機－16） 可搬式・エンジン 10.5～11m ³ /分 排出ガス対策型1次基準	0.40	日			単価 第0-0014号表 10.5～11.0m ³ /分
発動発電機運転 ディーゼル駆動 15kVA 排出ガス対策型1次基準	0.40	日			単価 第0-0015号表
諸雑費	25.00	%			
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り ***	1	m ²			

モルタルコンクリート吹付機運転 (機-13)
湿式 (0.8~1.2m³/h)

頁0-0039

1 h 当り

[illegible]

单 価 表

頁0-0040

空気圧縮機運転 (機-16)

可搬式・エンジン 10.5~11m³/分 排出ガス対策型1次基準

单価 第0 -0014号表

1 目 当 り

[illegible]

植生基材吹付工 種子

单 価 表

单価 第0 -0016号表

頁0-0042

100

$$m^2$$

当り

[illegible]

単 価 表

单価 第0 -0017号表

100 m³ 当り

[illegible]

バックホウ運転 (機-18)

頁0-0044

单価 第0 -0018号表

クロール型後方超小旋回:山積0.45m³ 超低騒音(排出ガス対策型2014年規制)

1 目 当 り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0045

埋戻し
最大埋戻幅1m未満

単価 第0 -0019号表

1 m3 当り

機械構成比：8.95%		労務構成比：87.50%		材料構成比：3.55%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 位	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 超低・排ガス2014∴山積0.45m3		8.37%	供用日			バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 超低・排ガス2014			
タンパ賃料 質量60～80kg 一ヶ月以上		0.58%	日			タンパ（ランマ）賃料			
普通作業員		53.26%	人			普通作業員			
特殊作業員		25.42%	人			特殊作業員			
運転手（特殊）		8.82%	人			運転手（特殊）			
軽油 （小型ローリー、パトロール給油）		2.72%	L			軽油 パトロール給油			

施 工 内 訳 表

頁0-0046

埋戻し
最大埋戻幅1m未満

単価 第0 -0019号表

1 m3 当り

機械構成比： 8.95% 労務構成比： 87.50% 材料構成比： 3.55% 市場単価構成比： 0.00%				標準単価： 1		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー	0.83%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
施工方法：最大埋戻幅1m未満				豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

单価 第0 -0020号表

運搬距離 0.5 km

仮置き場へ運搬

1 m3 当り

[illegible]

単 価 表

頁0-0048

土工

粘性土・礫質土：山積0.45m3 [超小旋回型] ルーズな状態の土砂積込

单価 第0 -0021号表

100

m 3

当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0049

プレキャストL形側溝（製品長0.6m）

単価 第0 -0022号表

撤去

1

m 当り

機械構成比： 11.63%

労務構成比： 84.61%

材料構成比： 3.76%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・C付・排2014L・山0.5m3	10.39%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・C付・排2014		
普通作業員	42.27%	人		普通作業員		
土木一般世話役	17.17%	人		土木一般世話役		
運転手（特殊）	10.89%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	5.22%	人		特殊作業員		
軽油 （小型ローリー、パトロール給油）	3.36%	L		軽油 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

頁0-0050

プレキャストL形側溝（製品長0.6m）

単価 第0 -0022号表

撤去
機械構成比： 11.63% 労務構成比： 84.61% 材料構成比： 3.76% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：撤去				豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0051

プレキャストL形側溝（製品長0.6m）

単価 第0 -0023号表

据付

基礎砕石なし

1

m 当り

機械構成比：7.61%		労務構成比：55.41%		材料構成比：36.98%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 位	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型） 超低騒音・C付・排2014山0.5m3		6.80%	供用日			バックホウ（クローラ型） 超低騒音・C付・排2014			
普通作業員		27.69%	人			普通作業員			
土木一般世話役		11.24%	人			土木一般世話役			
運転手（特殊）		7.13%	人			運転手（特殊）			
特殊作業員		3.42%	人			特殊作業員			
側溝		34.52%	個			鉄筋コンクリートL形 300 500×155×600			

施 工 内 訳 表

頁0-0052

プレキャストL形側溝（製品長0.6m）

単価 第0 -0023号表

据付

基礎碎石なし

1

m 当り

機械構成比： 7.61%

労務構成比： 55.41%

材料構成比： 36.98%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	2.20%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：据付 L形側溝の種類：L形側溝各種				基礎碎石の有無：基礎碎石なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0053

コンクリート 小型構造物

一般養生

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 41.15%

夜間割増なし

豪雪割増

工種条件と同じ

人力打設

材料構成比： 58.85%

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0024号表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	22.25%	人		普通作業員		
土木一般世話役	9.19%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	7.69%	人		特殊作業員		
生コン18-8-25(20)-BB (W/C=60%以下)	58.85%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

コンクリート 小型構造物

一般養生

機械構成比： 0.00% 勞務構成比：

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設

单価 第0 -0024号表

1 m3 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0055

単価 第0 -0025号表

型枠
一般型枠
機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 均しコンクリート 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	58.78%	人		型わく工		
普通作業員	19.90%	人		普通作業員		
土木一般世話役	6.07%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：均しコンクリート		

単 価 表

頁0-0056

基礎砕石工

再生材（クラッシャーラン 40mm以下）

単価 第0 -0026号表

100

m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.39	人			M×100/D
特殊作業員	0.71	人			M×100/D
普通作業員	1.87	人			M×100/D
クラッシャーラン 40mm以下（再生材）	12.00	m ³			100×厚み（m）×（1+補正係数）
バックホウ運転 クローラ型 山積0.80m ³ 排出ガス対策型3次基準	0.65	日			1×100/D
諸雑費	0.70	%			
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当り ***	1	m ²			

単価 第0-0027号表

单 価 表

頁0-0057

バックホウ運転

クローラ型 山積 0.80m³

排出ガス対策型 3 次基準

单価 第0 -0027号表

1 日 当り

[illegible]

基面整正

施 工 内 訳 表

単価 第0 -0028号表

頁0-0058

機械構成比：0.00% 労務構成比：100.00% 材料構成比：0.00% 市場単価構成比：0.00% 標準単価：1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%	人		普通作業員		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

運搬 ダンプトラック 搬路状況良好
4t車 アスファルト・コンクリート塊

单価 第0 -0029号表

1 m 3 当り

運搬距離 12.5 km

[illegible]

**ダンプトラック運転
4 t車**

頁0-0060

单価 第0 -0030号表

1 時間 当り

中硬岩以上 25%割

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0061

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 4 0 mm

単価 第0 -0031号表

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97% 材料構成比： 83.41% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：						
アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料 ～排2014・超低	1.04%	日		アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		
振動ローラ(搭乗式コンバインド型)賃料 3～4 t 一ヶ月以上	0.21%	日		振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料		
タイヤローラ賃料 ～排3次・超低	0.19%	日		タイヤローラ賃料		
普通作業員	5.11%	人		普通作業員		
運転手（特殊）	3.49%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	3.41%	人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0062

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 4 0 mm

単価 第0 -0031号表

1

m 2 当り

機械構成比： 1.62%

労務構成比： 14.97%

材料構成比： 83.41%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	1.24%	人		土木一般世話役		
⑤再生アスファルト混合物 密粒度(13F)[再生材 混入率50%以下]	76.32%	t		アスファルト混合物 密粒度（2 0）		
アスファルト乳剤 P K－3プライムコート用	6.78%	L		アスファルト乳剤 P K－3 プライムコート用		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	0.28%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0063

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 40 mm

機械構成比： 1.62%

勞務構成比：

14.97%

材料構成比： 83.41%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

m 2 当り

单価 第0 -0031号表

1

m 2

当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0064

上層路盤（車道・路肩部）

粒度調整碎石

機械構成比：

11.57%

労務構成比：

全仕上り厚70mm

37.08%

材料構成比：

51.35%

市場単価構成比：

単価 第0 -0032号表

0.00%

標準単価：

1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014 ∴ ブレード幅3.1m	7.99%	供用日		モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		
ロードローラ [マカダム] 賃料 ～排2014・超低	1.00%	日		ロードローラ [マカダム] 賃料		
タイヤローラ賃料	0.99%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	16.31%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	5.97%	人		普通作業員		
特殊作業員	5.32%	人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0065

上層路盤（車道・路肩部）

粒度調整碎石

機械構成比：

11.57%

労務構成比：

全仕上り厚70mm

37.08%

材料構成比：

51.35%

市場単価構成比：

単価 第0 -0032号表

0.00%

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	4.37%	人		土木一般世話役		
粒調碎石25mm以下	47.84%	m3		再生粒度調整碎石 RM-40		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	3.03%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
材料：粒度調整碎石 施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				全仕上り厚(mm)：70 材料(粒度調整碎石)：粒度調整碎石 M-25		

施 工 内 訳 表

頁0-0066

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 220mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

0.00%

単価 第0 -0033号表

標準単価： 1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス 2014 ∴ ブレード幅 3.1m	4.52%	供用日		モータグレーダ [土工用] 排ガス 2014		
ロードローラ [マカダム] 賃料 ～排2014・超低	0.56%	日		ロードローラ [マカダム] 賃料		
タイヤローラ賃料	0.56%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	9.23%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	3.36%	人		普通作業員		
特殊作業員	3.00%	人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0067

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 2 2 0 mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

0.00%

単価 第0 -0033号表

標準単価：

1

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	2.46%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	70.53%	m 3		クラッシャーラン C - 4 0		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	1.72%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：220 材料：再生クラッシャーラン RC - 4 0				施工区分：2層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0068

不陸整正
補足材料なし

単価 第0 -0034号表

1 m2 当り

機械構成比：21.58%		労務構成比：71.86%		材料構成比：6.56%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 位	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014 ∴ ブレード幅3. 1m		17.28%	供用日			モータグレーダ [土工用] 排ガス2014			
ロードローラ [マカダム] 賃料 ～排2014・超低		2.16%	日			ロードローラ [マカダム] 賃料			
タイヤローラ賃料		2.14%	日			タイヤローラ賃料			
運転手 (特殊)		35.31%	人			運転手 (特殊)			
普通作業員		14.55%	人			普通作業員			
特殊作業員		11.35%	人			特殊作業員			

施 工 内 訳 表

頁0-0069

不陸整正
補足材料なし
機械構成比：

21.58%

労務構成比：

71.86%

材料構成比：

6.56%

市場単価構成比：

単価 第0 -0034号表

0.00%

1
標準単価：

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	10.65%	人		土木一般世話役		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	6.56%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
補足材料の有無：補足材料なし				豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

単 価 表

頁0-0070

区画線設置（機・労のみ）

溶融式（手動）

破線 15 cm

单価 第0 -0035号表

1000

m 当り[illegible]

单 価 表

单価 第0 -0036号表

1000

m

当り

区画線設置 (材料費のみ)

溶解式（手動）

破線 15 cm

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0072

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

12.85%

労務構成比：

障害等なし

81.24%

材料構成比：

5.91%

市場単価構成比：

単価 第0 -0037号表

0.00%

1
標準単価：

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 ～排2014・超低	12.85%	日		バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		
土木一般世話役	29.54%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	27.52%	人		運転手 (特殊)		
普通作業員	24.18%	人		普通作業員		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	5.91%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0073

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比：

12.85%

労務構成比：

障害等なし

81.24%

材料構成比：

5.91%

市場単価構成比：

単価 第0 -0037号表

0.00%

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 騒音振動対策：騒音振動対策不要 積込作業の有無：積込作業あり				障害等の有無：障害等なし 舗装版厚：15cm以下 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0074

舗装版切断
アスファルト舗装版

単価 第0 -0038号表

機械構成比： 15.05% 労務構成比： 58.43% 15cm以下

材料構成比： 26.52%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音：切削深20cm級 B径56cm	10.24%	供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		
特殊作業員	19.96%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	10.88%	人		土木一般世話役		
普通作業員	8.92%	人		普通作業員		
コンクリートカッタ(ブレード) 径45cm	22.39%	枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径18インチ (45cm)		
ガソリン レギュラー	2.81%	L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

頁0-0075

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版
機械構成比：

15.05%

労務構成比：

15cm以下
58.43%

材料構成比：

26.52%

市場単価構成比：

単価 第0 -0038号表

0.00%

1
標準単価：

m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0076

殻運搬

舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下

機械構成比： 44.05% 労務構成比：

機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)

39.87% 材料構成比： 16.08%

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0039号表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] ∴ 10 t 積級	44.05%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	39.87%	人		運転手 (一般)		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	16.08%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：舗装版破碎 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 運搬距離：22.0km以下		

单価 第0 -0040号表

運搬距離 0.4 km

仮置き場へ運搬

1 m3 当り

[illegible]

運搬 ダンプトラック 搬路状況良好
4 t 車 粘性土・砂・砂質土・礫質土

单価 第0 -0041号表

1 m 3 当り

[illegible]

単価 第0 -0042号表

運搬距離 0.3 km

仮置き場へ運搬

1 m3 当り

[illegible]

運搬 ダンプトラック 搬路状況良好
4 t 車 アスファルト・コンクリート塊

頁0-0080

单価 第0 -0043号表

1 m3 当り

運搬距離 12.6 km

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0081

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚230mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

単価 第0 -0044号表

0.00%

1
標準単価：

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス2014 ∴ ブレード幅3.1m	4.52%	供用日		モータグレーダ [土工用] 排ガス2014		
ロードローラ [マカダム] 賃料 ～排2014・超低	0.56%	日		ロードローラ [マカダム] 賃料		
タイヤローラ賃料	0.56%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	9.23%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	3.36%	人		普通作業員		
特殊作業員	3.00%	人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0082

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 2 3 0 mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

0.00%

単価 第0 -0044号表

標準単価：

1

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	2.46%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	70.53%	m 3		クラッシャーラン C - 4 0		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	1.72%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：230 材料：再生クラッシャーラン RC - 4 0				施工区分：2層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0083

土砂等運搬

小規模 DID区間なし 7.5km以下

機械構成比： 26.52% 労務構成比： 61.90%

材料構成比： 11.58%

市場単価構成比： 0.00%

1 m3 当り

単価 第0 -0045号表

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] ∴ 4 t 積級	26.52%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	61.90%	人		運転手 (一般)		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	11.58%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：7.5km以下				積込機種・規格：バックホウC 土質 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0084

床掘り
土砂

単価 第0 -0046号表

機械構成比： 18.73% 労務構成比： 74.16% 材料構成比： 7.11% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次：山積0. 2 8m3	18.73%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次		
運転手（特殊）	40.26%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	33.90%	人		普通作業員		
軽油 （小型ローリー、パトロール給油）	7.11%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0085

床掘り

土砂

機械構成比： 18.73%

勞務構成比： 74.16%

小規模

74.16%

材料構成比： 7.11%

7.11%

市場単価構成比： 0.00%

0.00%

単価 第0 -0046号表

1
標準単価：

m 3 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0086

埋戻し
小規模

単価 第0 -0047号表

1 m3 当り

機械構成比： 8.87% 労務構成比： 87.15%

材料構成比： 3.98% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次∴山積0. 2 8m3	8.27%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回〕 排ガス2次		
タンパ及びランマ〔ランマ〕 ∴質量6 0～8 0 k g	0.60%	供用日		タンパ及びランマ〔ランマ〕		
普通作業員	50.03%	人		普通作業員		
特殊作業員	19.35%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	17.77%	人		運転手（特殊）		
軽油 （小型ローリー、パトロール給油）	3.14%	L		軽油 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

頁0-0087

埋戻し
小規模

単価 第0 -0047号表

機械構成比： 8.87% 労務構成比： 87.15% 材料構成比： 3.98% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー	0.84%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				土質：土砂		

施 工 内 訳 表

頁0-0088

土砂等運搬

小規模 DID区間なし 1.0km以下

機械構成比： 26.52% 労務構成比：

バックホ

61.90%

材料構成比： 11.58%

仮置き場へ運搬

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0048号表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] ∴ 4 t 積級	26.52%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	61.90%	人		運転手 (一般)		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	11.58%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：1.0km以下				積込機種・規格：バックホC 土質 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0089

積込（ルーズ）

土砂

機械構成比： 26.01%

労務構成比：

小規模(標準)

62.89%

材料構成比：

11.10%

市場単価構成比：

単価 第0 -0049号表

0.00%

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型） [標準型] 排ガス2次：山積0. 2 8m3	26.01%	供用日		バックホウ（クローラ型） [標準型] 排ガス2次		
運転手（特殊）	62.89%	人		運転手（特殊）		
軽油 （小型ローリー、パトロール給油）	11.10%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：小規模(標準)		

吸出し防止材設置

施 工 内 訳 表

単価 第0 -0050号表

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 22.12% 材料構成比： 77.88% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	18.80%	人		普通作業員		
土木一般世話役	3.32%	人		土木一般世話役		
吸出防止材 合繊不織布、厚10mm	77.88%	m ²		吸出し防止材 合繊不織布 t = 1 0 mm 9. 8 KN/m		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

頁0-0091

当り

[illegible]

頁0-0092

100

m ²	当り
----------------	----

[illegible]

垂直擁壁・設置工 端部網

单価 第0 -0053号表

m ²	当り
----------------	----

[illegible]

施工内訳表

頁0-0094

胴込・裏込材（碎石）

大型ブロック

機械構成比： 6.75%

労務構成比：

再生クラッシャラン RC-40

56.04% 材料構成比： 37.21%

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0054号表

標準単価： 1

m3 当り

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 ∴山積0.8m3	6.75%	日		バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料		
普通作業員	32.09%	人		普通作業員		
特殊作業員	14.28%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	8.75%	人		運転手（特殊）		
再生クラッシャーラン40mm以下	34.22%	m3		再生クラッシャーラン RC-40		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	2.99%	L		軽油 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

頁0-0095

胴込・裏込材（砕石）

大型ブロック

機械構成比： 6.75%

労務構成比：

再生クラッシュラン RC-40

56.04% 材料構成比： 37.21%

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0054号表

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
ブロックの種類：大型ブロック 胴込・裏込材規格：再生クラッシュラン RC-40				胴込・裏込材の有無：胴込・裏込材あり		

施 工 内 訳 表

コンクリート 小型構造物

一般養生

機械構成比：

3.42%

労務構成比：

夜間割増なし

豪雪割増

工種条件と同じ

材料構成比：

59.44%

バックホウ(クレーン機能付)打設

基礎コンクリート

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

1

m3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 ∴山積0.8m3	3.23%	日		バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料		
普通作業員	10.97%	人		普通作業員		
特殊作業員	9.81%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	7.69%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	6.24%	人		運転手 (特殊)		
生コン18-8-25(20)-BB (W/C=60%以下)	57.74%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		

施 工 内 訳 表

頁0-0097

コンクリート 小型構造物

一般養生

機械構成比： 3.42% 労務構成比： 37.14%

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

材料構成比： 59.44%

バックホ(クレーン機能付)打設 基礎コンクリート

市場単価構成比： 0.00%

1 m3 当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	1.61%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
構造物種別：小型構造物 養生工の種類：一般養生 コンクリート規格：18-8-25(W/C=60%以下) 生コンクリート夜間割増：夜間割増なし				打設工法：バックホ(クレーン機能付)打設 コンクリート種類： 高炉 (BB) 生コンクリート小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

一般養生

機械構成比：

3.50%

労務構成比：

夜間割増なし 豪雪割増

34.96%

材料構成比：

61.54%

工種条件と同じ

市場単価構成比：

単価 第0 -0056号表

バックホウ(クレーン機能付)打設 間詰コンクリート

0.00%

標準単価：

1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 ∴山積0.8m3	3.31%	日		バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料		
特殊作業員	10.07%	人		特殊作業員		
普通作業員	9.38%	人		普通作業員		
土木一般世話役	7.04%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	6.40%	人		運転手 (特殊)		
生コン18-8-40-BB (W/C=60%以下)	59.80%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		

施 工 内 訳 表

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

一般養生

機械構成比： 3.50% 労務構成比： 34.96%

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

材料構成比： 61.54%

単価 第0 -0056号表

バックホ(クレーン機能付)打設 間詰コンクリート

市場単価構成比： 0.00%

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	1.65%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
構造物種別：無筋・鉄筋構造物 養生工の種類：一般養生 コンクリート規格：18-8-40(W/C=60%以下) 生コンクリート夜間割増：夜間割増なし				打設工法：バックホ(クレーン機能付)打設 コンクリート種別： 高炉 (BB) 生コンクリート小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0100

型枠

一般型枠

機械構成比：

0.00%

労務構成比：

鉄筋・無筋構造物

100.00%

材料構成比：

0.00%

市場単価構成比：

単価 第0 -0057号表

0.00%

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.66%	人		型わく工		
普通作業員	25.14%	人		普通作業員		
土木一般世話役	9.51%	人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：鉄筋・無筋構造物		

施 工 内 訳 表

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

一般養生

機械構成比： 0.00%

労務構成比：

夜間割増なし

豪雪割増

工種条件と同じ

人力打設 天端コンクリート

材料構成比： 71.32%

市場単価構成比： 0.00%

単価 第0 -0058号表

1

標準単価：

m3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	12.85%	人		普通作業員		
特殊作業員	7.30%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	6.58%	人		土木一般世話役		
生コン18-8-40-BB (W/C=60%以下)	71.32%	m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

单価 第0 -0058号表

一般養生

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設 天端コンクリート

1
標準単価：

機械構成比： 0.00% 勞務構成比：

28.68% 材料構成比： 71.32%

市場単価構成比： 0.00%

[illegible]

天端ブロック設置工	単価表	単価 第0 -0059号表	頁0-0103
		10	m ² 当り

頁0-0103

单価 第0 -0059号表

10 m² 当り

[illegible]

単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.12	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.32	人			
溶接工	0.32	人			
トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕賃料 (油脂類含む)	0.23	日			
諸雑費	15	%			
*** 合 計 ***	10	m ²			
*** 単位当り ***	1	m ²			

天端ブロックカット加工費	単価	第0 -0061号表	100	枚	当り	頁0-0105
--------------	----	------------	-----	---	----	---------

頁0-0105

单価 第0 -0061号表

100

枚 当り

[illegible]

単価表

頁0-0106

ガードレール支柱鉄筋補強工
GR - C

单価 第0 -0062号表

1 箇所 当り

[illegible]

単 価 表

鉄筋加工・組立

異形SD295A D13

加工・組立、クレーン車不要

単価 第0 -0063号表

1000

kg 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼 SD295A／SD295 D13	1.03	t			所要重量×鉄筋割増
土木一般世話役	0.20	人			加工
鉄筋工	1.10	人			加工
普通作業員	0.70	人			加工
小器材費	2.00	%			
土木一般世話役	0.40	人			組立
鉄筋工	1.80	人			組立
普通作業員	1.50	人			組立
小器材費	3.00	%			
*** 合 計 ***	1,000	kg			
*** 単位当り ***	1	kg			

施 工 内 訳 表

頁0-0108

目地板
30m2未満

単価 第0 -0064号表

瀝青質目地板

1

m2 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 64.40%

材料構成比： 35.60%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	47.36%	人		普通作業員		
土木一般世話役	16.72%	人		土木一般世話役		
目地板材 厚10mm	35.60%	m ²		瀝青繊維質目地板 厚 1 0 mm		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
1工事当り使用量：30m2未満 目地板の規格：t=10mm				目地板の種類：瀝青質目地板		

大型土のう撤去・移設
作業半径 6m以下

頁0-0109

10 袋 当り

[illegible]

頁0-0110

单価 第0 -0066号表

1 日 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0111

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 300mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

単価 第0 -0067号表

0.00%

1
標準単価：

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ [土工用] 排ガス 2014 ∴ ブレード幅 3.1m	4.52%	供用日		モータグレーダ [土工用] 排ガス 2014		
ロードローラ [マカダム] 賃料 ～排2014・超低	0.56%	日		ロードローラ [マカダム] 賃料		
タイヤローラ賃料	0.56%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	9.23%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	3.36%	人		普通作業員		
特殊作業員	3.00%	人		特殊作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0112

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 3 0 0 mm

機械構成比： 6.54%

労務構成比：

2層施工

20.94%

材料構成比：

72.52%

市場単価構成比：

0.00%

単価 第0 -0067号表

標準単価：

1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	2.46%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	70.53%	m 3		クラッシャーラン C - 4 0		
軽油 (小型ローリー、パトロール給油)	1.72%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：300 材料：再生クラッシャーラン RC - 4 0				施工区分：2層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

単 価 表

頁0-0113

ガードレール設置工

G r - C - 2 B C o 建达 涂装品

单価 第0 -0068号表

1 m 当り

[illegible]

单価 第0 -0069号表

運搬距離 14.8 km

1 m3 当り

[illegible]

当初

長峰線 1工区
数量計算書

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
林道土工					
掘削工	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 地山の掘削	CA「切取盛土数量計算表」参照	96.2	m ³
法面整形工	法面整形工	礫質土 BH0.45m3 土砂	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	113.8	m ²
作業残土処理工	ダンプトラック運搬 搬路状況良好	DT 4t 礫質土 DID区間なし 5.9km	「残土処理数量計算表」参照	97.8	m ³
法面保護工					
吹付工	切取法面保護	植生基材吹付工3cm	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	113.8	m ²
排水施設工					
作業土工	床 掘		P「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	19.9	m ³
	埋 戻 し	最大埋戻幅1m未満	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	6.0	m ³
	ダンプトラック運搬 仮置き場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.5km	「残土処理数量計算表」参照	6.7	m ³
	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 ルーズな状態の土砂積込み	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	6.0	m ³

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
	ダンプトラック運搬 仮置き場から現場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.5km	「残土処理数量計算表」参照	6.7	m ³
排水施設工					
側溝工	既設特殊L型側溝 撤去	250B L=600 1本88kg	「展開図参照」	32.3	m
	既設特殊L型側溝 布設替え	250B L=600 1本88kg	〃	30.7	m
	基礎コンクリート	小型構造物 18-8-25BB t=100	「展開図参照」 30.7×0.55×0.10	1.69	m ³
	型 枠	均し型枠 厚さ100	「展開図参照」 30.7×0.10×2	6.14	m ²
	基礎碎石	再生クラッシャーラン40mm以下	「展開図参照」 30.7×0.55	16.9	m ²
	基面整正		「展開図参照」 30.7×0.55	17	m ²
	既設特殊L型側溝 産廃処理運搬	DT 4t DID区間なし 12.5km	(32.3-30.7) ×88.0kg÷2450kg	0.1	m ³
舗装工					
アスファルト舗装工	表層工	1.4m以上3.0以下 厚さ40mm	「舗装工数量計算表」参照	60.89	m ²
	上層路盤工	粒度調整碎石25mm以下 厚さ70mm	「上層路盤工数量計算表」参照	60.89	m ²
	下層路盤工	再生クラッシャーラン40mm以下 厚さ220mm	「下層路盤工数量計算表」参照	60.89	m ²
	不陸整正		「不陸整正数量計算表」参照	60.89	m ²

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
道路付属施設工					
区画線工	区画線工	溶剤式 破線 白・15cm 機・労のみ	別紙「区画線数量計算表」参照	450	m
		溶剤式 破線 白・15cm 材料費のみ	「センター延長」	34	m
構造物撤去工					
構造物取壊し工	既設舗装取壊し	アスファルト舗装版 15cm以下	「舗装撤去数量計算表」参照	16.30	m ²
	舗装切断	アスファルト舗装版 15cm以下	〃	33.8	m
運搬処理工	殻運搬	舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込み	「舗装撤去数量計算表」参照	0.65	m ³
その他	産廃処理	残土	「残土処理数量計算表」参照	97.8	m ³
		二次製品	$(32.3-30.7) \times 88.0\text{kg} \div 1000\text{kg}$	0.1	t
		アスファルト	$0.65 \times 2.35\text{t}$	1.5	t

切取盛土数量計算表

CA:掘削 (機械)

[illegible]

残 土 処 理 数 量 計 算 表

区分	切取	換算率	地山換算	飛散率%	飛散量	土量	盛土	換算率	土量	備考
掘削	96.2	1.0	96.2	10%	9.6	86.6				
盛土										
床堀 (L型側溝)	19.9	1.0	19.9	10%	2.0	17.9				
埋戻し(L型側溝)							6.0	0.90	6.7	
小計	116.1		116.1		11.6	104.5	6.0		6.7	

残土合計 97.8

運搬距離

アスファルト廃材 m³ km

コンクリート廃材	m ³	km
----------	----------------	----

切 取 盛 土 法 面 整 形 ・ 保 護 数 量 計 算 表

[illegible]

施 設 床 堀 埋 戻 し 数 量 計 算 表

L型側溝 P: 床堀

測 点	距 離	堀																	埋 戻 し B				備 考
		補 正 距 離	断面 積 m ²	平均 断面積 m ²	体 積 m ³	土 種 別 体 積													補 正 距 離	断面 積 m ²	平均 断面積 m ²	体 積 m ³	
						砂・砂質土	粘性土	礫交り土	玉石交り土	軟岩（ⅠA）	軟岩（ⅠB）	中硬岩	砂・砂質土	粘性土	礫交り土	玉石交り土	軟岩（ⅠA）	軟岩（ⅠB）					
BC7-10.0			0.2																	0.2			
N014	4.7		0.5	0.35	1.6			10							1.6					0.2	0.20	0.9	
BC7	5.3		0.8	0.65	3.4			10							3.4					0.2	0.20	1.1	
MC7	7.0	5.7	0.9	0.85	4.8			10							4.8				4.8	0.2	0.20	1.0	
EC7	7.0	5.7	0.8	0.85	4.8			10							4.8				4.8	0.2	0.20	1.0	
N015	0.7		0.8	0.80	0.6			10							0.6					0.2	0.20	0.1	
EC7+10.0	9.3		0.2	0.50	4.7			10							4.7					0.2	0.20	1.9	
	</																						

鋪 裝 工 数 量 計 算 表

測点	距離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		1.44	0.97	4.56	
BC7	5.3		2.48	1.96	10.39	
+2.0	2.0	1.7	2.67	2.58	4.39	(5.8/7.0)×2.0
MC7	5.0	4.1	2.65	2.66	10.91	(5.8/7.0)×5.0
+5.0	5.0	4.1	2.70	2.68	10.99	(5.8/7.0)×5.0
EC7	2.0	1.7	2.51	2.61	4.44	(5.8/7.0)×2.0
N015	0.7		2.39	2.45	1.72	
EC7+10.0	9.3		0.50	1.45	13.49	
計	34.0				60.89	

上層路盤工数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		1.44	0.97	4.56	
BC7	5.3		2.48	1.96	10.39	
+2.0	2.0	1.7	2.67	2.58	4.39	$(5.8/7.0) \times 2.0$
MC7	5.0	4.1	2.65	2.66	10.91	$(5.8/7.0) \times 5.0$
+5.0	5.0	4.1	2.70	2.68	10.99	$(5.8/7.0) \times 5.0$
EC7	2.0	1.7	2.51	2.61	4.44	$(5.8/7.0) \times 2.0$
N015	0.7		2.39	2.45	1.72	
EC7+10.0	9.3		0.50	1.45	13.49	
計	34.0				60.89	

下 層 路 盤 工 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		1.44	0.97	4.56	
BC7	5.3		2.48	1.96	10.39	
+2.0	2.0	1.7	2.67	2.58	4.39	(5.8/7.0)×2.0
MC7	5.0	4.1	2.65	2.66	10.91	(5.8/7.0)×5.0
+5.0	5.0	4.1	2.70	2.68	10.99	(5.8/7.0)×5.0
EC7	2.0	1.7	2.51	2.61	4.44	(5.8/7.0)×2.0
N015	0.7		2.39	2.45	1.72	
EC7+10.0	9.3		0.50	1.45	13.49	
計	34.0				60.89	

不陸整正数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		1.44	0.97	4.56	
BC7	5.3		2.48	1.96	10.39	
+2.0	2.0	1.7	2.67	2.58	4.39	$(5.8/7.0) \times 2.0$
MC7	5.0	4.1	2.65	2.66	10.91	$(5.8/7.0) \times 5.0$
+5.0	5.0	4.1	2.70	2.68	10.99	$(5.8/7.0) \times 5.0$
EC7	2.0	1.7	2.51	2.61	4.44	$(5.8/7.0) \times 2.0$
N015	0.7		2.39	2.45	1.72	
EC7+10.0	9.3		0.50	1.45	13.49	
計	34.0				60.89	

舖裝撤去數量計算表

測点	距離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		0.50	0.50	2.35	
BC7	5.3		0.50	0.50	2.65	
+2.0	2.0	1.8	0.50	0.50	0.90	(6.3/7.0)×2.0
MC7	5.0	4.5	0.50	0.50	2.25	(6.3/7.0)×5.0
+5.0	5.0	4.5	0.50	0.50	2.25	(6.3/7.0)×5.0
EC7	2.0	1.8	0.50	0.50	0.90	(6.3/7.0)×2.0
N015	0.7		0.50	0.50	0.35	
EC7+10.0	9.3		0.50	0.50	4.65	
計	34.0				16.30	

鋪裝撤去 (As廢材) 16.30 * 0.04 = 0.65 m³

舗装切断工 展開図より = 33.8 m

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長		重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離			
					内側＝－ 外側＝＋ (d')	$\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)		$\frac{L \times r}{R}$ (L')			
7	15.0	BC7		CA	-5.26						
				P	-2.71						
				B	-4.57						
		MC7	7.0	CA	-4.97	-5.1	9.9	4.6			
							15.0		7.0		
				P	-2.83	-2.8	12.2			5.7	
				B	-4.77	-4.7	10.3				4.8
		EC7	7.0	CA	-4.94	-5.0	10.0	4.7			
							15.0		7.0		
				P	-2.69	-2.8	12.2			5.7	
				B	-4.56	-4.7	10.3				4.8

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
7	15.0	BC7		法面	-6.87						
				舗装	-2.56						
				取壊し	-1.57						
		MC7	7.0	法面	-6.57	-6.7	8.3	3.9			
							15.0		7.0		
				舗装	-2.68	-2.6	12.4			5.8	
				取壊し	-1.60	-1.6	13.4				6.3
		EC7	7.0	法面	-6.39	-6.5	8.5	4.0			
							15.0		7.0		
				舗装	-2.53	-2.6	12.4			5.8	
				取壊し	-1.53	-1.6	13.4				6.3

当初

長峰線 2工区
数量計算書

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
林道土工					
掘削工	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 地山の掘削	CA「切取盛土数量計算表」参照	169.7	m ³
法面整形工	切土法面整形	礫質土 BH0.45m3 土砂	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	145.5	m ²
作業残土処理工	ダンプトラック運搬 搬路状況良好	DT 4t 礫質土 DID区間なし 5.9km	「残土処理数量計算表」参照	166.4	m ³
法面保護工					
吹付工	切取法面保護	植生基材吹付3cm	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	145.5	m ²
排水施設工					
作業土工	床 掘		P「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	24.1	m ³
	埋 戻 し	最大埋戻幅1m未満	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	7.2	m ³
	ダンプトラック運搬 仮置き場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.4km	「残土処理数量計算表」参照	8.0	m ³
	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 ルーズな状態の土砂積込み	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	7.2	m ³

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
	ダンプトラック運搬 仮置き場から現場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.4km	「残土処理数量計算表」参照	8.0	m ³
排水施設工					
側溝工	既設特殊L型側溝 撤去	250B L=600 1本88kg	「展開図参照」	38.5	m
	既設特殊L型側溝 布設替え	250B L=600 1本88kg	〃	37.3	m
	基礎コンクリート	小型構造物 18-8-25BB t=100	「展開図参照」 37.3×0.55×0.10	2.05	m ³
	型 枠	均し型枠 厚さ100	「展開図参照」 37.3×0.10×2	7.46	m ²
	基礎碎石	再生クラッシャーラン40mm以下	「展開図参照」 37.3×0.55	20.5	m ²
	基面整正		「展開図参照」 37.3×0.55	21	m ²
	既設特殊L型側溝 産廃処理運搬	DT 4t DID区間なし 12.5km	(38.5-37.3) ×88.0kg÷2450kg	0.1	m ³
舗装工					
アスファルト舗装工	表層工	1.4m以上3.0m以下 厚さ40mm	「舗装工数量計算表」参照	74.61	m ²
	上層路盤工	粒度調整碎石25mm以下 厚さ70mm	「上層路盤工数量計算表」参照	74.61	m ²
	下層路盤工	再生クラッシャーラン40mm以下 厚さ220mm	「下層路盤工数量計算表」参照	74.61	m ²
	不陸整正		「不陸整正数量計算表」参照	74.61	m ²

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
道路付属施設工					
区画線工	区画線工	溶剤式 破線 白・15cm 材料費のみ	センター延長	41	m
構造物撤去工					
構造物取壊し工	既設舗装取壊し	アスファルト舗装版 15cm以下	「舗装撤去数量計算表」参照	19.30	m ²
	舗装切断	アスファルト舗装版 15cm以下	//	39.8	m
運搬処理工	殻運搬	舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込み	「舗装撤去数量計算表」参照	0.77	m ³
その他	産廃処理	残土	「残土処理数量計算表」参照	166.4	m ³
		二次製品	$(38.5-37.3) \times 88.0\text{kg} \div 1000\text{kg}$	0.1	t
		アスファルト	$0.77 \times 2.35\text{t}$	1.8	t

切取盛土数量計算表

CA:掘削 (機械)

[illegible]

残 土 処 理 数 量 計 算 表

区分	切取	換算率	地山換算	飛散率%	飛散量	土量	盛土	換算率	土量	備考
掘削	169.7	1.0	169.7	10%	17.0	152.7				
盛土										
床堀 (L型側溝)	24.1	1.0	24.1	10%	2.4	21.7				
埋戻し(L型側溝)							7.2	0.90	8.0	
小計	193.8		193.8		19.4	174.4	7.2		8.0	

残土合計 166.4

運搬距離

アスファルト廃材	m ³		km
コンクリート廃材	m ³		km

舖 装 工 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC9-10.0			0.50			
N018	8.4		2.03	1.27	10.67	
BC9	1.6		2.30	2.17	3.47	
+2.0	2.0	1.7	2.64	2.47	4.20	$(8.9/10.5) \times 2.0$
MC9	8.5	7.2	2.57	2.61	18.79	$(8.9/10.5) \times 8.5$
N019	7.9	6.7	2.53	2.55	17.09	
+0.6	0.6	0.5	2.61	2.57	1.29	$(2.2/2.6) \times 0.6$
EC9	2.0	1.7	2.45	2.53	4.30	$(2.2/2.6) \times 2.0$
EC9+10.0	10.0		0.50	1.48	14.80	
計	41.0				74.61	

上層路盤工数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC9-10.0			0.50			
N018	8.4		2.03	1.27	10.67	
BC9	1.6		2.30	2.17	3.47	
+2.0	2.0	1.7	2.64	2.47	4.20	$(8.9/10.5) \times 2.0$
MC9	8.5	7.2	2.57	2.61	18.79	$(8.9/10.5) \times 8.5$
N019	7.9	6.7	2.53	2.55	17.09	
+0.6	0.6	0.5	2.61	2.57	1.29	$(2.2/2.6) \times 0.6$
EC9	2.0	1.7	2.45	2.53	4.30	$(2.2/2.6) \times 2.0$
EC9+10.0	10.0		0.50	1.48	14.80	
計	41.0				74.61	

下 層 路 盤 工 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC9-10.0			0.50			
N018	8.4		2.03	1.27	10.67	
BC9	1.6		2.30	2.17	3.47	
+2.0	2.0	1.7	2.64	2.47	4.20	$(8.9/10.5) \times 2.0$
MC9	8.5	7.2	2.57	2.61	18.79	$(8.9/10.5) \times 8.5$
N019	7.9	6.7	2.53	2.55	17.09	
+0.6	0.6	0.5	2.61	2.57	1.29	$(2.2/2.6) \times 0.6$
EC9	2.0	1.7	2.45	2.53	4.30	$(2.2/2.6) \times 2.0$
EC9+10.0	10.0		0.50	1.48	14.80	
計	41.0				74.61	

不陸整正数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC9-10.0			0.50			
N018	8.4		2.03	1.27	10.67	
BC9	1.6		2.30	2.17	3.47	
+2.0	2.0	1.7	2.64	2.47	4.20	$(8.9/10.5) \times 2.0$
MC9	8.5	7.2	2.57	2.61	18.79	$(8.9/10.5) \times 8.5$
N019	7.9	6.7	2.53	2.55	17.09	
+0.6	0.6	0.5	2.61	2.57	1.29	$(2.2/2.6) \times 0.6$
EC9	2.0	1.7	2.45	2.53	4.30	$(2.2/2.6) \times 2.0$
EC9+10.0	10.0		0.50	1.48	14.80	
計	41.0				74.61	

舖裝撤去數量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC9-10.0			0.50			
N018	8.4		0.50	0.50	4.20	
BC9	1.6		0.50	0.50	0.80	
+2.0	2.0	1.8	0.50	0.50	0.90	(9.3/10.5) × 2.0
MC9	8.5	7.5	0.50	0.50	3.75	(9.3/10.5) × 8.5
N019	7.9	7.0	0.50	0.50	3.50	
+0.6	0.6	0.5	0.50	0.50	0.25	(2.3/2.6) × 0.6
EC9	2.0	1.8	0.50	0.50	0.90	(2.3/2.6) × 2.0
EC9+10.0	10.0		0.50	0.50	5.00	
計	41.0				19.30	

鋪裝撤去 (As廢材) 19.30 * 0.04 = 0.77 m³

舗装切断工 展開図より = 39.8 m

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長		重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離			
					内側＝－ 外側＝＋ (d')	$\frac{d' \cdot 1 + d' \cdot 2}{2}$ (d)		$\frac{L \times r}{R}$ (L')			
9	25.0	BC9		CA	-5.67						
				P	-3.84						
				B	-5.61						
		MC9	10.5	CA	-6.67	-6.2	18.8	7.9			
							25.0		10.5		
				P	-4.07	-4.0	21.0			8.8	
				B	-5.97	-5.8	19.2				8.1
		NO19	7.9	CA	-6.36	-6.5	18.5	5.8			
							25.0		7.9		
				P	-4.09	-4.1	20.9			6.6	
				B	-5.97	-6.0	19.0				6.0
9	25.0	NO19		CA	-6.36						
				P	-4.09						
				B	-5.97						
		EC9	2.6	CA	-5.98	-6.2	18.8	2.0			
							25.0		2.6		
				P	-3.68	-3.9	21.1			2.2	
				B	-5.52	-5.7	19.3				2.0

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
9	25.0	BC9		法面	-7.41						
				舗装	-3.69						
				取壊し	-2.79						
		MC9	10.5	法面	-8.49	-8.0	17.0	7.1			
							25.0		10.5		
				舗装	-3.92	-3.8	21.2			8.9	
				取壊し	-2.88	-2.8	22.2				9.3
		NO19	7.9	法面	-8.24	-8.4	16.6	5.2			
							25.0		7.9		
				舗装	-3.94	-3.9	21.1			6.7	
				取壊し	-2.92	-2.9	22.1				7.0
9	25.0	NO19		法面	-8.24						
				舗装	-3.94						
				取壊し	-2.92						
		EC9	2.6	法面	-7.60	-7.9	17.1	1.8			
							25.0		2.6		
				舗装	-3.53	-3.7	21.3			2.2	
				取壊し	-2.55	-2.7	22.3				2.3

当初

長峰線 3工区
数量計算書

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
林道土工					
掘削工	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 地山の掘削	CA「切取盛土数量計算表」参照	155.8	m ³
法面整形工	切取法面整形	礫質土 BH0.45m3 土砂	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	235.5	m ²
作業残土処理工	ダンプトラック運搬 搬路状況良好	DT 4t 礫質土 DID区間なし 6.0km	「残土処理数量計算表」参照	171.6	m ³
法面保護工					
吹付工	切取法面保護	植生基材吹付3cm	「切取盛土法面整形・保護数量計算表」参照	235.5	m ²
排水施設工					
作業土工	床 掘		P「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	47.0	m ³
	埋 戻 し	最大埋戻幅1m未満	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	9.8	m ³
	ダンプトラック運搬 仮置き場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.3km	「残土処理数量計算表」参照	10.9	m ³
	土砂 粘性土・礫質土	BH0.45m3 土砂 ルーズな状態の土砂積込み	B「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	9.8	m ³

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
	ダンプトラック運搬 仮置き場から現場へ運搬	DT 4t 礫質土 DID区間なし 0.3km	「残土処理数量計算表」参照	10.9	m ³
排水施設工					
側溝工	既設特殊L型側溝 撤去	250B L=600 1本88kg	「展開図参照」9.7+43.4	53.1	m
	既設特殊L型側溝 布設替え	250B L=600 1本88kg	「展開図参照」10.1+40.7	50.8	m
	基礎コンクリート	小型構造物 18-8-25BB t=100	「展開図参照」50.8×0.55×0.10	2.79	m ³
	型 枠	均し型枠 厚さ100	「展開図参照」50.8×0.10×2	10.16	m ²
	基礎砕石	再生クラッシャーラン40mm以下	「展開図参照」50.8×0.55	27.9	m ²
	基礎整正		「展開図参照」50.8×0.55	28	m ²
	既設特殊L型側溝 産廃処理運搬	DT 4t DID区間なし 12.6km	(53.1-50.8) × 88.0kg ÷ 2450kg	0.1	m ³
舗装工					
アスファルト舗装工	表層工	1.4m以上3.0m以下 厚さ40mm	「舗装工数量計算表」参照	146.52	m ²
	上層路盤工	粒度調整砕石25mm以下 厚さ70mm	「上層路盤工数量計算表」参照	146.52	m ²
	下層路盤工	再生クラッシャーラン40mm以下 厚さ230mm	「下層路盤工数量計算表」参照	146.52	m ²
	不陸整正		「不陸整正数量計算表」参照	146.52	m ²

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
道路付属施設工					
区画線工	区画線工	溶剤式 破線 白・15cm 材料費のみ	センター延長	80	m
構造物撤去工					
構造物取壊し工	既設舗装取壊し	アスファルト舗装版 15cm以下	「舗装撤去数量計算表」参照	38.35	m ²
	舗装切断	アスファルト舗装版 15cm以下	//	77.9	m
運搬処理工	殻運搬	舗装版破碎 DID区間なし 22.0km以下 機械積込み	「舗装撤去数量計算表」参照	1.53	m ³
その他	産廃処理	残土	「残土処理数量計算表」参照	171.6	m ³
		二次製品	$(53.1-50.8) \times 88.0\text{kg} \div 1000\text{kg}$	0.2	t
		アスファルト	$1.53 \times 2.35\text{t}$	3.6	t

切 取 盛 土 数 量 計 算 表

CA:掘削（機械）

測 点	距 離	切 取 CA																	盛 土 BA				備 考
		補 正 距 離	断面 積 m ²	平 均 断面 積 m ²	体 積 m ³	混 合 歩 合 土 種 別 体 積												補 正 距 離	断面 積 m ²	平 均 断面 積 m ²	体 積 m ³		
						砂・ 砂質土	粘 性 土	礫 交 り 土	玉石 交 り 土	軟 岩 （ I A ）	軟 岩 （ I B ）	中 硬 岩	砂・ 砂質土	粘 性 土	礫 交 り 土	玉石 交 り 土	軟 岩 （ I A ）					軟 岩 （ I B ）	
BC10-10.0			1.3					10															
N020	3.1		3.4	2.35	7.3			10							7.3						0.00	0.0	
BC10	6.9		3.1	3.25	22.4			10							22.4						0.00	0.0	
MC10	10.9	14.2	0.0	1.55	22.0			10							22.0						0.00	0.0	
N021	2.2	2.9	0.4	0.20	0.6			10							0.6						0.00	0.0	
EC10	8.7	11.4	0.8	0.60	6.8			10							6.8						0.00	0.0	
BC11-10.0	6.1		1.8	1.30	7.9			10							7.9						0.00	0.0	
EC10+10.0	3.9		3.7	2.75	10.7			10							10.7						0.00	0.0	
N022	1.3		4.6	4.15	5.4			10							5.4						0.00	0.0	
BC11	4.9		5.6	5.10	25.0			10							25.0								
MC11	10.9	4.9	1.9	3.75	18.4			10							18.4								
N023	4.2	2.0	2.2	2.05	4.1			10							4.1								
EC11	6.7	3.3	2.8	2.50	8.3			10							8.3								
BC12	6.1		1.6	2.20	13.4			10							13.4								
EC11+10.0	3.9	4.4	0.0	0.80	3.5			10							3.5								
計	79.8				155.8										155.8								

残 土 処 理 数 量 計 算 表

区分	切取	換算率	地山換算	飛散率%	飛散量	土量	盛土	換算率	土量	備考
掘削	155.8	1.0	155.8	10%	15.6	140.2				
盛土										
床堀 (L型側溝)	47.0	1.0	47.0	10%	4.7	42.3				
埋戻し(L型側溝)							9.8	0.90	10.9	
小計	202.8		202.8		20.3	182.5	9.8		10.9	

残土合計 171.6

運搬距離

アスファルト廃材	m ³		km
コンクリート廃材	m ³		km

舗装工数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC10-10.0			0.50			
N020	3.1		0.97	0.74	2.29	
BC10	6.9		2.04	1.51	10.42	
+2.0	2.0	2.4	2.38	2.21	5.30	$(12.9/10.9) \times 2.0$
MC10	8.9	10.5	2.00	2.19	23.00	$(12.9/10.9) \times 8.9$
N021	2.2	2.6	2.00	2.00	5.20	
+6.7	6.7	7.9	2.18	2.09	16.51	$(10.3/8.7) \times 6.7$
+0.5	0.5	0.6	2.16	2.17	1.30	$(10.3/8.7) \times 0.5$
EC10	1.5	1.8	2.21	2.19	3.94	$(10.3/8.7) \times 1.5$
BC11-10.0	6.1		1.19	1.70	10.37	
EC10+10.0	3.9		1.31	1.25	4.88	
N022	1.3		1.57	1.44	1.87	
BC11	4.9		2.60	2.09	10.24	
+2.0	2.0	1.3	2.85	2.73	3.55	$(6.9/10.9) \times 2.0$
MC11	8.9	5.6	2.49	2.67	14.95	$(6.9/10.9) \times 8.9$
N023	4.2	2.6	2.55	2.52	6.55	
+4.7	4.7	3.0	2.75	2.65	7.95	$(4.3/6.7) \times 4.7$
EC11	2.0	1.3	2.39	2.57	3.34	$(4.3/6.7) \times 2.0$
BC12	6.1		1.26	1.83	11.16	
EC11+10.0	3.9	4.2	0.50	0.88	3.70	
計	79.8				146.52	

上層路盤工数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC10-10.0			0.50			
N020	3.1		0.97	0.74	2.29	
BC10	6.9		2.04	1.51	10.42	
+2.0	2.0	2.4	2.38	2.21	5.30	$(12.9/10.9) \times 2.0$
MC10	8.9	10.5	2.00	2.19	23.00	$(12.9/10.9) \times 8.9$
N021	2.2	2.6	2.00	2.00	5.20	
+6.7	6.7	7.9	2.18	2.09	16.51	$(10.3/8.7) \times 6.7$
+0.5	0.5	0.6	2.16	2.17	1.30	$(10.3/8.7) \times 0.5$
EC10	1.5	1.8	2.21	2.19	3.94	$(10.3/8.7) \times 1.5$
BC11-10.0	6.1		1.19	1.70	10.37	
EC10+10.0	3.9		1.31	1.25	4.88	
N022	1.3		1.57	1.44	1.87	
BC11	4.9		2.60	2.09	10.24	
+2.0	2.0	1.3	2.85	2.73	3.55	$(6.9/10.9) \times 2.0$
MC11	8.9	5.6	2.49	2.67	14.95	$(6.9/10.9) \times 8.9$
N023	4.2	2.6	2.55	2.52	6.55	
+4.7	4.7	3.0	2.75	2.65	7.95	$(4.3/6.7) \times 4.7$
EC11	2.0	1.3	2.39	2.57	3.34	$(4.3/6.7) \times 2.0$
BC12	6.1		1.26	1.83	11.16	
EC11+10.0	3.9	4.2	0.50	0.88	3.70	
計	79.8				146.52	

下 層 路 盤 工 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC10-10.0			0.50			
N020	3.1		0.97	0.74	2.29	
BC10	6.9		2.04	1.51	10.42	
+2.0	2.0	2.4	2.38	2.21	5.30	$(12.9/10.9) \times 2.0$
MC10	8.9	10.5	2.00	2.19	23.00	$(12.9/10.9) \times 8.9$
N021	2.2	2.6	2.00	2.00	5.20	
+6.7	6.7	7.9	2.18	2.09	16.51	$(10.3/8.7) \times 6.7$
+0.5	0.5	0.6	2.16	2.17	1.30	$(10.3/8.7) \times 0.5$
EC10	1.5	1.8	2.21	2.19	3.94	$(10.3/8.7) \times 1.5$
BC11-10.0	6.1		1.19	1.70	10.37	
EC10+10.0	3.9		1.31	1.25	4.88	
N022	1.3		1.57	1.44	1.87	
BC11	4.9		2.60	2.09	10.24	
+2.0	2.0	1.3	2.85	2.73	3.55	$(6.9/10.9) \times 2.0$
MC11	8.9	5.6	2.49	2.67	14.95	$(6.9/10.9) \times 8.9$
N023	4.2	2.6	2.55	2.52	6.55	
+4.7	4.7	3.0	2.75	2.65	7.95	$(4.3/6.7) \times 4.7$
EC11	2.0	1.3	2.39	2.57	3.34	$(4.3/6.7) \times 2.0$
BC12	6.1		1.26	1.83	11.16	
EC11+10.0	3.9	4.2	0.50	0.88	3.70	
計	79.8				146.52	

不 陸 整 正 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC10-10.0			0.50			
N020	3.1		0.97	0.74	2.29	
BC10	6.9		2.04	1.51	10.42	
+2.0	2.0	2.4	2.38	2.21	5.30	$(12.9/10.9) \times 2.0$
MC10	8.9	10.5	2.00	2.19	23.00	$(12.9/10.9) \times 8.9$
N021	2.2	2.6	2.00	2.00	5.20	
+6.7	6.7	7.9	2.18	2.09	16.51	$(10.3/8.7) \times 6.7$
+0.5	0.5	0.6	2.16	2.17	1.30	$(10.3/8.7) \times 0.5$
EC10	1.5	1.8	2.21	2.19	3.94	$(10.3/8.7) \times 1.5$
BC11-10.0	6.1		1.19	1.70	10.37	
EC10+10.0	3.9		1.31	1.25	4.88	
N022	1.3		1.57	1.44	1.87	
BC11	4.9		2.60	2.09	10.24	
+2.0	2.0	1.3	2.85	2.73	3.55	$(6.9/10.9) \times 2.0$
MC11	8.9	5.6	2.49	2.67	14.95	$(6.9/10.9) \times 8.9$
N023	4.2	2.6	2.55	2.52	6.55	
+4.7	4.7	3.0	2.75	2.65	7.95	$(4.3/6.7) \times 4.7$
EC11	2.0	1.3	2.39	2.57	3.34	$(4.3/6.7) \times 2.0$
BC12	6.1		1.26	1.83	11.16	
EC11+10.0	3.9	4.2	0.50	0.88	3.70	
計	79.8				146.52	

舗装撤去数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC10-10.0			0.50			
N020	3.1		0.50	0.50	1.55	
BC10	6.9		0.50	0.50	3.45	
+2.0	2.0	2.3	0.50	0.50	1.15	(12.4/10.9)×2.0
MC10	8.9	10.1	0.50	0.50	5.05	(12.4/10.9)×8.9
N021	2.2	2.5	0.50	0.50	1.25	
+6.7	6.7	7.6	0.50	0.50	3.80	(9.9/8.7)×6.7
+0.5	0.5	0.6	0.50	0.50	0.30	(9.9/8.7)×0.5
EC10	1.5	1.7	0.50	0.50	0.85	(9.9/8.7)×1.5
BC11-10.0	6.1		0.50	0.50	3.05	
EC10+10.0	3.9		0.50	0.50	1.95	
N022	1.3		0.50	0.50	0.65	
BC11	4.9		0.50	0.50	2.45	
+2.0	2.0	1.4	0.50	0.50	0.70	(7.8/10.9)×2.0
MC11	8.9	6.4	0.50	0.50	3.20	(7.8/10.9)×8.9
N023	4.2	2.9	0.50	0.50	1.45	
+4.7	4.7	3.3	0.50	0.50	1.65	(4.7/6.7)×4.7
EC11	2.0	1.4	0.50	0.50	0.70	(4.7/6.7)×2.0
BC12	6.1		0.50	0.50	3.05	
EC11+10.0	3.9	4.2	0.50	0.50	2.10	
計	79.8				38.35	

舗装撤去（As廃材） 38.35 * 0.04 = 1.53 m³

舗装切断工 展開図より = 77.9 m

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d' \cdot 1 + d' \cdot 2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
10	15.0	BC10		CA	4.50						
				P	2.58						
				B							
		MC10	10.9	CA	4.50	4.5	19.5	14.2			
							15.0		10.9		
				P	3.00	2.8	17.8			12.9	
				B			15.0				10.9
		NO21	2.2	CA	5.50	5.0	20.0	2.9			
							15.0		2.2		
				P	3.02	3.0	18.0			2.6	
				B			15.0				2.2
10	15.0	NO21		CA	5.50						
				P	3.02						
				B	4.53						
		EC10	8.7	CA	3.99	4.7	19.7	11.4			
							15.0		8.7		
				P	2.80	2.9	17.9			10.4	
				B	4.53	4.5	19.5				11.3

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d' \cdot 1 + d' \cdot 2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
11	13.0	BC11		CA	-7.52						
				P	-4.73						
				B	-6.64						
		MC11	10.9	CA	-6.84	-7.2	5.8	4.9			
							13.0		10.9		
				P	-5.11	-4.9	8.1			6.8	
				B	-6.97	-6.8	6.2				5.2
		NO23	4.2	CA	-6.89	-6.9	6.1	2.0			
							13.0		4.2		
				P	-5.08	-5.1	7.9			2.6	
				B	-6.97	-7.0	6.0				1.9
11	13.0	NO23		CA	-6.89						
				P	-5.08						
				B	-6.97						
		EC11	6.7	CA	-6.38	-6.6	6.4	3.3			
							13.0		6.7		
				P	-4.60	-4.8	8.2			4.2	
				B	-6.52	-6.7	6.3				3.2

曲線中の距離修正表

[illegible]

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
11	13.0	BC11		法面	-9.00						
				舗装	-4.57						
				取壊し	-3.52						
		MC11	10.9	法面	-8.36	-8.7	4.3	3.6			
							13.0		10.9		
				舗装	-4.95	-4.8	8.2			6.9	
				取壊し	-3.96	-3.7	9.3				7.8
		NO23	4.2	法面	-8.33	-8.3	4.7	1.5			
							13.0		4.2		
				舗装	-4.93	-4.9	8.1			2.6	
				取壊し	-3.91	-3.9	9.1				2.9
11	13.0	NO23		法面	-8.33						
				舗装	-4.93						
				取壊し	-3.91						
		EC11	6.7	法面	-7.85	-8.1	4.9	2.5			
							13.0		6.7		
				舗装	-4.56	-4.7	8.3			4.3	
				取壊し	-3.61	-3.8	9.2				4.7

曲線中の距離修正表

[illegible]

当初

長峰線 4工区
数量計算書

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
林道土工					
作業残土処理工	土砂等運搬	小規模土工 DID区間なし 7.5km以下	「残土処理数量計算表」参照	25.5	m ³
擁壁工					
作業土工	床 掘	土砂 小規模土工	C2・C3「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	30.4	m ³
	埋 戻 し	土砂 小規模土工	B1「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	12.5	m ³
	埋 戻 し(砕石)	土砂 小規模土工	「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	3.4	m ³
	埋戻し材料	再生クラッシャーラン40mm以下	「施設床掘埋戻し数量計算表」参照 3.4×1.2	4.1	m ³
	土砂等運搬 仮置き場へ運搬	小規模土工 DID区間なし 1.0km以下	「残土処理数量計算表」参照	13.9	m ³
	積込ルーズ 土砂	小規模(標準) BH0.28m3 土砂	B1「施設床掘埋戻し数量計算表」参照	12.5	m ³
	土砂等運搬 仮置き場から現場へ運搬	小規模土工 DID区間なし 1.0km以下	「残土処理数量計算表」参照	13.9	m ³
プレキャスト擁壁	標準ブロック	H500×L1000×B370	「垂直擁壁数量計算書」参照	13	個
	L型金網 100型	H500×L1000×B650 0.5m ² /個	〃	6	個
	L型金網 150型	H500×L1000×B1150 0.5m ² /個	〃	7	個
	根石ブロック110型	H500×L1000×B1100	〃	6	個

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
	端部金網 50型	H500×B500 0.25㎡/枚	「垂直擁壁数量計算書」参照	1	枚
	端部金網 100型	H500×B900 0.45㎡/枚	〃	2	枚
	端部金網 150型	H500×B1400 0.70㎡/枚	〃	3	枚
	中詰材保護シート	W600×t=0.5mm	〃	25.0	m
	吸出防止材	合不織布 厚10mm	〃	6.0	㎡
	垂直擁壁・設置工 標準ブロック・L型金網		「垂直擁壁数量計算書」参照 13個×0.5㎡	6.5	㎡
	垂直擁壁・設置工 根石ブロック		「垂直擁壁数量計算書」参照 6個×0.5㎡	3.0	㎡
	垂直擁壁・設置工 端部網		「垂直擁壁数量計算書」参照 0.5×0.5×1枚+0.5×0.9×2枚+0.5×1.4×3枚	3.3	㎡
	裏込砕石	再生クラッシャーラン40mm以下	「垂直擁壁数量計算書」参照 7.08 (L型金網) +1.59 (根石ブロック)	8.67	㎡
	基礎コンクリート 厚さ10cm	18-8-25BB 小型構造物	「垂直擁壁数量計算書」参照	0.78	㎡
	型 枠	一般型枠 均し型枠	〃	1.20	㎡
	基礎砕石 厚さ10cm	7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャーラン40mm以下	〃	7.8	㎡
	間詰コンクリート	18-8-40BB 無筋構造物	「垂直擁壁数量計算書」参照	0.24	㎡
	型 枠	一般型枠 無筋構造物	〃	1.03	㎡
	天端コンクリート	18-8-40BB 無筋構造物	「垂直擁壁数量計算書」参照 3.89-(6.39×0.07) (残置型枠 厚さ7cm控除)	3.44	㎡
	型 枠 (前面)	残置型枠	「垂直擁壁数量計算書」参照	6.39	㎡

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	計 算 式	数 量	単位
	型 枠（背面）	一般型枠 無筋構造物	「垂直擁壁数量計算書」参照	7.14	m ²
	ガードレール 支柱鉄筋補強工	GR-C		3.0	箇所
	目地材	30m ² 未満 瀝青質目地材	「垂直擁壁数量計算書」参照	0.5	m ²
	大型土のう撤去	作業半径5m以下	「横断図」参照	12.0	袋
舗装工					
アスファルト舗装工	表層工	1.4m以上3.0以下 厚さ40mm	「舗装工数量計算表」参照	17.86	m ²
	上層路盤工	粒度調整碎石25mm以下 厚さ70mm	「上層路盤工数量計算表」参照	17.71	m ²
	下層路盤工	再生クラッシャーラン40mm以下 厚さ300mm	「下層路盤工数量計算表」参照	17.01	m ²
道路付属施設工					
防護柵工	ガードレール設置工	Gr-C-2B		7.0	m

数量総括表

[illegible]

残 土 処 理 数 量 計 算 表

区分	切取	換算率	地山換算	飛散率%	飛散量	土量	盛土	換算率	土量	備考
掘削										
盛土										
床堀	30.4	1.0	30.4	10%	3.0	27.4				
埋戻し							12.5	0.90	13.9	
大型どのう	12.0	1.0	12.0	0%	0.0	12.0				
小計	42.4		42.4		3.0	39.4	12.5		13.9	

残土合計 25.5

運搬距離

アスファルト廃材	m ³		km
コンクリート廃材	m ³		km

施 設 床 堀 埋 戻 し 数 量 計 算 表

[illegible]

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 コンクリートブロック個数〕

割付図面より算出

標準ブロック	H500×L1000×B370	13	個(m)(0.5m2)
水位ブロック(T35)	H500×L1000×B370	0	個(m)(0.5m2)
根石ブロック100型	H500×L1000×B1000	0	個(m)(0.5m2)
根石ブロック110型	H500×L1000×B1100	6	個(m)(0.5m2)
根石ブロック130型	H500×L1000×B1300	0	個(m)(0.5m2)
根石ブロック180型	H500×L1000×B1800	0	個(m)(0.5m2)
コーナブロック	H500×L1000×B120	0	個(m)(0.5m2)
天端ブロック300型	H300×L1000×B70	0	個(m)(0.5m2)
天端ブロック500型	H500×L1000×B70	0	個(m)(0.5m2)

〔垂直擁壁 L型金網〕

割付図面より算出

標準	100型	H500×L1000×B650	6	個(0.5m2)
	150型	H500×L1000×B1150	7	個(0.5m2)
	200型	H500×L1000×B1650	0	個(0.5m2)
	250型	H500×L1000×B2150	0	個(0.5m2)
	300型	H500×L1000×B2650	0	個(0.5m2)
	350型	H500×L1000×B3150	0	個(0.5m2)
T-35	100型(T35)	H500×L1000×B650	0	個(0.5m2)
	150型(T35)	H500×L1000×B1150	0	個(0.5m2)
	200型(T35)	H500×L1000×B1650	0	個(0.5m2)
	250型(T35)	H500×L1000×B2150	0	個(0.5m2)
	300型(T35)	H500×L1000×B2650	0	個(0.5m2)
	350型(T35)	H500×L1000×B3150	0	個(0.5m2)

〔垂直擁壁 端部金網〕

割付図面より算出

端部金網 50型	H500×B 500	1	枚
端部金網100型	H500×B 900	2	枚
端部金網150型	H500×B1400	3	枚
端部金網200型	H500×B1900	0	枚
端部金網250型	H500×B2400	0	枚
端部金網300型	H500×B2900	0	枚
端部金網350型	H500×B3400	0	枚

〔垂直擁壁 中詰材保護シート〕

金網総延長(L型金網、端部金網)+L型金網の上下サイズ切り替わり箇所の延長

中詰材保護シート 幅600×厚さ0.5mm 25.0 m

〔垂直擁壁 吸出防止シート〕

L型金網最上段延長

※吸出防止シートW=3mは1m+2mとして分けて計上幅1000×厚さ10mm 6.0 m 6.0 m2

※吸出防止シートの算出幅は標準断面図参照 幅2000×厚さ10mm 0.0 m 0.0 m2

水位ブロック用

算式=(T35ブロック+根石ブロック)×0.5= 幅 100×厚さ10mm 0.0 m 0.0 m2

合計 6.0 m2

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 中詰材〕

各L型金網規格 設定数値中詰材m3/m2数量より中詰材料算出

100型	0.82 (m3/m2)	算式 = (100型m2数 × 0.82)+(150型m2数 × 1.32)+(200型m2数 × 1.82) +(250型m2数 × 2.32)+(300型m2数 × 2.82)+(350型m2数 × 3.32)	規格	RC40-0	7.08	m3
150型	1.32 (m3/m2)					
200型	1.82 (m3/m2)					
250型	2.32 (m3/m2)					
300型	2.82 (m3/m2)					
350型	3.32 (m3/m3)	算式 = (T35 100型m2数 × 0.63)+(T35 150型m2数 × 1.13)+(T35 200型m2数 × 1.63) +(T35 250型m2数 × 2.13)+(T35 300型m2数 × 2.63)+(T35 350型m2数 × 3.13)	規格	C40-0	0.00	m3
T35 100型	0.63 (m3/m2)					
T35 150型	1.13 (m3/m2)					
T35 200型	1.63 (m3/m2)					
T35 250型	2.13 (m3/m2)					
T35 300型	2.63 (m3/m2)					
T35 350型	3.13 (m3/m3)					

※河川での計画の場合、水位ブロック (T35) の中詰碎石はクラッシャーラン (C40) を使用すること。

〔垂直擁壁 根石ブロック中詰材〕

根石ブロック規格 設定数値中詰材m3/m2数量より中詰材料算出

根石ブロック100型	0.53 (m3/m2)	算式 = (根石100型m2数 × 0.53) +(根石110型m2数 × 0.53) +(根石130型m2数 × 0.53) +(根石180型m2数 × 0.84)=	規格	RC40-0	1.59	m3
根石ブロック110型	0.53 (m3/m2)					
根石ブロック130型	0.53 (m3/m2)					
根石ブロック180型	0.84 (m3/m2)					
根石ブロック100型(水位)	0.53 (m3/m2)	算式 = (根石100型m2数 × 0.53) +(根石110型m2数 × 0.53) +(根石130型m2数 × 0.53) +(根石180型m2数 × 0.84)=	規格	C40-0	0.00	m3
根石ブロック110型(水位)	0.53 (m3/m2)					
根石ブロック130型(水位)	0.53 (m3/m2)					
根石ブロック180型(水位)	0.84 (m3/m2)					

※河川での計画の場合、根石(水位)の中詰碎石はクラッシャーラン (C40) を使用すること。

〔垂直擁壁 裏込碎石〕

※擁壁高さ5.0m以上、または水位・湧水がある場合に施工

	裏込量 (m3/m)	延長 (m)	体積 (m3)	掘削勾配	規格	
裏込 (1)				0.6	RC40-0	
裏込 (2)						
裏込 (3)						
裏込 (4)						
裏込 (5)						
裏込 (6)						
裏込 (7)						
裏込 (8)						
裏込 (9)						
裏込 (10)						
計		0.00	0.00		0.00	m3

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 敷モルタル〕

規格 1:3

算式＝（根石100個数×1.0×厚0.02）+（根石110個数×1.1×厚0.02）
+（根石130個数×1.3×厚0.02）+（根石180個数×1.8×厚0.02）＝

0.13 m3

〔垂直擁壁 基礎コンクリート〕

規格 18-8-40BB

算式＝（根石100個数×1.2×厚0.1）+（根石110個数×1.3×厚0.1）
+（根石130個数×1.5×厚0.1）+（根石180個数×2.0×厚0.1）＝

0.78 m3

〔垂直擁壁 基礎碎石〕

規格 RC40-0

算式＝（根石100個数×1.2）+（根石110個数×1.3）
+（根石130個数×1.5）+（根石180個数×2.0）＝

7.8 m2

〔垂直擁壁 基礎コンクリート型枠面積〕

算式＝（根石100個数+根石110個数+根石130個数+根石180個数）×厚0.1×2＝

1.2 m2

〔垂直擁壁 目地ロープ〕

算式＝（標準ブロック+根石ブロック）×0.5＝

9.5 m

〔垂直擁壁 特殊プレート〕

算式＝（天端ブロック500型+天端ブロック施工列数）×2＝

0 枚

〔垂直擁壁 伸縮目地〕

割付図面数値より算出

天端伸縮目地

NO	h (m)	断面 (m2)
目地(1)	0.852	0.522
目地(2)	0.000	0.000
目地(3)	0.000	0.000
目地(4)	0.000	0.000
目地(5)	0.000	0.000
目地(6)	0.000	0.000
目地(7)	0.000	0.000
目地(8)	0.000	0.000
目地(9)	0.000	0.000
目地(10)	0.000	0.000
目地(11)	0.000	0.000
目地(12)	0.000	0.000
目地(13)	0.000	0.000
目地(14)	0.000	0.000
目地(15)	0.000	0.000
計		0.52

∴伸縮目地(1)+～+伸縮目地(15)＝

0.5 m2

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 天端コンクリート量〕

規格18-8-40BB

割付図面数値より算出

天端コンクリート量

NO	h1 (m)	h2 (m)	h1断面 (m2)	h2断面 (m2)	L (m)	体積 (m3)
天端 (1)	0.779	1.043	0.463	0.689	4.000	2.305
天端 (2)	0.543	0.829	0.291	0.503	4.000	1.589
天端 (3)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (4)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (5)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (6)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (7)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (8)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (9)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (10)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (11)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (12)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (13)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (14)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (15)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (16)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (17)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (18)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (19)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (20)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (21)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (22)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (23)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (24)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (25)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (26)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (27)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (28)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (29)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (30)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計					8.00	3.89

∴天端コン (1)+～+天端コン (30)=3.89m3

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 天端コンクリート型枠〕

割付図面数値より算出

天端コンクリート型枠面積

NO	h1 (m)	h2 (m)	前面 (m2)	背面 (m2)	L (m)	面積 (m2)
天端 (1)	0.779	1.043	3.644	4.074	4.000	7.718
天端 (2)	0.543	0.829	2.744	3.068	4.000	5.812
天端 (3)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (4)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (5)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (6)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (7)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (8)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (9)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (10)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (11)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (12)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (13)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (14)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (15)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (16)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (17)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (18)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (19)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (20)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (21)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (22)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (23)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (24)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (25)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (26)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (27)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (28)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (29)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
天端 (30)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計					8.00	13.53

6.39 7.14

∴天端コン型枠 (1) + ～ + 天端コン型枠 (30) = 13.5 m2

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 間詰コンクリート〕

割付図面数値より算出

	規格	掘削高さ H(m)	幅(根石 幅+0.2m)	箇所数	1箇所あた りの体積 (m3/箇所)	体積 (m3)
間詰Co(1)	18-8-40BB	0.50	1.30	1	0.244	0.24
間詰Co(2)	18-8-40BB					
間詰Co(3)	18-8-40BB					
間詰Co(4)	18-8-40BB					
間詰Co(5)	18-8-40BB					
間詰Co(6)	18-8-40BB					
間詰Co(7)	18-8-40BB					
間詰Co(8)	18-8-40BB					
間詰Co(9)	18-8-40BB					
間詰Co(10)	18-8-40BB					

∴間詰Co (1) + ～ + 間詰Co (10) = 0.24 m3

〔垂直擁壁 間詰コンクリート型枠〕

割付図面数値より算出

	掘削高さ H(m)	幅(根石 幅+0.2m)	箇所数	1箇所あた りの面積 (m2/箇所)	型枠面積 (m2)
間詰Co(1)	0.50	1.30	1	1.03	1.0
間詰Co(2)					
間詰Co(3)					
間詰Co(4)					
間詰Co(5)					
間詰Co(6)					
間詰Co(7)					
間詰Co(8)					
間詰Co(9)					
間詰Co(10)					

∴間詰Co (1) + ～ + 間詰Co (10) = 1.0 m2

【 数 量 計 算 書 】

垂直擁壁

〔垂直擁壁 小口止〕

割付図面数値より算出

小口止工(1)				1箇所当たり
名称	規格	単位	数量	算出式
小口止コンクリート(1)	18-8-40BB	m3		
小口止コンクリート(1)型枠	-	m2		
基礎碎石(t=100)	RC-40	m2		
伸縮目地(*)		m2		---

小口止工(2)				1箇所当たり
名称	規格	単位	数量	算出式
小口止コンクリート(2)	18-8-40BB	m3		
小口止コンクリート(2)型枠	-	m2		
基礎碎石(t=100)	RC-40	m2		
伸縮目地(*)		m2		---

〔垂直擁壁 重力式擁壁〕

割付図面数値より算出

					1式当たり
名称	規格	単位	数量	算出式	
コンクリート	18-8-40BB	m3	0.00		
コンクリート型枠	-	m2	0.00		
基礎碎石(t=100)	RC-40	m2	0.00		
伸縮目地(1)	-	m2	0.00		

舖 装 工 数 量 計 算 表

測点	距離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
+4.9			2.29			
+10.0	5.1		2.29	2.29	11.68	
+12.9	2.9	2.7	2.29	2.29	6.18	
計	8.0				17.86	

上 層 路 盤 工 数 量 計 算 表

測点	距離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
+4.9			2.27			
+10.0	5.1		2.27	2.27	11.58	
+12.9	2.9	2.7	2.27	2.27	6.13	
計	8.0				17.71	

下 層 路 盤 工 数 量 計 算 表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
+4.9			2.18			
+10.0	5.1		2.18	2.18	11.12	
+12.9	2.9	2.7	2.18	2.18	5.89	
計	8.0				17.01	

舖裝撤去數量計算表

測点	距離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
+4.9			0.35			
+10.0	5.1		0.55	0.45	2.30	
+12.9	2.9	2.7	0.55	0.55	1.49	
計	8.0				3.79	

鋪裝撤去 (As廢材)	3.79	*	0.04	=	0.15 m ³
-------------	------	---	------	---	---------------------

舗装切断工 展開図より = 6.4 m

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長		重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離			
					内側＝－ 外側＝＋ (d')	$\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)		$\frac{L \times r}{R}$ (L')			
7	15.0	BC7		CA	-5.26						
				P	-2.71						
				B	-4.57						
		MC7	7.0	CA	-4.97	-5.1	9.9	4.6			
							15.0		7.0		
				P	-2.83	-2.8	12.2			5.7	
				B	-4.77	-4.7	10.3				4.8
		EC7	7.0	CA	-4.94	-5.0	10.0	4.7			
							15.0		7.0		
				P	-2.69	-2.8	12.2			5.7	
				B	-4.56	-4.7	10.3				4.8

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
7	15.0	BC7		法面	-6.87						
				舗装	-2.56						
				取壊し	-1.57						
		MC7	7.0	法面	-6.57	-6.7	8.3	3.9			
							15.0		7.0		
				舗装	-2.68	-2.6	12.4			5.8	
				取壊し	-1.60	-1.6	13.4				6.3
		EC7	7.0	法面	-6.39	-6.5	8.5	4.0			
							15.0		7.0		
				舗装	-2.53	-2.6	12.4			5.8	
				取壊し	-1.53	-1.6	13.4				6.3

不陸整正数量計算表

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BC7-10.0			0.50			
N014	4.7		1.44	0.97	4.56	
BC7	5.3		2.48	1.96	10.39	
+2.0	2.0	2.0	2.65	2.57	5.14	
MC7	5.0	3.8	2.65	2.65	10.07	
+5.0	5.0	3.8	2.65	2.65	10.07	
EC7	2.0	2.0	2.51	2.58	5.16	
N015	0.7		2.39	2.45	1.72	
EC7+10.0	9.3		0.50	1.45	13.49	
計	34.0				60.60	

遮断層数量計算表

BP～IP5 厚さ10cm

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BP						
(+0.9)	0.9				1.54	面積は展開図参照
W			3.00			
BC1	11.5		3.00	3.00	34.50	
+19.0	6.6		3.00	3.00	19.80	
MC1	6.2		3.00	3.00	18.60	
+28.4	3.2		3.00	3.00	9.60	
EC1	9.7		3.00	3.00	29.10	
BC2	14.2		3.00	3.00	42.60	
MC2	7.5		3.00	3.00	22.50	
EC2	7.6		3.00	3.00	22.80	
IP3	17.3		3.00	3.00	51.90	
+90.0	5.3		3.00	3.00	15.90	
IP4	22.3		3.00	3.00	66.90	
+123.3	11.0		3.00	3.00	33.00	
+127.0	3.7		3.00	3.00	11.10	
IP5	3.6		3.00	3.00	10.80	
+146.0	15.4					
(+20.6)	20.6					
+167.8	1.2					
BC6	2.8					
W						
MC6	6.7					
W						
EC6	6.7					
(+3.8)	3.8					
BC7	4.0					
MC7	4.3					
EP=+197.1	1.0					
計	197.1				390.64	

下層路盤工数量計算表

IP5～EP=+197.1 厚さ16cm

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BP						
(+0.9)	0.9					
W						
BC1	11.5					
+19.0	6.6					
MC1	6.2					
+28.4	3.2					
EC1	9.7					
BC2	14.2					
MC2	7.5					
EC2	7.6					
IP3	17.3					
+90.0	5.3					
IP4	22.3					
+123.3	11.0					
+127.0	3.7					
IP5	3.6		3.00			
+146.0	15.4		3.00	3.00	46.20	
+20.6	20.6		3.00	3.00	61.80	
+167.8	1.2		3.08	3.04	3.65	
BC6	2.8		3.25	3.17	8.88	
W			0.00			
MC6	6.7		0.00		19.55	面積は展開図参照
W			3.30			
EC6	6.7		3.00	3.15	21.11	
+3.8	3.8		3.00	3.00	11.40	
BC7	4.0		3.20	3.10	12.40	
MC7	4.3		3.25	3.23	13.89	
EP=+197.1	1.0		3.25	3.25	3.25	
計	197.1				202.13	

凍上抑制層数量計算表

IP5～EP=+197.1 厚さ17cm

測 点	距 離	補正距離	幅	平均幅	面積	備考
BP						
(+0.9)	0.9					
W						
BC1	11.5					
+19.0	6.6					
MC1	6.2					
+28.4	3.2					
EC1	9.7					
BC2	14.2					
MC2	7.5					
EC2	7.6					
IP3	17.3					
+90.0	5.3					
IP4	22.3					
+123.3	11.0					
+127.0	3.7					
IP5	3.6		3.00			
+146.0	15.4		3.00	3.00	46.20	
(+20.6)	20.6		3.00	3.00	61.80	
+167.8	1.2		3.08	3.04	3.65	
BC6	2.8		3.25	3.17	8.88	
W			0.00			
MC6	6.7		0.00		19.55	面積は展開図参照
W			3.30			
EC6	6.7		3.00	3.15	21.11	
(+3.8)	3.8		3.00	3.00	11.40	
BC7	4.0		3.20	3.10	12.40	
MC7	4.3		3.25	3.23	13.89	
EP=+197.1	1.0		3.25	3.25	3.25	
計	197.1				202.13	

既設舗装取壊し数量計算表

数量計算表			数量計算表		
区分	計算式		区分	計算式	
BC2～MC2	既設舗装破損部分 ① $(0.00+0.43) \div 2 \times 7.5$	1.61			
MC2～EC2	$(0.43+0.00) \div 2 \times 7.6$	1.63			
小 計		3.24			
EC2～IP3	既設舗装破損部分 ② $(0.00+0.80) \div 2 \times 17.3$	6.92			
IP3～+90.0	$(0.80+0.60) \div 2 \times 5.3$	3.71			
+90.0～IP4	$(0.60+0.00) \div 2 \times 22.3$	6.69			
小 計		17.32			
合 計		20.56			

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

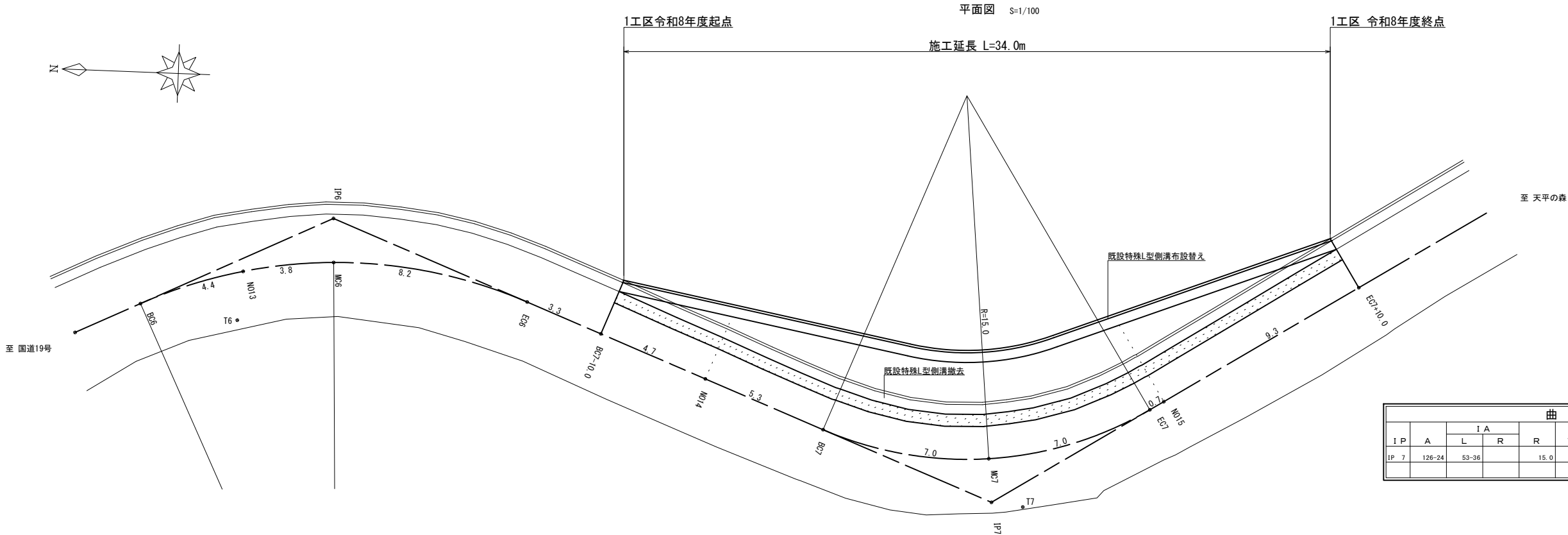
IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
2	80.0	BC2		CA							
				BA	2.29						
				P	-1.93						
				B	-2.14						
		MC2	7.5	CA			80.0	7.5			
				BA	2.29	2.3	82.3		7.7		
				P	-1.94	-1.9	78.1			7.3	
				B	-2.13	-2.1	77.9				7.3
		EC2	7.6	CA			80.0	7.6			
				BA	2.31	2.3	82.3		7.8		
				P	-1.92	-1.9	78.1			7.4	
				B	-2.13	-2.1	77.9				7.4
6	23.0	BC6		CA	0.23						
				BA	1.73						
				P	-2.19						
				B	-2.38						
		MC6	6.7	CA	0.23	0.2	23.2	6.8			
				BA	1.73	1.7	24.7		7.2		
				P	-2.22	-2.2	20.8			6.1	
				B	-2.43	-2.4	20.6				6.0
		EC6	6.7	CA	0.05	0.1	23.1	6.7			
				BA	1.88	1.8	24.8		7.2		
				P	-1.95	-2.1	20.9			6.1	
				B	-2.13	-2.3	20.7				6.0

曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長		重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離			
	(R)				内側＝－ 外側＝＋ (d')	$\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)		$\frac{L \times r}{R}$ (L')			
7	25.0	BC7		CA	-0.25						
				B							
				P	1.94						
				B	2.13						
		MC7	4.3	CA	-0.34	-0.3	24.7	4.2			
				B			25.0		4.3		
				P	1.93	1.9	26.9			4.6	
				B	2.13	2.1	27.1				4.7
		EP	1.0	CA	-0.26	-0.3	24.7	1.0			
				B			25.0		1.0		
				P	1.93	1.9	26.9			1.1	
				B	2.13	2.1	27.1				1.1

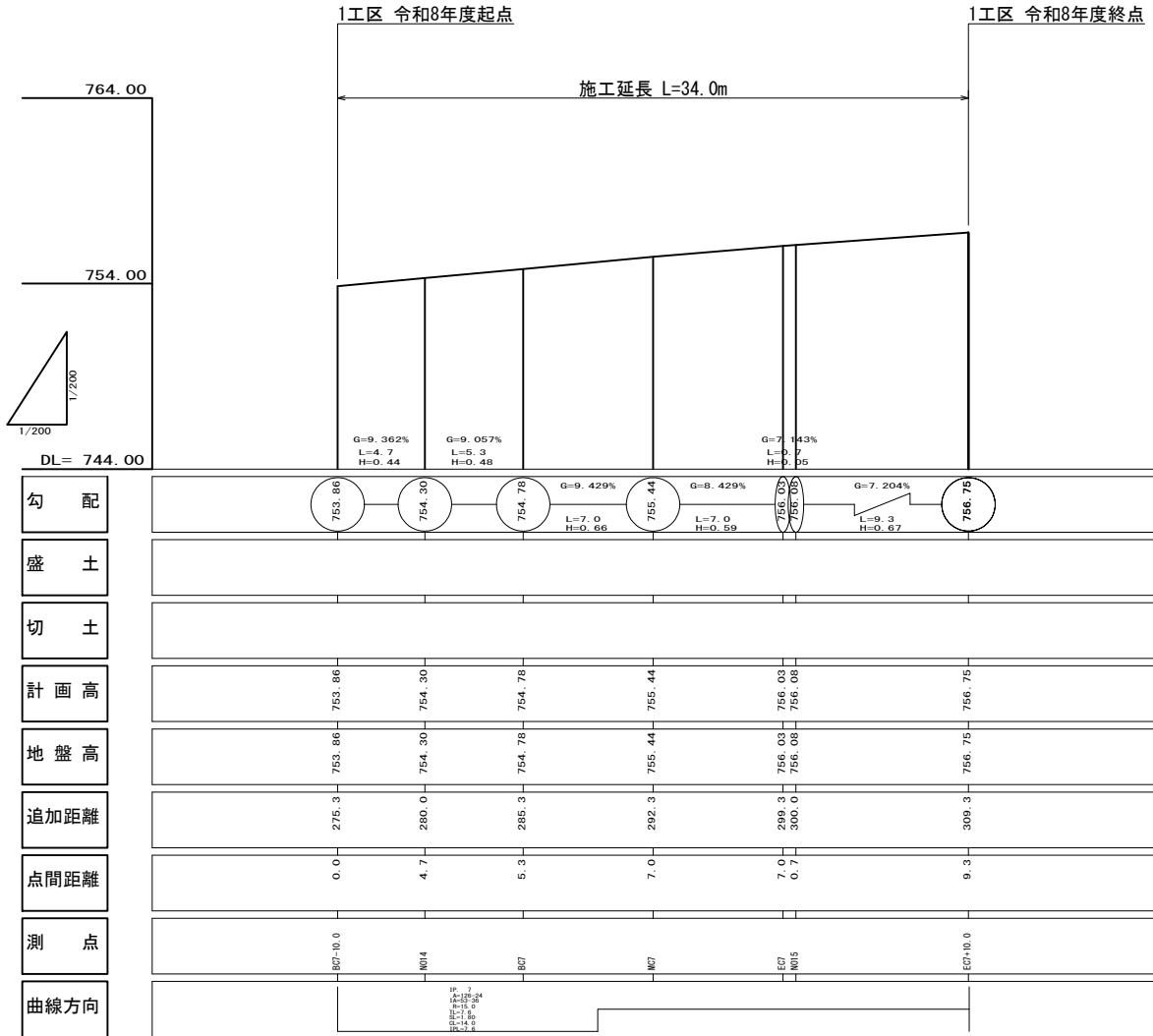
曲 線 中 の 距 離 修 正 表

IPNO	センター 半 径 (R)	測点 (m)	センター 距 離 (L)	区 分	偏 倚 長 内側＝－ 外側＝＋ (d')	平均偏倚長 $\frac{d'1+d'2}{2}$ (d)	重 心 の 平均半径 (r)=R±d'	平 均 距 離 $\frac{L \times r}{R}$ (L')			
2	80.0	BC2		SL	1.75						
		MC2	7.5	SL	2.30	2.0	82.0	7.7			
		EC2	7.6	SL	2.25	2.3	82.3	7.8			

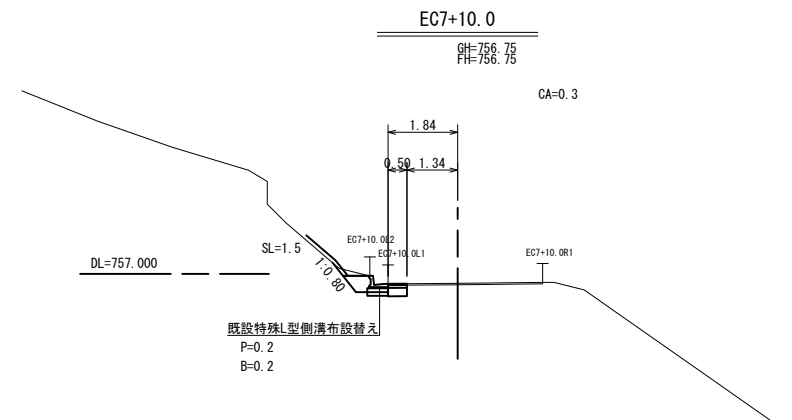
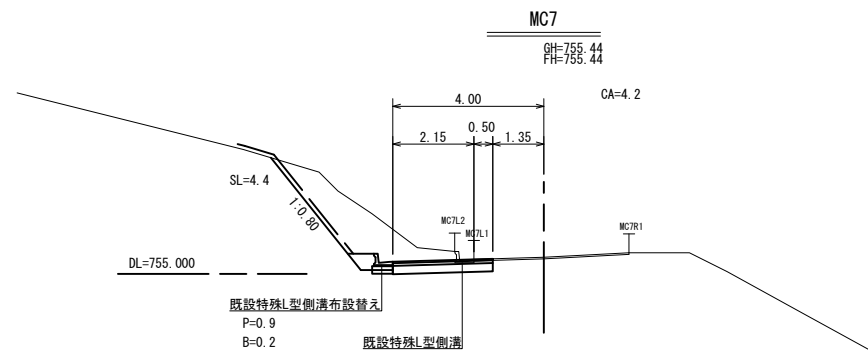
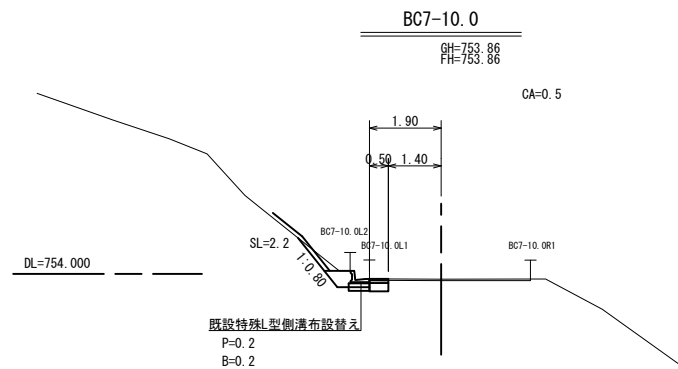
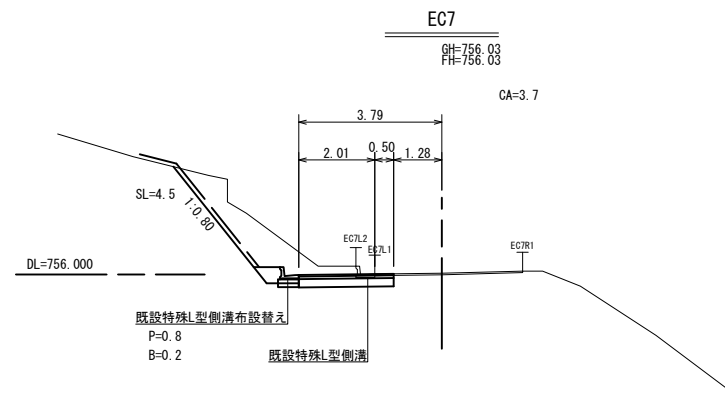
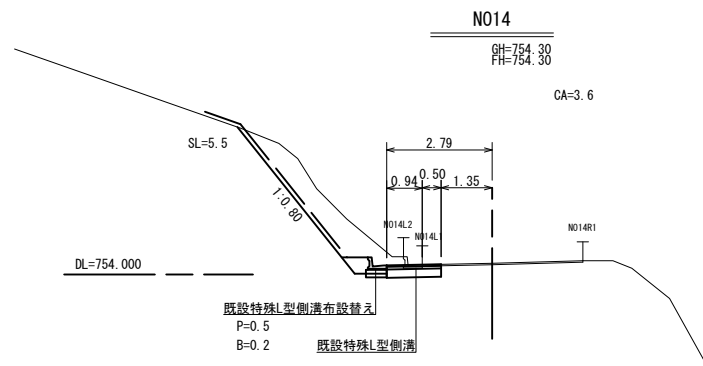
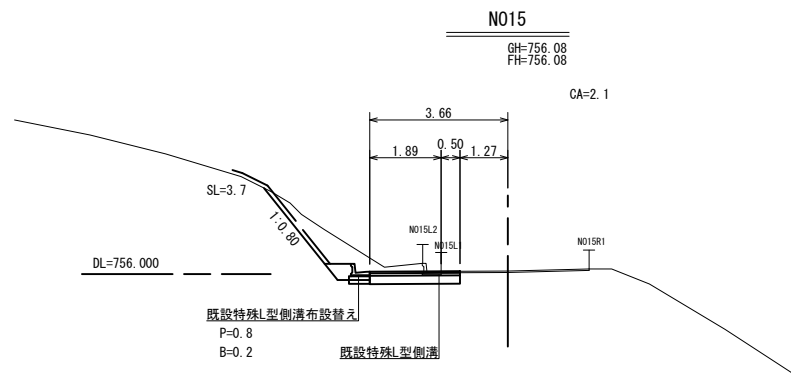
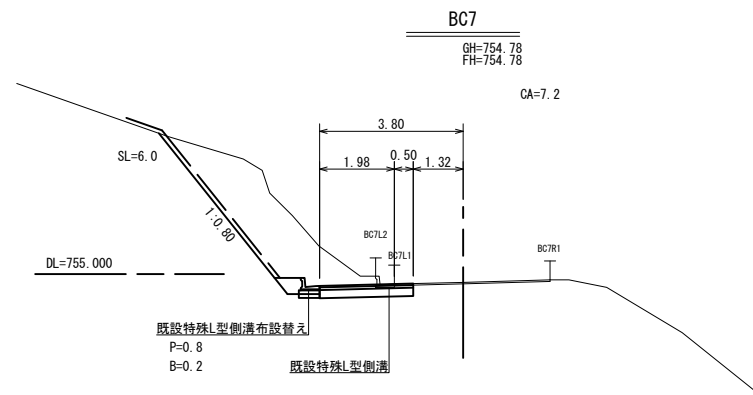


曲線数値表											
I P	A	I A		R	T L	S L	C L	I P-L	拡幅量		
		L	R						M C	B C	E C
IP 7	126-24	53-36		15.0	7.6	1.80	14.0	7.6			

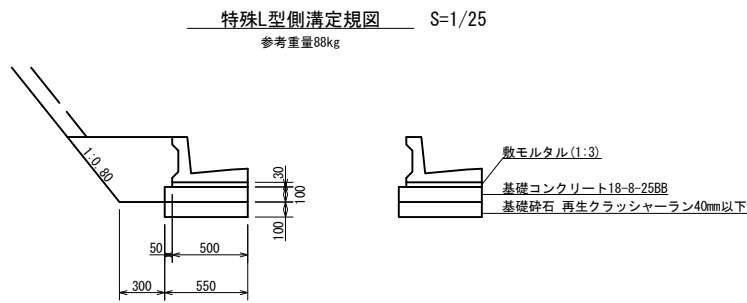
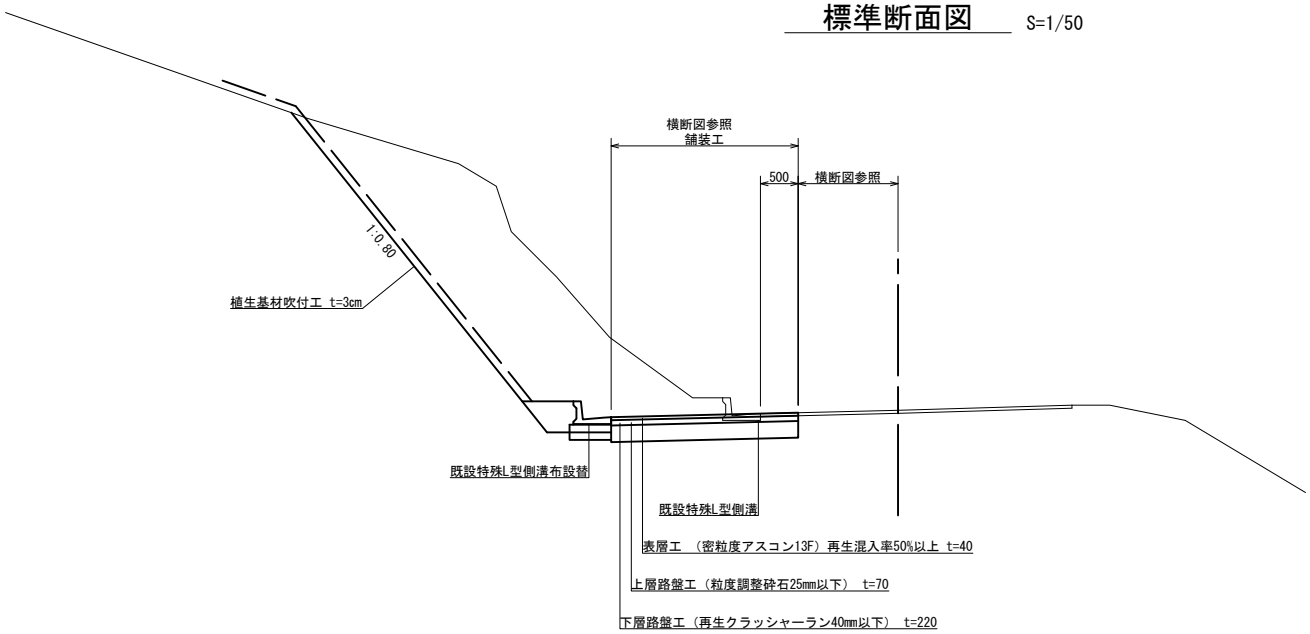
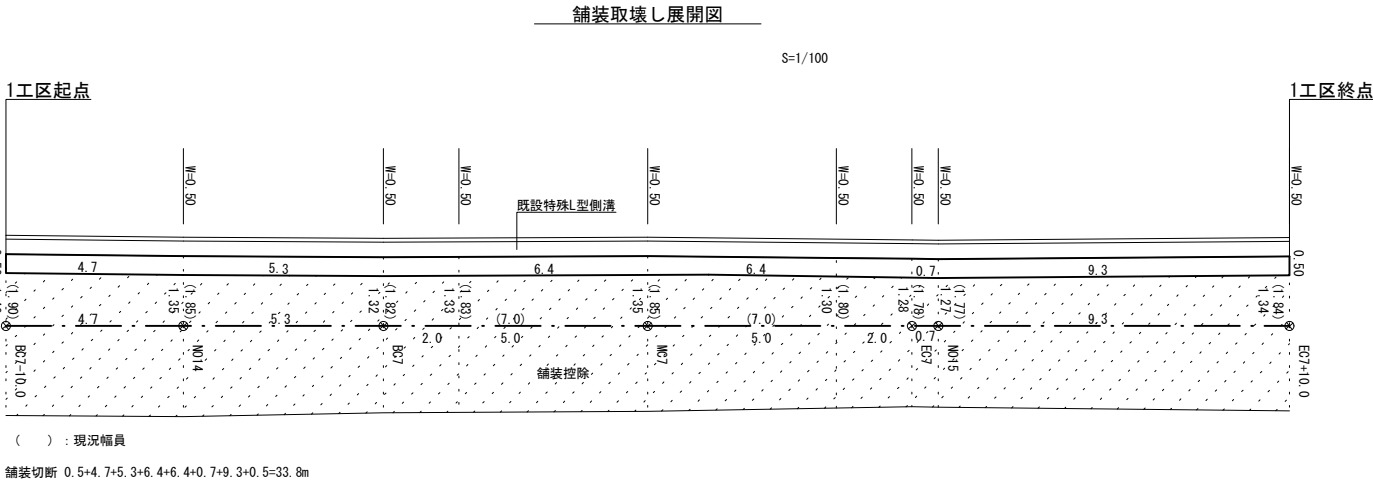
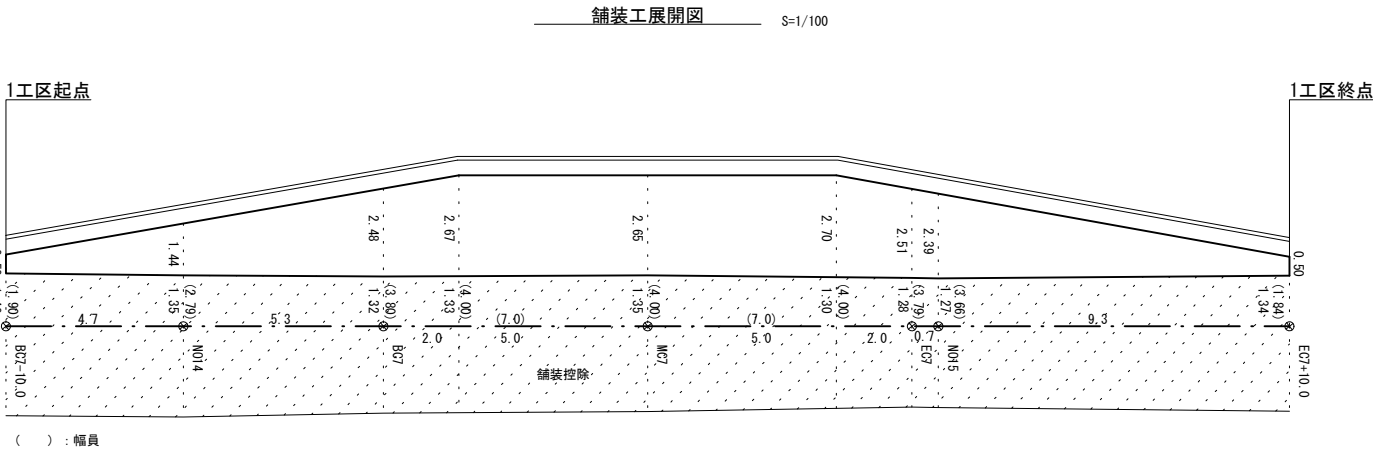
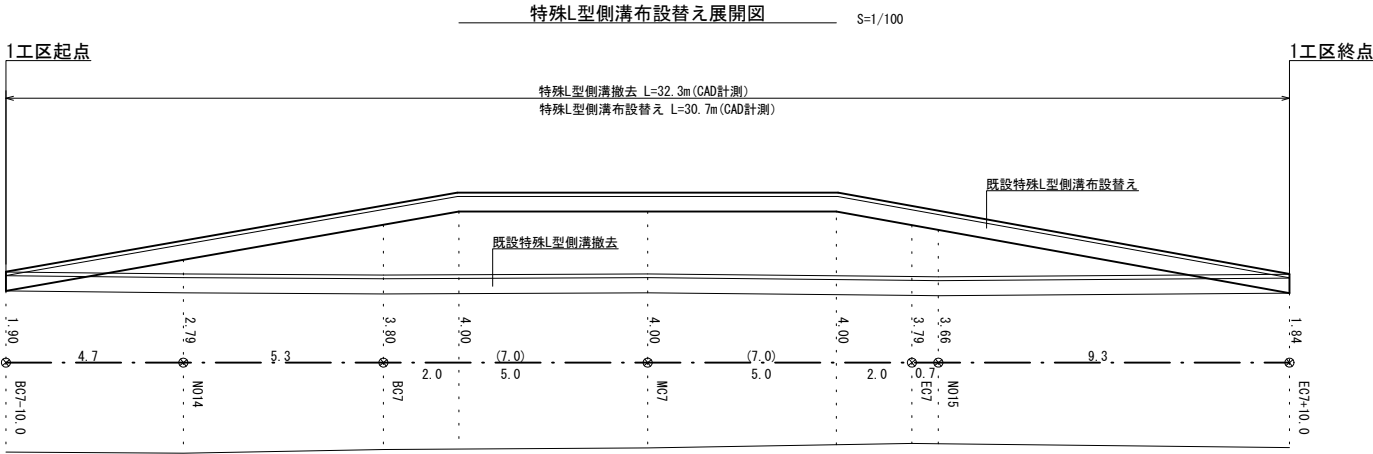
点 名	X座標	Y座標	備 考
T6	1027.627	1113.682	
T7	994.888	1107.262	
BC 7-10.0	1012.591	1112.715	
BC 7	1002.259	1110.124	
SP 7	996.369	1109.199	
EC 7	989.802	1111.479	
NO 15	989.237	1111.839	
EC 7+10.0	981.373	1116.859	



路 線 名	長峰1工区	線	事 業 名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工			
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和	8 年 度	施行主体	安曇野市		
名 称	平面図・縦断面図		4 葉 中		1 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者			設 計 者	

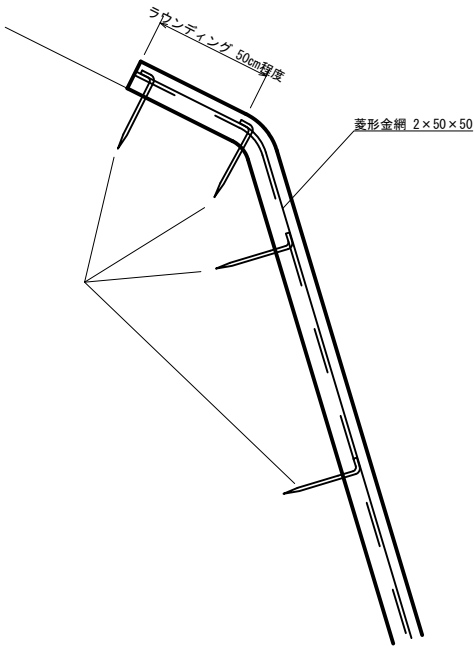


路線名	長峰1工区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	第2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和8年度		施行主体	安曇野市		
名称	横断面 (1)		4葉中		2番	
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	1/100	審査者		設計者		



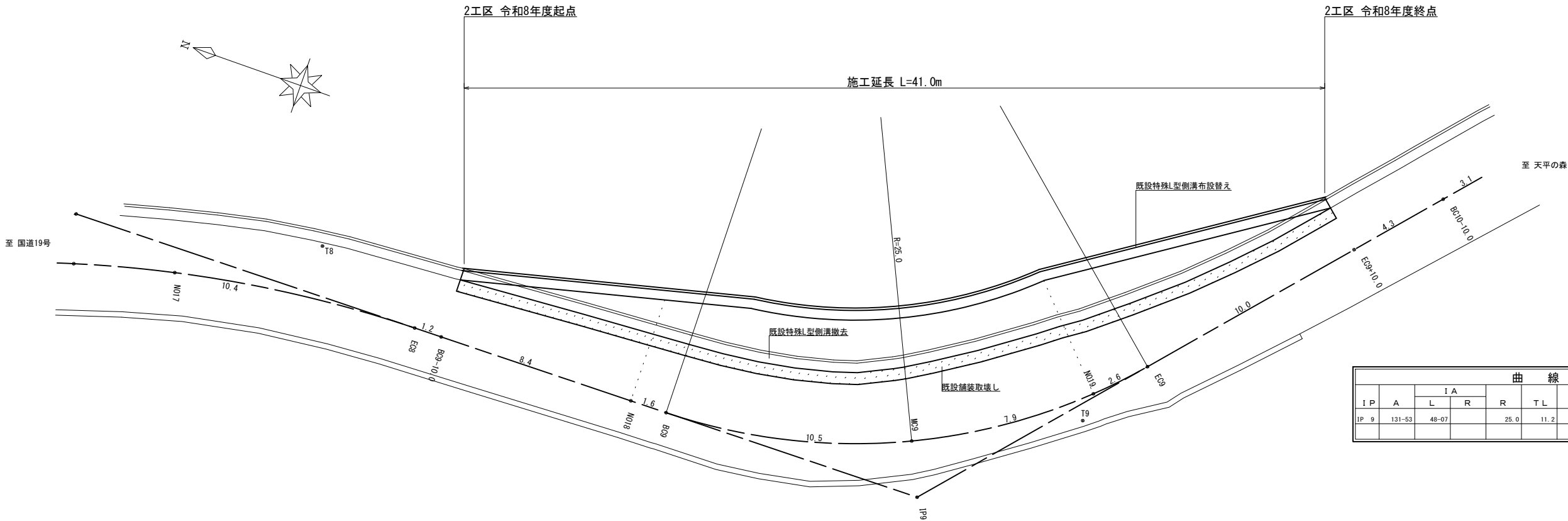
路 線 名	長峰1工区	線	事 業 名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事			
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和 8 年 度		施行主体	安曇野市		
名 称	展開図・定規図		4 葉 中		3 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者			設 計 者	

植生基材吹付工定規図



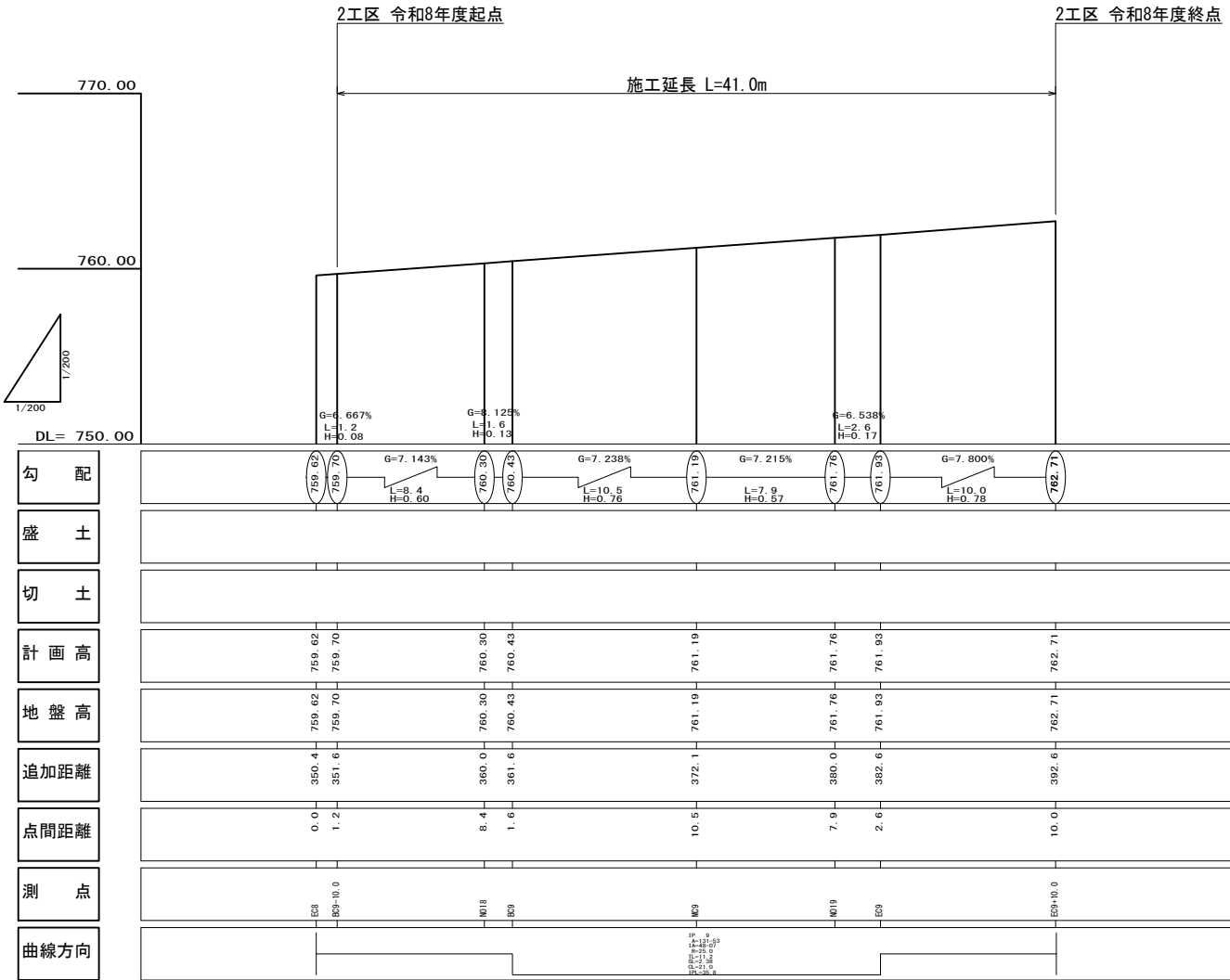
植生基材吹付工					吹付厚3cm	100㎡当り	
材 料		形状・寸法・規格	数 量	単位	摘 要		
菱 形 金 網		φ 2mm 網目50mm×50mm	140	㎡	標準割増 4 〇 %		
ア ン カ ー		φ 16 × 400	200	本			
吹 付 材 料	厚 層 基 材	基盤材、接合材	3.9	㎡ ³	標準割増 3 〇 %		
		肥 料	ハイコントロール085等	13.0	kg	(N:P:K=10:18:15)	
	種 子	コマツナギ		0.280	kg	施工時期10～2月	標準割増30%
		ヤマハギ		0.406	kg	〃	
		メドハギ		0.081	kg	〃	
		トールフェスク		0.070	kg	〃	
		クリーピングレッドフェスク		0.083	kg	〃	
	計						

路 線 名	長峰1工区	線	事 業 名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事			
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 〇 km/h	
年 度	令和	8 年 度	施行主体		安曇野市	
名 称	定規図		4 葉中			4番
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者			設 計 者	

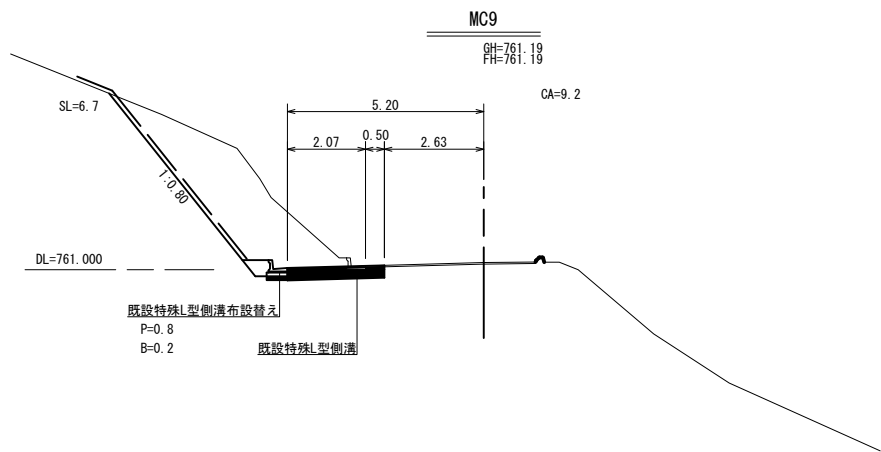
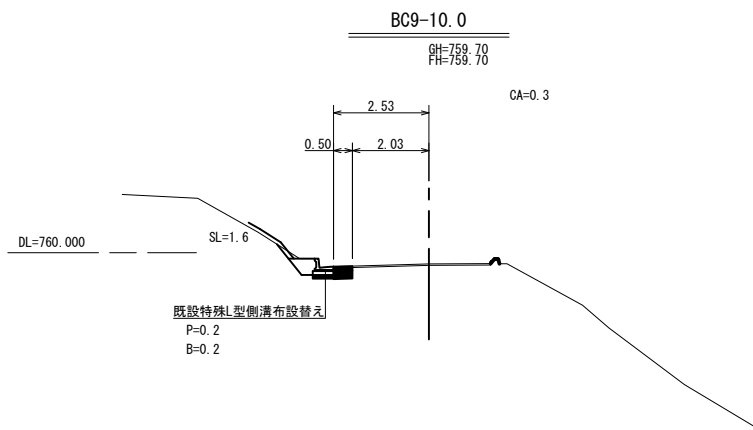
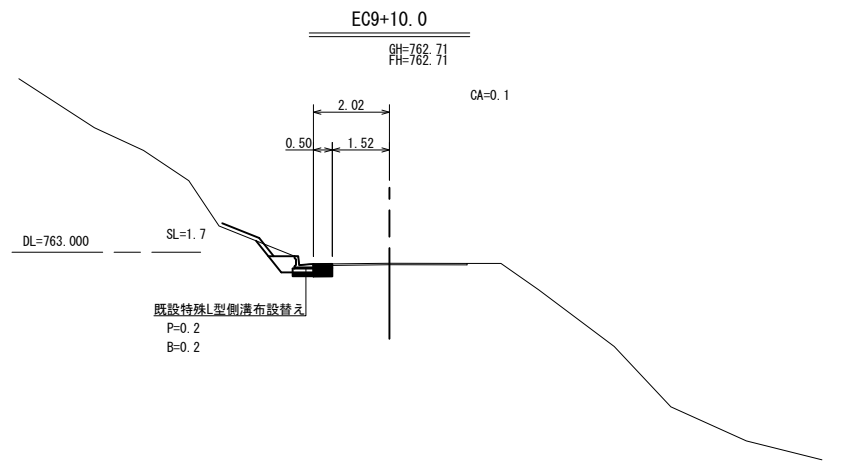
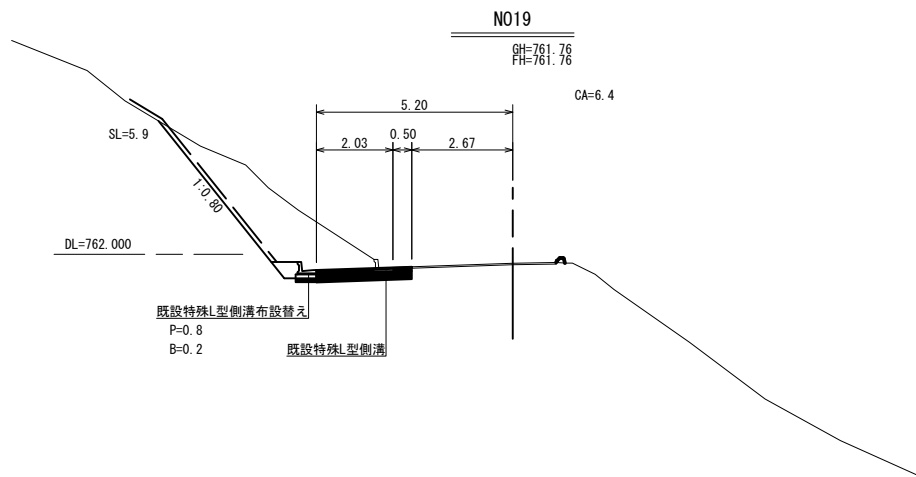
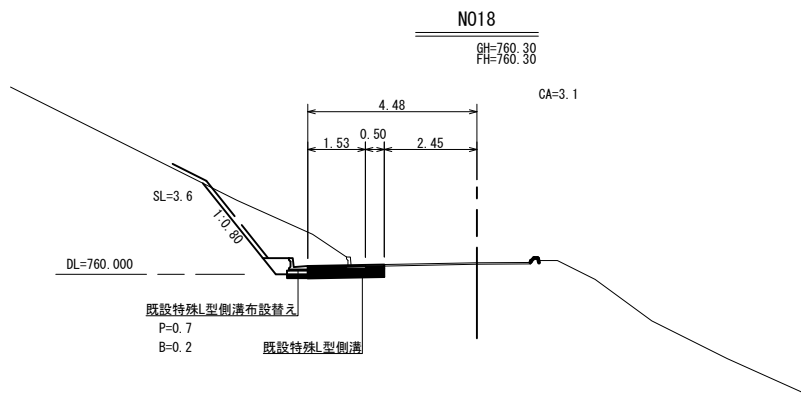
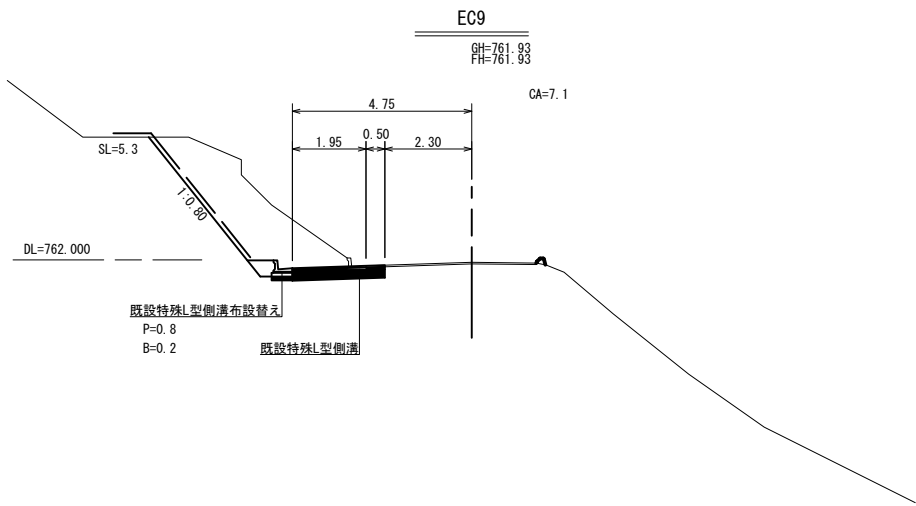
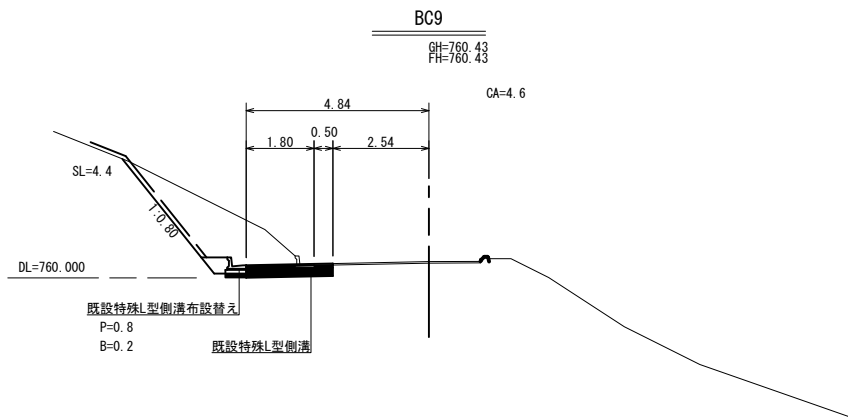


曲 線 数 値 表													
I P	A	I A		R	T L	S L	C L	I P-L	拡幅量				摘 要
		L	R						M C	B C	E C	緩和区間	
I P 9	131-53	48-07		25.0	11.2	2.38	21.0	35.8					

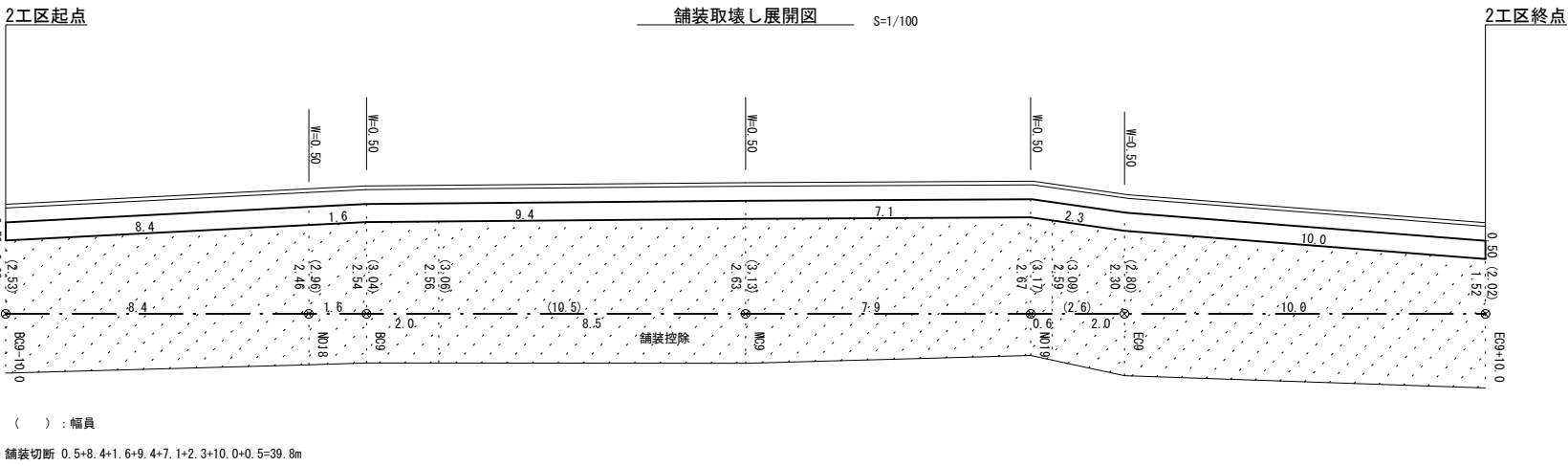
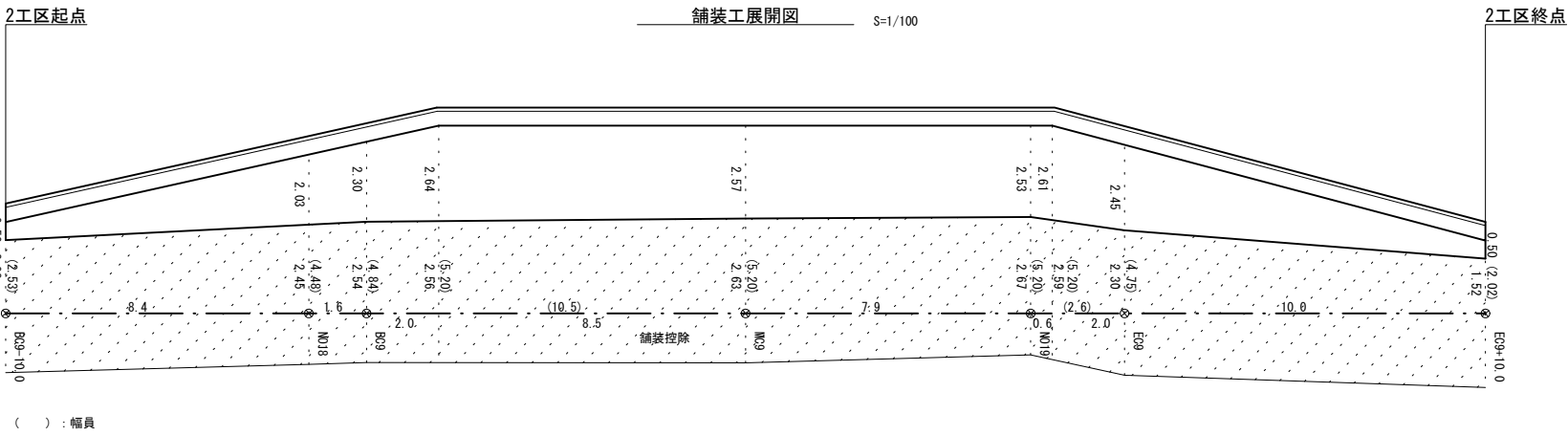
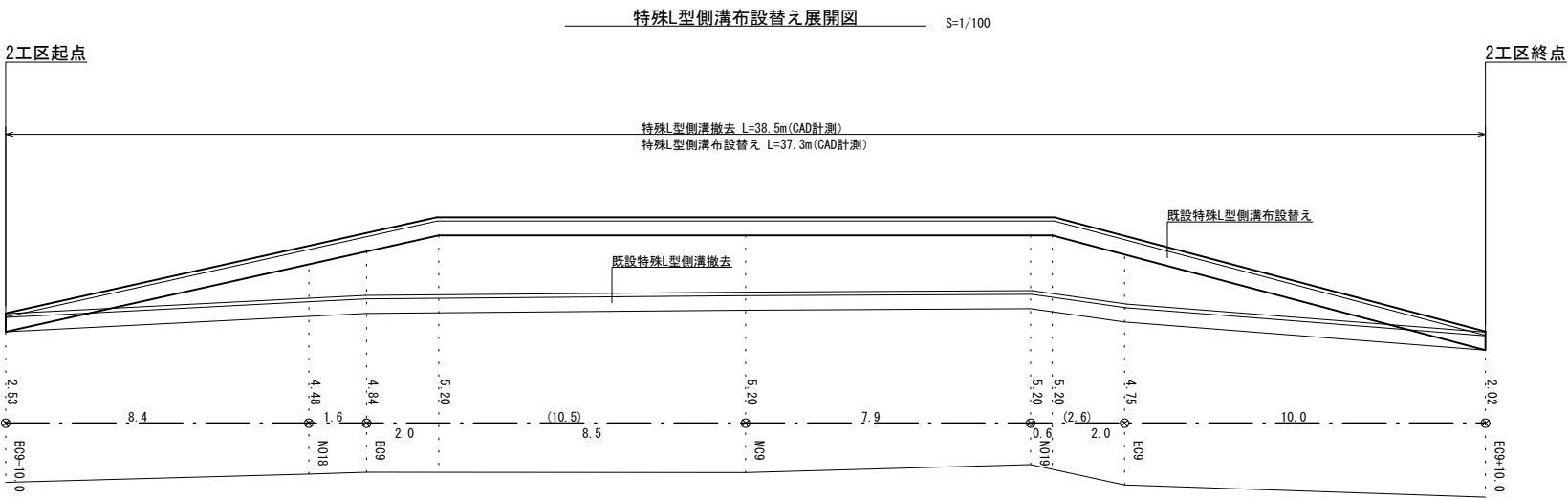
点 名	X座標	Y座標	備 考
T8	940.561	1133.449	
T9	915.908	1137.183	
BC 9+10.0	942.571	1131.507	
NO 18	934.139	1131.632	
EC 9	932.573	1131.655	
SP 9	922.418	1133.976	
NO 19	915.683	1138.396	
EC 9	914.089	1140.233	
EC 9+10.0	907.521	1147.774	



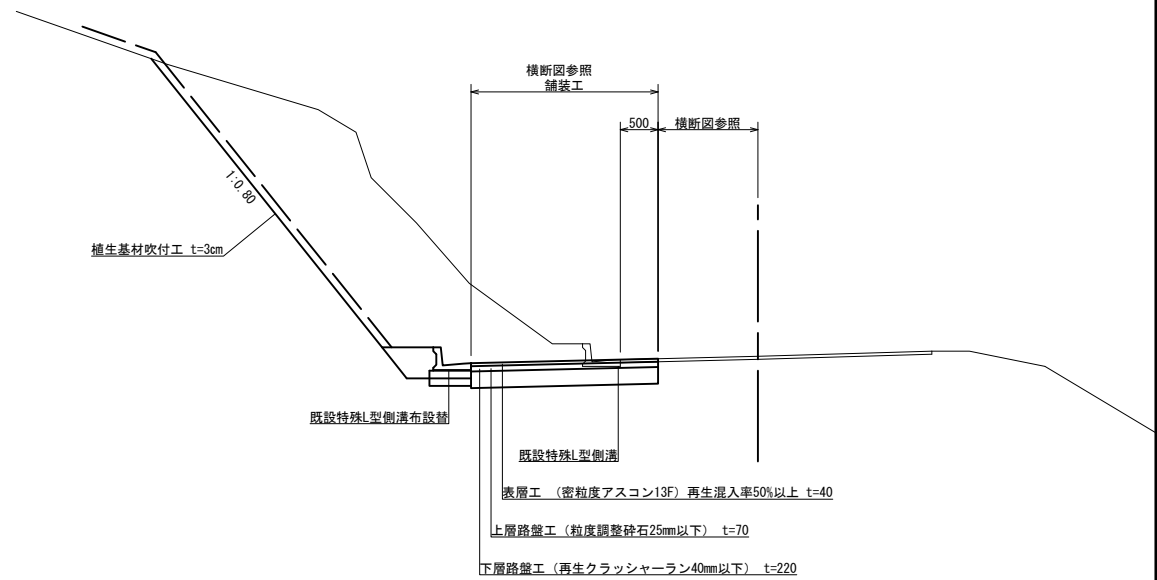
路 線 名	長峰2工区	線 事 業 名	林道長峰線改良事業
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級
年 度	令和 8 年度	施行主体	安曇野市
名 称	平面図・縦断面	4 葉中	1 番
施 工 地	安曇野市 明科 中川手		
縮 尺	図 示	審 査 者	設 計 者



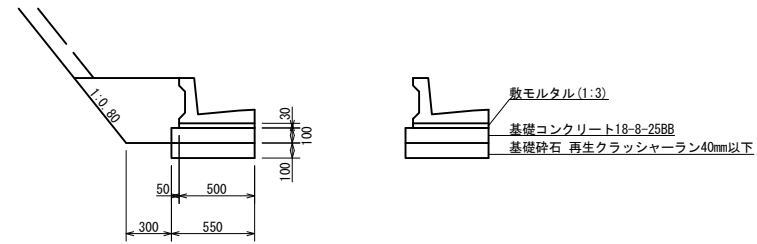
路 線 名	長峰2工区	線	事業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和 8 年 度	施行主体		安曇野市		
名 称	横断図 (1)		4 葉 中		2 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	1/100	審 査 者		設 計 者		



標準断面図 S=1/50

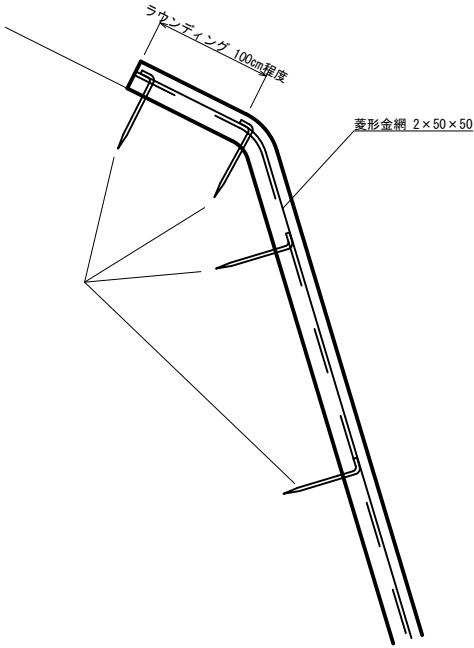


特殊L型側溝測定規図 S=1/25
参考重量88kg



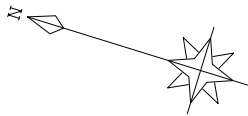
路 線 名	長峰2工区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和 8 年 度		施行主体	安曇野市		
名 称	展開図・定規図		4 葉 中		3 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者		設 計 者		

植生基材吹付工定規図

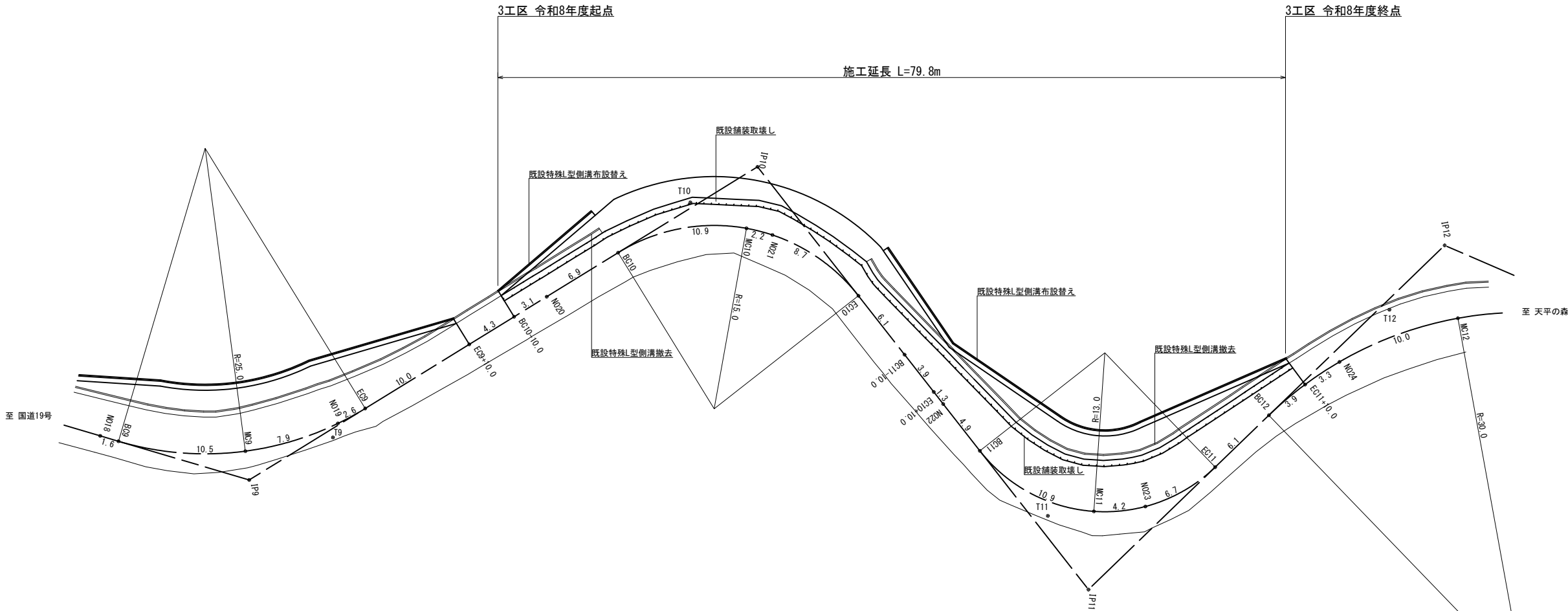


植生基材吹付工					吹付厚3cm	100㎡当り	
材 料		形状・寸法・規格	数 量	単位	摘 要		
菱 形 金 網		φ 2mm 網目50mm×50mm	140	㎡	標準割増 4 〇 %		
ア ン カ ー		φ 16 × 400	200	本			
吹 付 材 料	種 子	厚 層 基 材	基盤材、接合材	3.9	㎡	標準割増 3 〇 %	
		肥 料	ハイコントロール085等	13.0	kg	(N:P:K=10:18:15)	
		コマツナギ		0.280	kg	施工時期10～2月	標準割増30%
		ヤマハギ		0.406	kg	〃	
		メドハギ		0.081	kg	〃	
		トールフェスク		0.070	kg	〃	
		クリーピングレッドフェスク		0.083	kg	〃	
		計					

路 線 名	長峰2工区	線	事 業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 〇 km/h	
年 度	令和	8 年 度	施行主体	安曇野市		
名 称	定規図		4 葉中		4番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者			設 計 者	

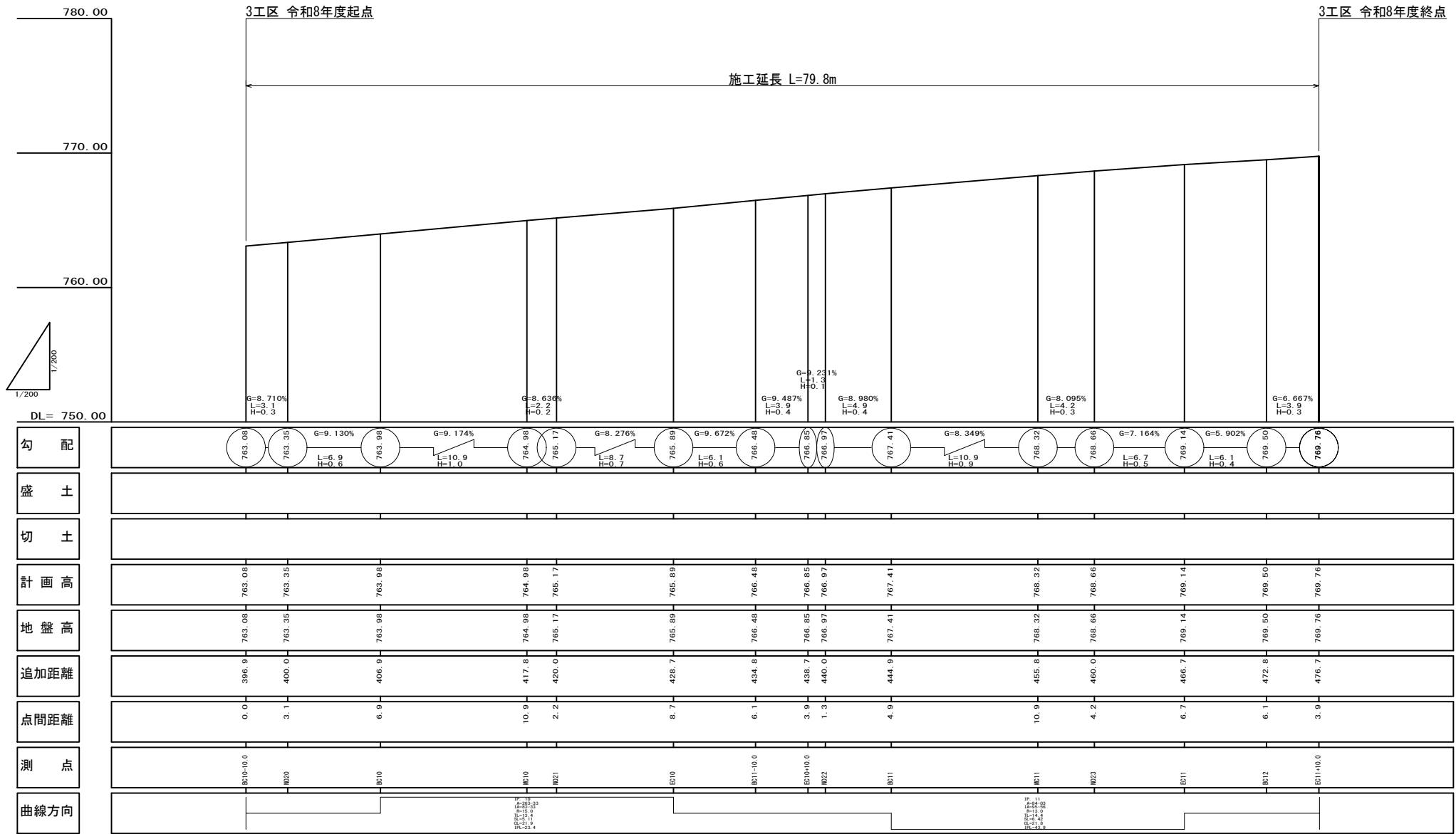


曲 線 数 値 表												
I P	A	I A		R	T L	S L	C L	I P-L	拡幅量			緩和区間
		L	R						M C	B C	E C	
I P 10	263-33		83-33	15.0	13.4	5.11	21.9	23.4				
I P 11	84-03	95-57		13.0	14.4	6.42	21.8	43.9				

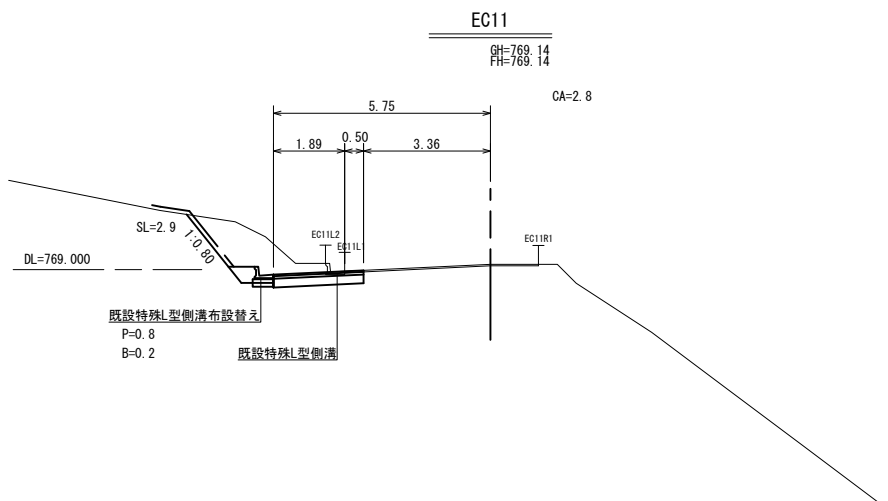
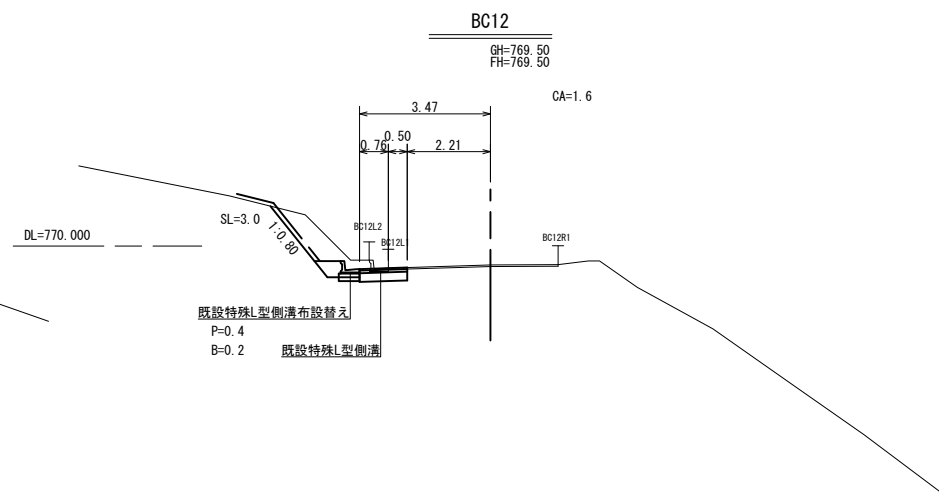
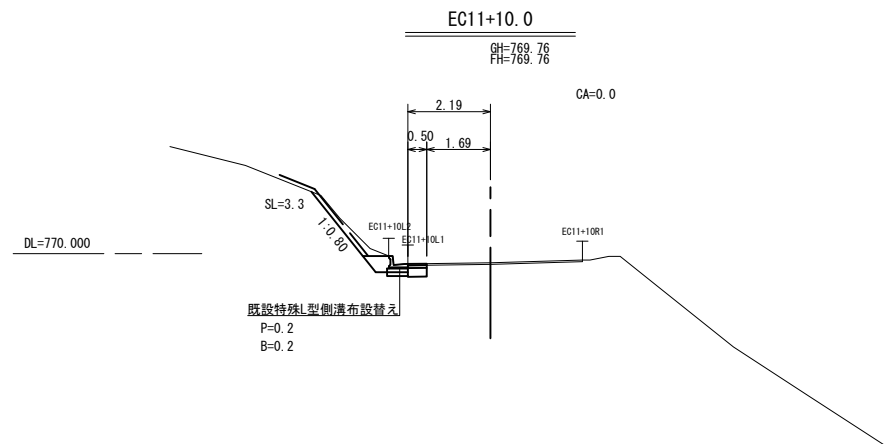


点 名	X座標	Y座標	備 考
I9	915.908	1137.183	
T10	893.701	1164.254	
T11	858.125	1148.484	
T12	836.452	1172.914	
BC 10+10.0	904.689	1151.026	
NO 20	902.632	1153.388	
BC 10	898.122	1158.568	
SP 10	888.682	1163.599	
NO 21	886.492	1163.713	
EC 10	878.290	1161.062	
BC 11+10.0	873.254	1157.586	
EC 10+10.0	870.060	1155.382	
NO 22	869.025	1154.668	
BC 11	865.024	1151.906	
SP 11	854.636	1149.957	
NO 23	850.730	1151.593	
EC 11	846.234	1156.368	
BC 12	843.302	1161.730	
EC 11+10.0	841.220	1165.011	

路 線 名	長峰3工区	線	事 業 名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事			
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	20 km/h	
年 度	令和 8 年 度		施行主体	安曇野市		
名 称	平面図		8葉中			1番
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	1/200	審 査 者		設 計 者		



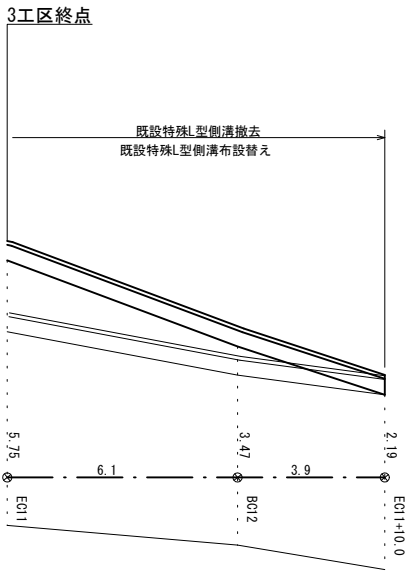
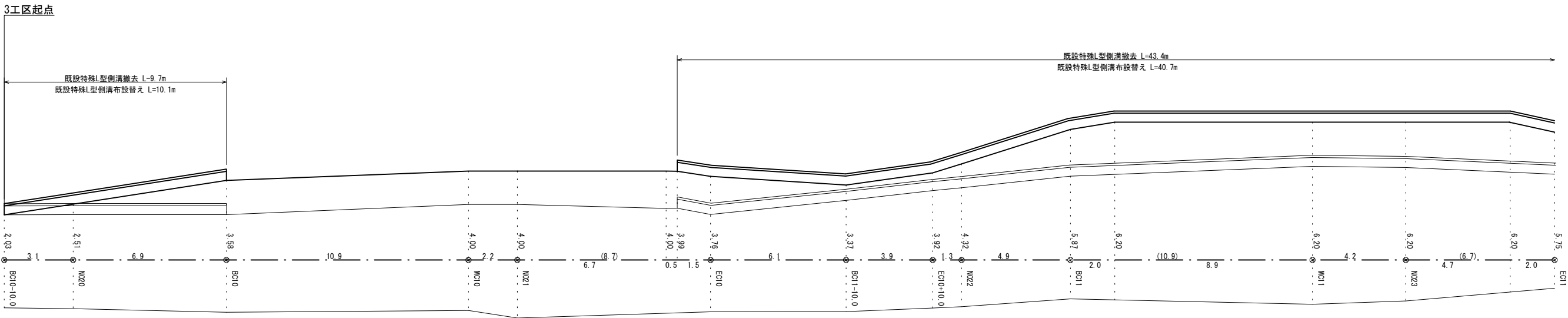
路 線 名	長峰3工区	線	事 業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 〇 km/h	
年 度	令和 8 年 度	施行主体		安曇野市		
名 称	縦断面図		8 葉 中		2 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	1/200	審 査 者		設 計 者		



路線名	長峰3工区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	第2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和8年度		施行主体	安曇野市		
名称	横断図 (2)			8葉中	4番	
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	1/100	審査者		設計者		

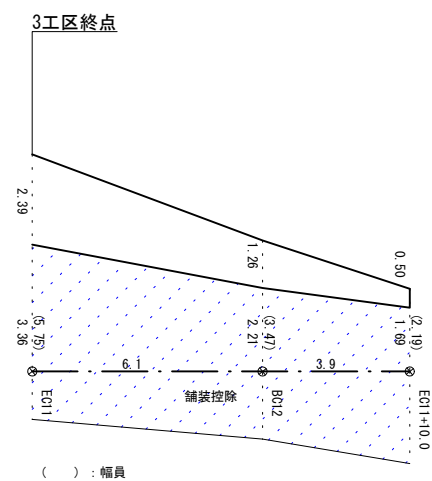
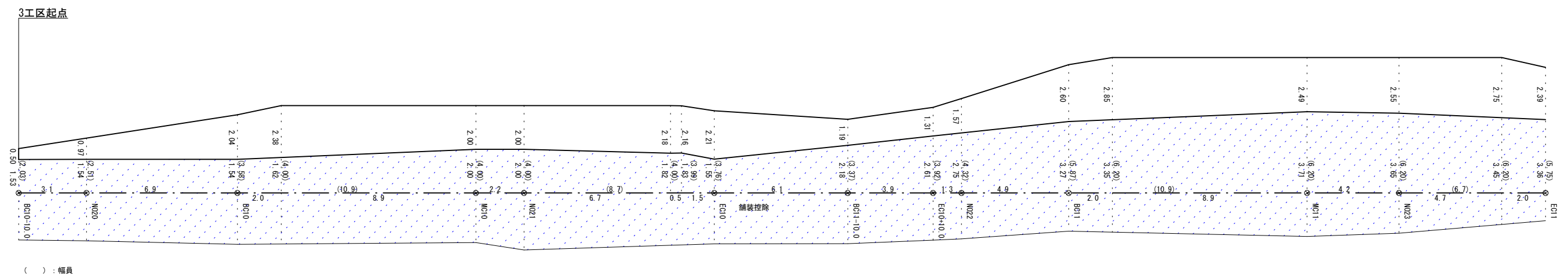
特殊L型側溝布設替え展開図

S=1/100



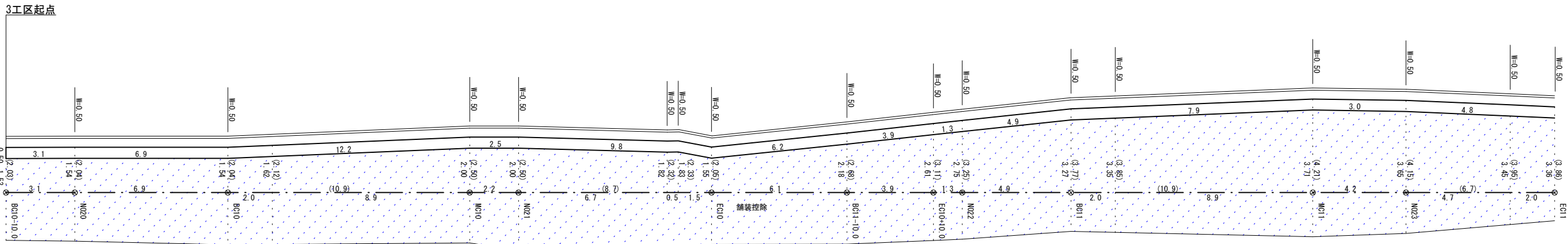
路 線 名	長峰3工区	線	事 業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和 8 年 度	施行主体		安曇野市		
名 称	展開図 (1)		8葉中		5番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	1/100	審 査 者		設 計 者		

調装展開図

 $S=1/100$ 

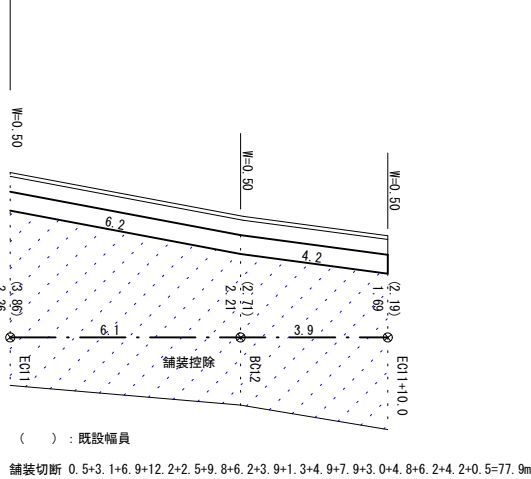
路線名	長峰3工区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	第2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和8年度	施行主体	安曇野市			
名称	展開図 (2)		8葉中		6番	
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	図示	審査者			設計者	

舗装取壊し展開図 S=1/100



() : 幅員

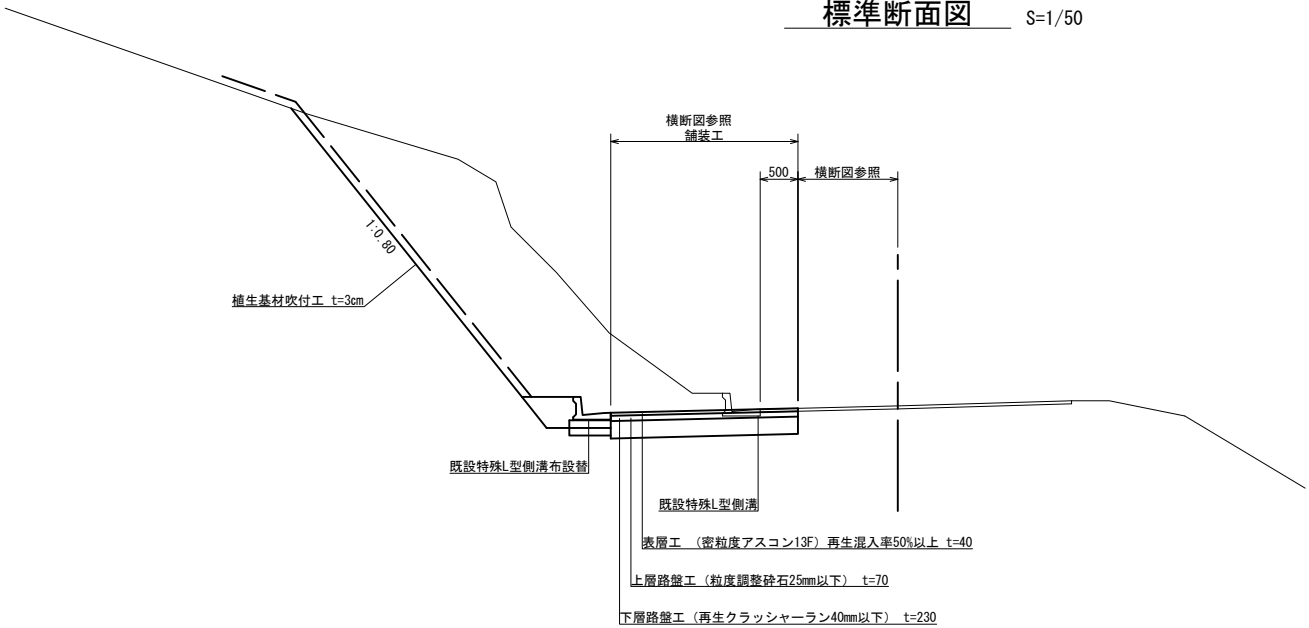
3工区終点



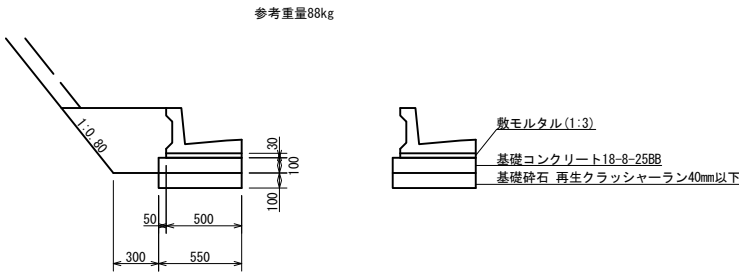
() : 既設幅員

舗装切断 0.5+3.1+6.9+12.2+2.5+9.8+6.2+3.9+1.3+4.9+7.9+3.0+4.8+6.2+4.2+0.5=77.9m

標準断面図 S=1/50



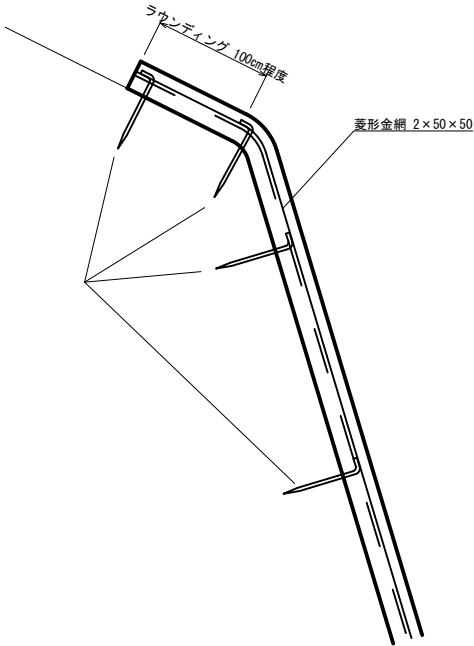
特殊L型側溝定規図 S=1/25



敷モルタル(1:3)
基礎コンクリート18-8-25B8
基礎砕石 再生クラッシャーラン40mm以下

路 線 名	長峰3工区	線	事 業 名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事			
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 0 km/h	
年 度	令和	8 年 度	施行主体	安曇野市		
名 称	展開図 (3)・定規図		8 葉 中		7 番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者		設 計 者		

植生基材吹付工定規図

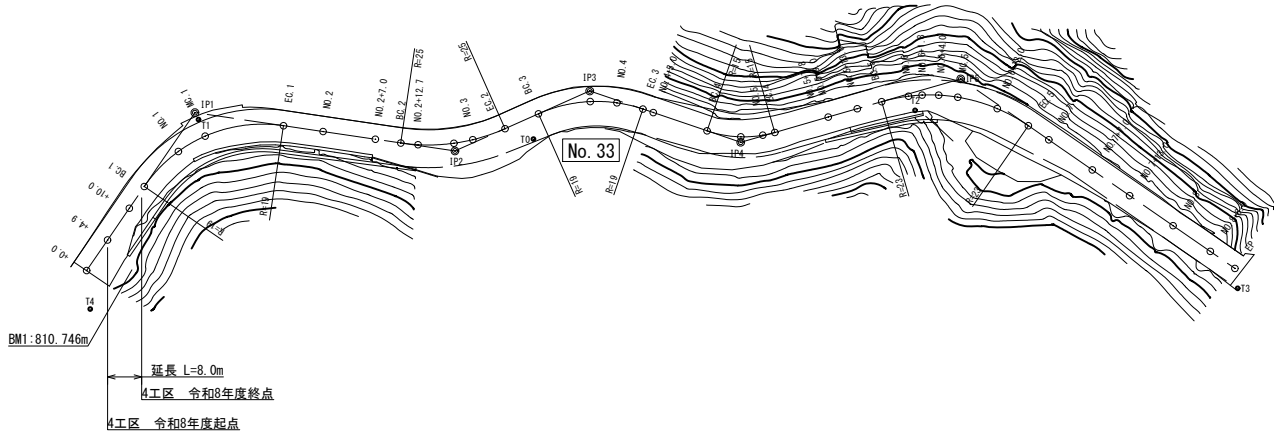


植生基材吹付工					吹付厚3cm	100㎡当り	
材 料		形状・寸法・規格	数 量	単位	摘 要		
菱 形 金 網		φ 2mm 網目50mm×50mm	140	㎡	標準割増 4 〇 %		
ア ン カ ー		φ 16 × 400	200	本			
吹 付 材 料	厚 層 基 材	基盤材、接合材	3.9	㎡	標準割増 3 〇 %		
		肥 料	ハイコントロール085等	13.0	kg	(N:P:K=10:18:15)	
	種 子	コマツナギ		0.280	kg	施工時期10～2月	標準割増30%
		ヤマハギ		0.406	kg	〃	
		メドハギ		0.081	kg	〃	
		トールフェスク		0.070	kg	〃	
		クリーピングレッドフェスク		0.083	kg	〃	
	計						

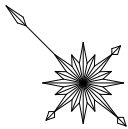
路 線 名	長峰3工区	線	事 業 名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	第2種2級	設計速度	2 〇 km/h	
年 度	令和	8 年 度	施行主体	安曇野市		
名 称	定規図		8 葉中		8番	
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図 示	審 査 者			設 計 者	

平面図 S=1:200

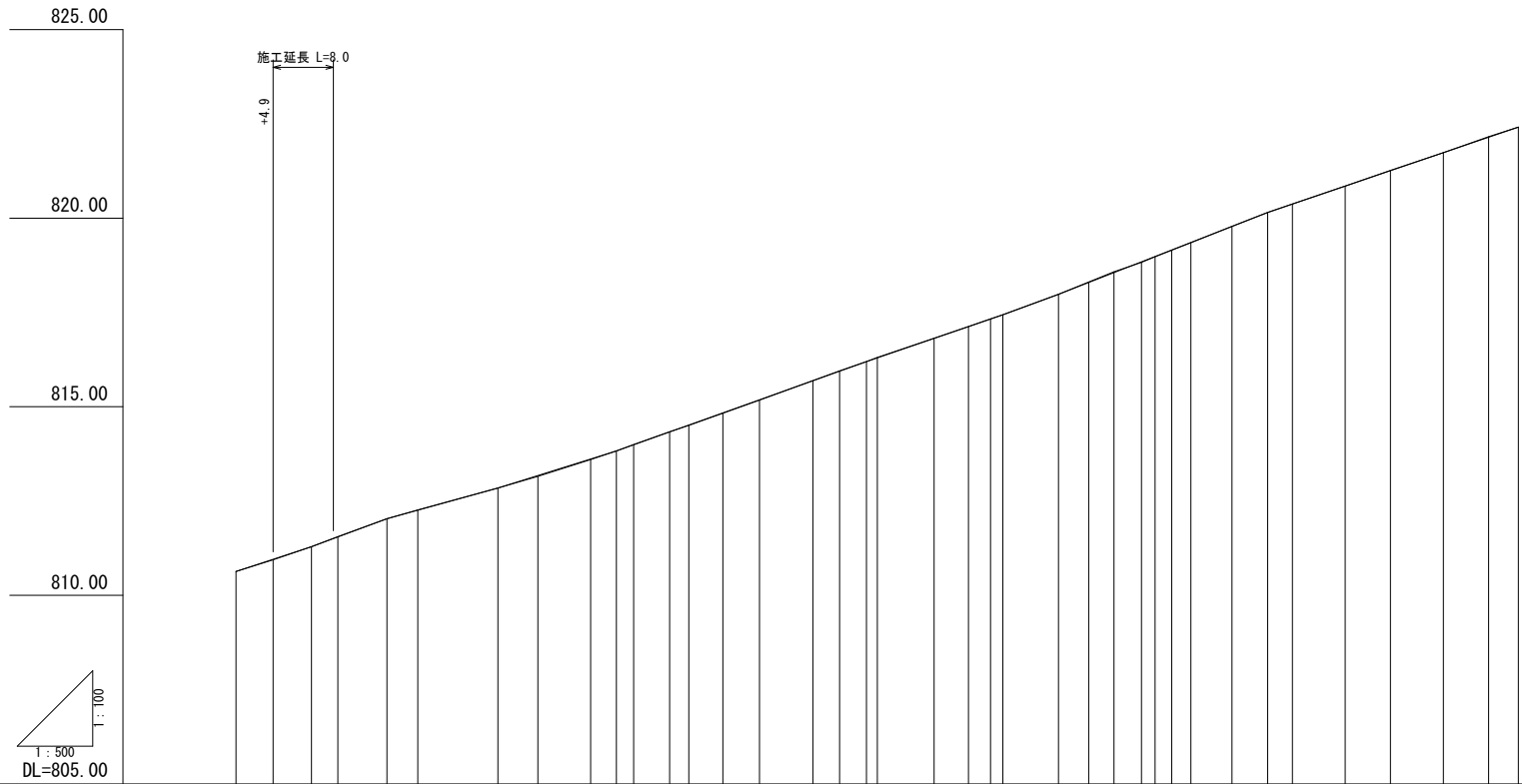
点 名	X座標	Y座標	標 高
T0	1000.000	1000.000	815.000
T1	1033.195	970.456	812.286
T2	966.951	1035.423	818.576
T3	920.072	1051.977	822.518
T4	1025.598	942.576	810.314
T5	978.198	1019.681	817.265
T6	949.979	1045.602	820.385
T7	936.426	1049.325	821.371
T8	971.739	1030.943	818.178
T9	994.391	1008.375	815.789
BW1	1025.361	950.138	810.746



点 名	X座標	Y座標	備 考
+0.0	1029.536	945.843	
+4.9	1030.434	950.660	
+10.0	1031.368	955.674	
BC 1	1032.008	959.109	
NO. 1	1032.093	965.563	
SP 1	1031.018	969.527	
EC 1	1024.662	977.840	
NO. 2	1020.406	981.002	
NO. 2+7.0	1014.788	985.177	
BC 2	1012.059	987.294	
NO. 2+12.7	1010.279	988.660	
SP 2	1007.056	992.158	
NO. 3	1005.627	994.253	
EC 2	1003.632	996.308	
BC 3	1001.895	1002.531	
SP 3	998.193	1008.826	
NO. 4	995.576	1011.204	
EC 3	992.560	1013.060	
NO. 4+5.0	991.256	1013.703	
BC 4	984.509	1017.029	
SP 4	980.789	1019.629	
NO. 5	978.884	1021.838	
EC 4	978.016	1023.222	
NO. 5+9.0	974.451	1028.667	
NO. 5+13.0	972.515	1033.167	
BC 5	970.887	1036.110	
NO. 6	968.883	1039.141	
NO. 6+1.8	967.720	1040.514	
NO. 6+4.0	966.159	1042.063	
SP 5	964.184	1043.655	
NO. 6+12.0	959.414	1046.288	
EC 5	954.897	1047.803	
NO. 7	951.683	1048.194	
NO. 7+7.0	944.777	1049.453	
NO. 7+13.0	938.874	1050.532	
NO. 8	931.989	1051.790	
NO. 8+6.0	925.086	1052.869	
EP	922.197	1053.580	
IP1	1034.181	970.767	
IP2	1006.234	991.534	
IP3	999.229	1009.772	
IP4	980.292	1019.108	
IP5	965.614	1045.644	

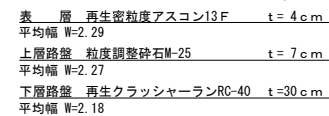


縦断図 V=1:100
H=1:500



曲 線	測 点	点 間 距 離	追 加 距 離	地 盤 高	計 画 高	切 土	盛 土	勾 配
IP 1 1A=42° 56' 29" R=115.80 TL=11.88 BL=11.88 SL=3.40 IP 2 1A=32° 22' 34" R=115.80 TL=7.26 BL=7.26 SL=1.00 IP 3 1A=42° 44' 43" R=115.80 TL=7.44 BL=7.44 SL=1.40 IP 4 1A=34° 48' 29" R=115.80 TL=4.70 BL=4.70 SL=0.72 IP 5 1A=50° 41' 35" R=115.80 TL=10.88 BL=10.88 SL=2.45	+0.0	0.0	0.0	810.63	810.63	0.00	0.00	810.63 +4.9% L=10.0m
	+4.9	4.9	4.9	810.94	810.95		0.01	811.29 +4.9% L=10.0m
	+10.0	5.1	10.0	811.29	811.29	0.00	0.00	811.29 +4.9% L=10.0m
	BC 1	0.8	10.8	811.56	811.55	0.01		812.03 +4.9% L=10.0m
	BC 1	2.7	13.5					812.03
	NO. 1	6.5	20.0	812.03	812.03	0.00	0.00	812.26 +4.9% L=14.7m
	MC 1	4.1	24.1	812.26	812.26	0.00	0.00	812.84 +4.9% L=14.7m
	EC 1		10.6	812.84	812.84	0.00	0.00	813.18 +4.9% L=15.7m
	NO. 2	5.3	40.0	813.15	813.18		0.03	813.62 +4.9% L=15.7m
	NO. 2+7.0	7.0	47.0	813.60	813.62		0.02	813.83
	BC 2	3.4	50.4	813.83	813.83	0.00	0.00	814.00 +7.150% L=33.1m
	NO. 2+12.7	2.3	52.7	814.00	813.99	0.01		814.33 +7.150% L=33.1m
	MC 2	4.8	57.5	814.34	814.33	0.01		814.51 +7.150% L=33.1m
	NO. 3	2.5	60.0	814.51	814.52		0.01	814.84 +7.150% L=33.1m
	EC 2	4.5	64.5	814.83	814.84		0.01	815.19 +7.150% L=33.1m
	BC 3	4.9	68.4	815.17	815.19	0.02		815.69 +7.150% L=33.1m
	MC 3	7.1	76.5	815.69	815.69	0.00	0.00	815.95 +7.150% L=33.1m
	NO. 4	3.5	80.0	815.95	815.95	0.00	0.00	816.20 +7.150% L=33.1m
	EC 3	3.5	83.5	816.20	816.20	0.00	0.00	816.31 +7.150% L=33.1m
	NO. 4+5.0	1.5	85.0	816.31	816.30	0.01		816.82 +7.150% L=33.1m
	BC 4	7.5	92.5	816.82	816.81	0.01		817.12 +7.150% L=33.1m
	MC 4	4.6	97.1	817.12	817.13		0.01	817.33 +7.150% L=33.1m
	NO. 5	2.9	100.0	817.33	817.33	0.00	0.00	817.44 +7.150% L=33.1m
	EC 4	1.6	101.6	817.44	817.44	0.00	0.00	817.88 +7.150% L=33.1m
	NO. 5+7.8	6.2	107.8	817.88	817.88	0.00	0.00	818.29 +7.150% L=33.1m
	NO. 5+13.0	4.0	113.0	818.31	818.31	0.02		818.56 +7.150% L=33.1m
	BC 5	3.4	116.4	818.58	818.56	0.02		818.84 +7.150% L=33.1m
	NO. 6	3.6	120.0	818.83	818.84	0.00	0.00	818.98 +7.150% L=33.1m
NO. 6+4.0	1.8	121.8	818.98	818.96	0.00	0.00	819.15 +7.150% L=33.1m	
NO. 6+12.0	2.2	124.0	819.15	819.16	0.00	0.00	819.35 +7.150% L=33.1m	
MC 5	2.5	126.5	819.35	819.35	0.00	0.00	819.78 +7.150% L=33.1m	
NO. 6+12.0	5.5	132.0	819.78	819.78	0.00	0.00	820.15 +7.150% L=33.1m	
EC 5	4.7	136.7	820.15	820.15	0.00	0.00	820.38 +7.150% L=33.1m	
NO. 7	3.3	140.0	820.37	820.38			820.85 +7.150% L=33.1m	
NO. 7+7.0	7.0	147.0	820.85	820.85	0.00	0.00	821.26 +7.150% L=33.1m	
NO. 7+13.0	6.0	153.0	821.27	821.26	0.01		821.74 +7.150% L=33.1m	
NO. 8	7.0	160.0	821.74	821.74	0.00	0.00	822.14 +7.150% L=33.1m	
NO. 8+6.0	6.0	166.0	822.16	822.14	0.02		822.41 +7.150% L=33.1m	
EP		4.0	170.0	822.41	822.41	0.00	0.00	

路線名	長峰4工区	線	事業名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線	級別区分	2種2級	設計速度	2 0 km/h
年 度	令和 8 年 度		施行主体	安曇野市	
名 称	平面図		5 葉中		1番
施 工 地	安曇野市 明科 中川手				
縮 尺	図 示	審 査 者		設 計 者	



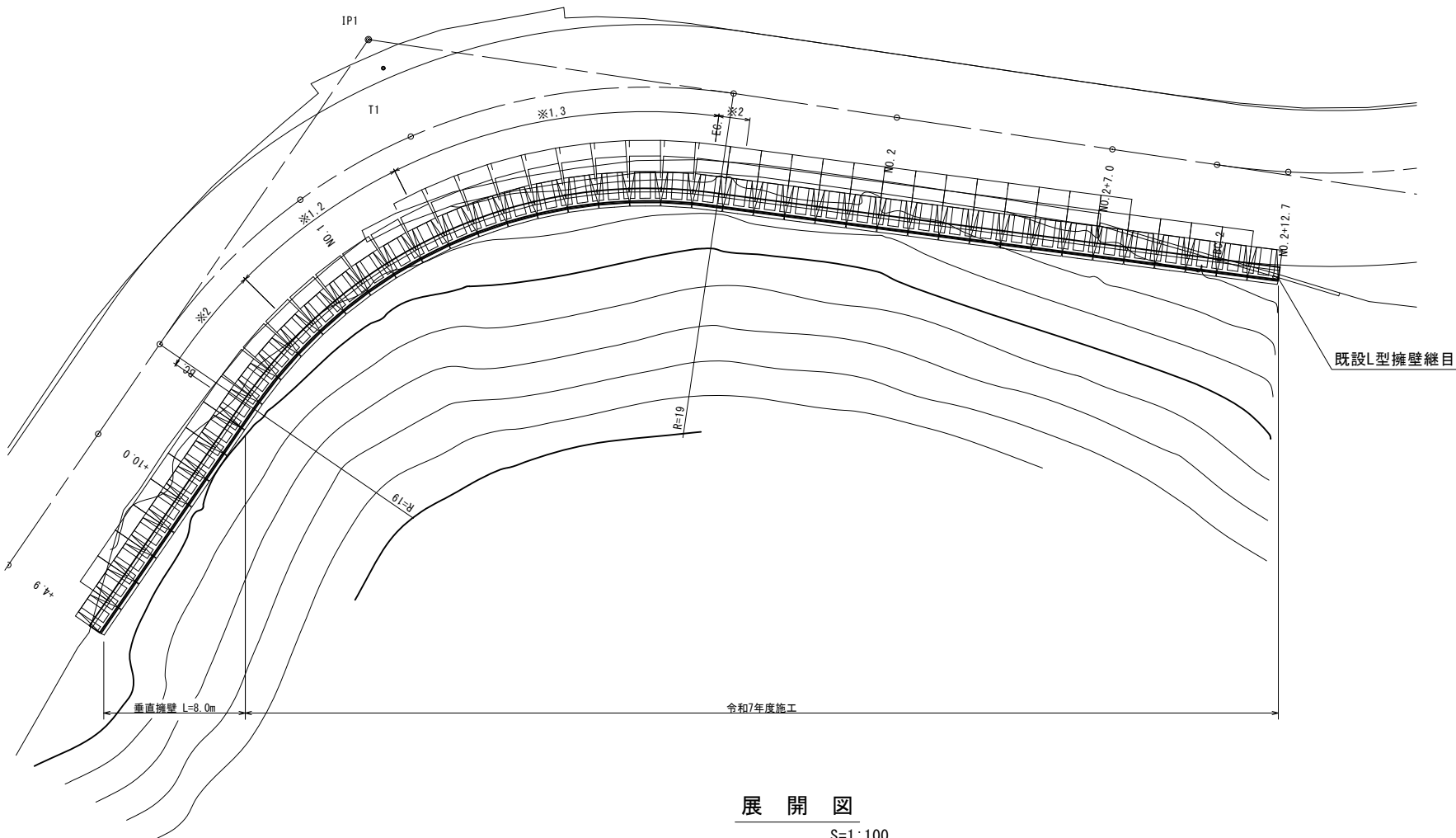
C1 = 掘削 (土砂)
C2 = 床掘 (土砂)
C3 = 床掘 (岩塊)
B1 = 埋戻し (土砂)

路線名	長峰4工区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和 8 年度	施行主体	安曇野市			
名称	横断園 5葉中					2番
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	1/100	審査者		設計者		

垂直擁壁構造図（１）

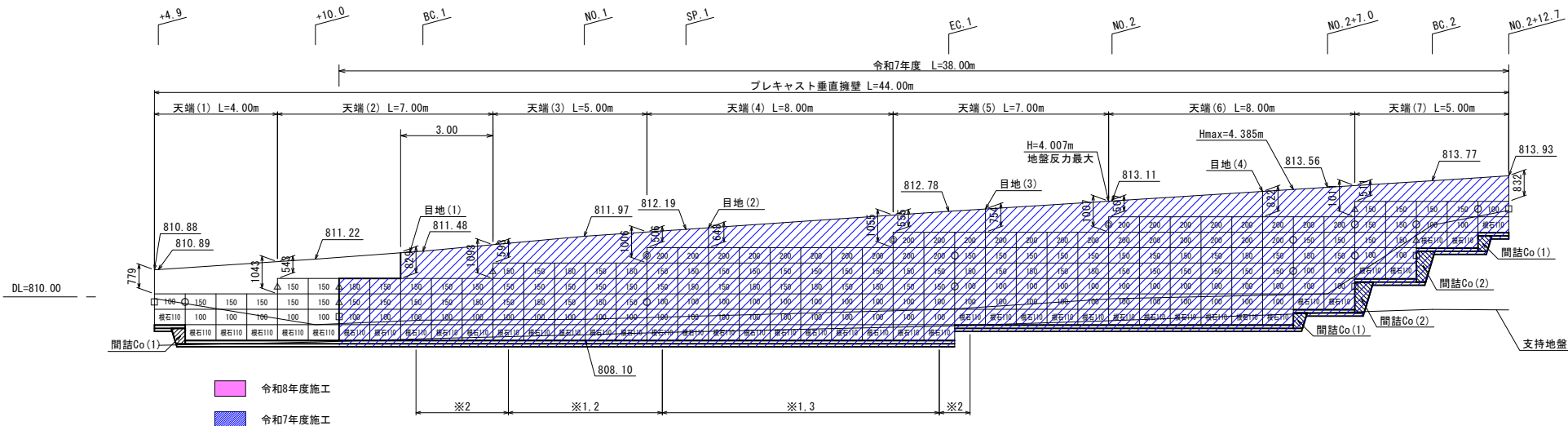
平面図

S=1:100



展開図

S=1:100



垂直擁壁数量表

名 称		規格	単位	数量	備考
ブロック	標準	H500×L1000×B370	個	13	6.5m2
	100型	H500×L1000×B650	個	6	3.0m2
	150型	H500×L1000×B1150	個	7	3.5m2
根石ブロック	110型	H500×L1000×B1100	個	6	3.0m2
	50型	H500×L500	枚	1	0.3m2
	100型	H500×L900	枚	2	0.9m2
端部金網	150型	H500×L1400	枚	3	2.1m2
	200型	H500×L1900	枚	0	0.0m2
	計			3.3m2	
中詰め保護シート		W600×t0.5	m	25.0	-
吸出防止シート		t10.0	m2	6.0	-
目地ロープ※			m	9.5	-
天端コンクリート		18-8-4088	m3	3.44	-
天端コンクリート型枠			m2	13.5	-
天端伸縮目地		t10.0	m2	0.5	-

※目地ロープは製品代に含まれます。

中詰め数量

中詰め砕石 (RC40-0)	中詰め (m3/m2)	数量 (m2)	中詰め (m3)
L型金網100型	0.82	3.0	2.46
L型金網150型	1.32	3.5	4.62
L型金網200型	1.82	0.0	0.0
計			7.08

中詰め砕石 (RC40-0)	中詰め (m3/m2)	数量 (m2)	中詰め (m3)
根石ブロック110型	0.53	3.0	1.59

基礎材数量

敷モルタル (1:3)	B (m)	延長 (m)	体積 (m3)
根石ブロック110型	1.1	6.0	0.13

※敷モルタル費は根石ブロックの諸雑費に含まれます。

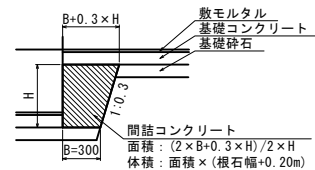
基礎コンクリート (18-8-4088)	B (m)	延長 (m)	体積 (m3)
根石ブロック110型	1.3	6.0	0.78

基礎砕石 (RC40-0, t=100)	B (m)	延長 (m)	面積 (m2)
根石ブロック110型	1.3	6.0	7.8

基礎コンクリート型枠	H (m)	延長 (m)	面積 (m2)
根石ブロック110型	0.1	6.0	1.2

基礎部詳細図

S=1:30



間詰コンクリート数量表

名称	規格	単位	数量	備考
間詰Co(1)	18-8-4088	m3	0.24	1箇所、幅1.30m×断面積0.188m2=0.244m3/箇所

間詰コンクリート型枠数量表

名称	規格	単位	数量	備考
間詰Co型枠(1)	-	m2	1.0	1箇所、幅1.30m×高さ0.50m×2×断面積0.188m2=1.03m2/箇所

端部用金網使用箇所記号 一覧表

名 称	記 号
端部用金網 50型	○
端部用金網 100型	□
端部用金網 150型	△
端部用金網 200型	◎

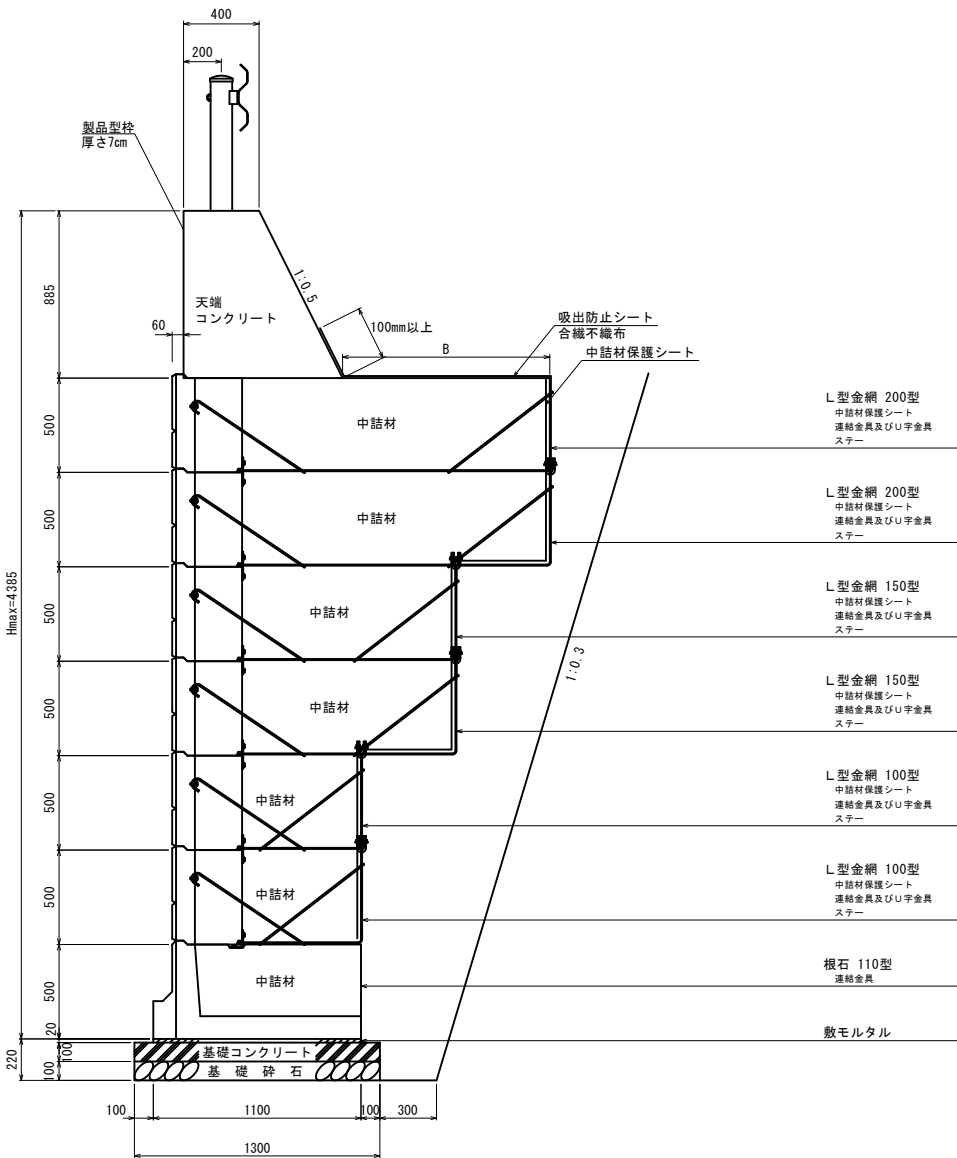
- ※1:R部用連結金具使用範囲です。
※2:金網背面の開きが10cm未満の箇所は、背面ステーを使用して金網端部を固定して下さい。
※3:金網背面の開きが10cm以上の箇所は、切断した50型の端部網を背面に設置してから、背面ステーと前面ステーを使用して金網端部を固定して下さい。

路 線 名	長峰4区		線	事業名 林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹 線		級別区分	2種2級	設計速度	20 km/h
年 度	令和 8 年 度		施行主体		安曇野市	
名 称	垂直擁壁構造図(1)			5 葉中		3番
施 工 地	安曇野市 明科 中川手					
縮 尺	図示	審 査 者			設 計 者	

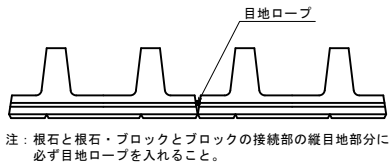
垂直擁壁構造図（2） S=1：20

設計条件及び土質条件	
上載荷重	q= 10.0 kN/m2
土 圧	試行くさび法による
背面土の内部摩擦角	φ= 30°
背面土の単位体積重量	γ= 18 kN/m3
許容地盤反力度	qa= 175.13 kN/m2 以上必要
※ 現場条件が上記の値と異なる場合は別途検討が必要です。	

標準断面図（Hmax＝4.385m）

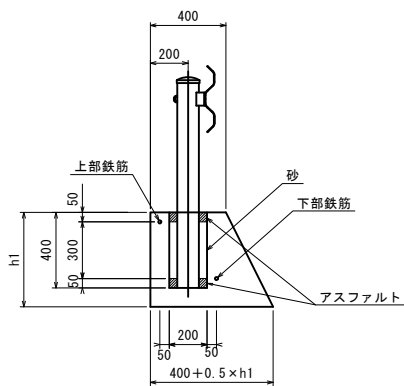


目地ロープ・詳細図

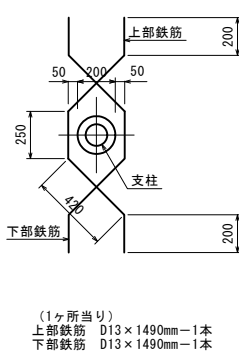


注：根石と根石・ブロックとブロックの接続部の縦目地部分に必ず目地ロープを入れること。

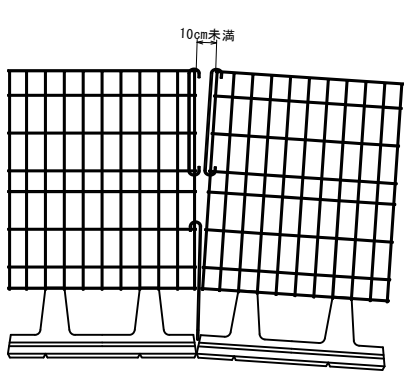
天端コンクリート



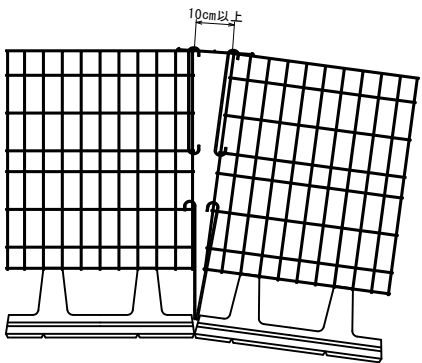
補強鉄筋形状



金網開きについて



※金網背面の開きが10cm未満の箇所は背面ステーを使用して金網端部を固定すること。



※金網背面の開きが10cm以上の箇所は切断した50型の端部網を背面に設置し、背面ステーと前面ステーを使用して金網端部を固定すること。

中詰材数量	
中詰砕石	m2 当り中詰量 (m3/m2)
ボラメッシュ 100型	0.82
ボラメッシュ 150型	1.32
ボラメッシュ 200型	1.82
根石ブロック110型	0.53

基礎コンクリート (厚さ10cm)	
基礎コンクリート	幅 (m)
根石ブロック 110型	1.30

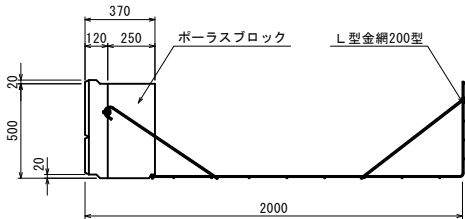
基礎砕石量 (厚さ10cm)	
基礎砕石	幅 (m)
根石ブロック 110型	1.30

吸出防止シート		
吸出防止シート	B×ラップ (m)	数量算出シート幅 (m)
L型金網 100型	0.29×0.1	1
L型金網 150型	0.79×0.1	1
L型金網 200型	1.29×0.1	2

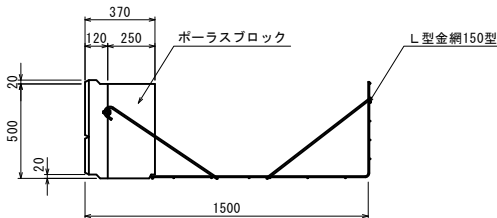
※B幅は各L型金網使用時の最大の幅になっています。

※吸出防止シートはL型金網最上段に敷き、余った分を天端コンクリート部分に折り返して下さい。

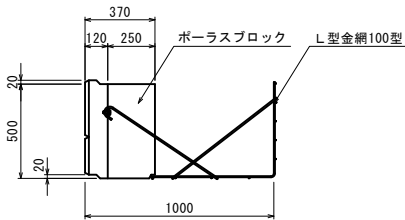
標準200型



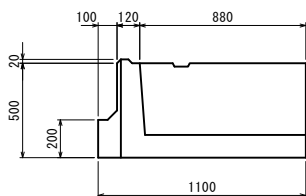
標準150型



標準100型

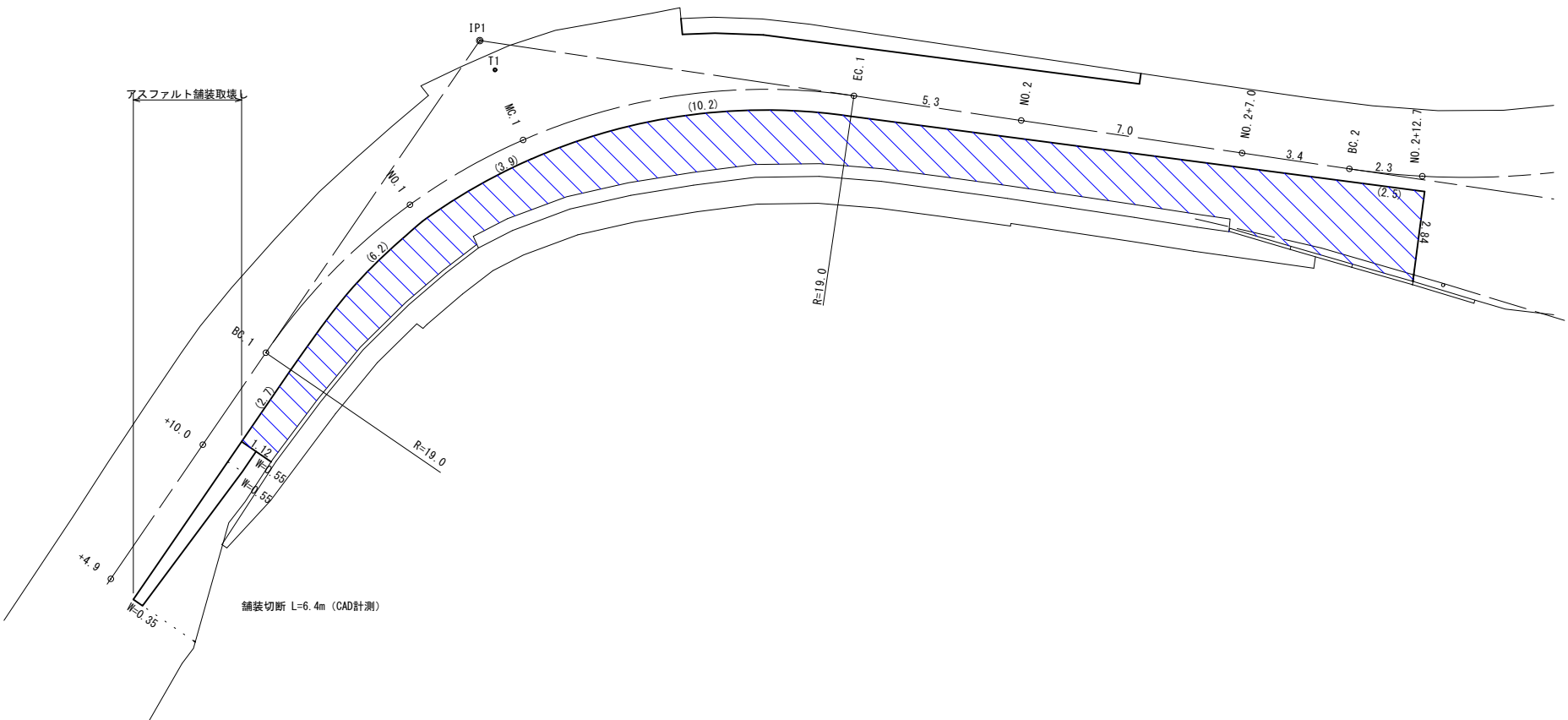
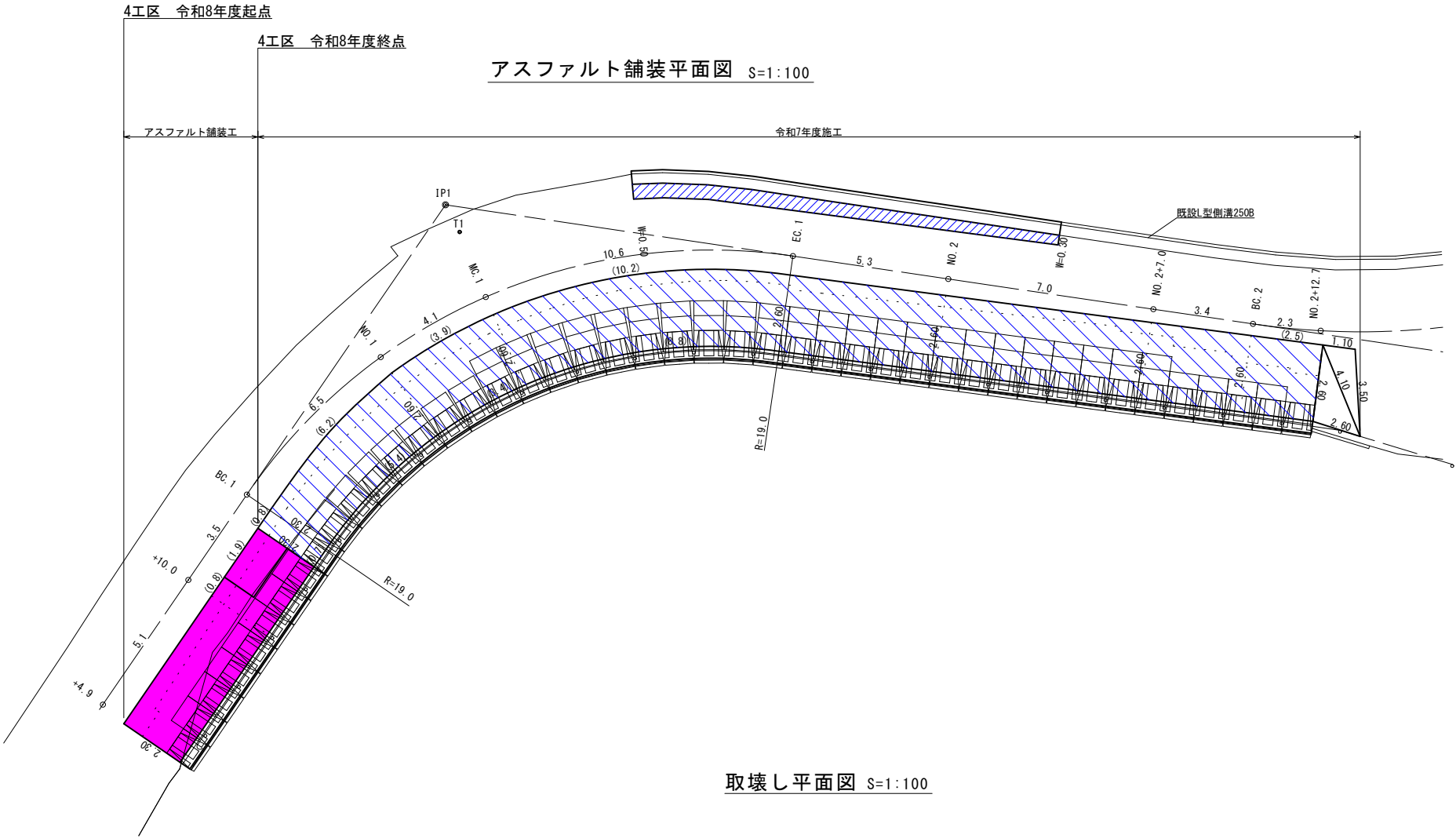


根石110型



路線名	長峰4区	線	事業名	林道長峰線改良事業 林道長峰線改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和8年度		施行主体	安曇野市		
名称	垂直擁壁構造図(2)		5葉中		4番	
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	図示	審査者		設計者		

構造図



路線名	長崎4区	線	事業名	林道長峰嶺改良事業 林道長峰嶺改良工事		
林道区分	幹線	級別区分	2種2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和8年度	施行主体	安曇野市			
名称	構造図2		5葉中		5番	
施工地	安曇野市 明科 中川手					
縮尺	図示	審査者			設計者	